

平成21年度 ジュニアスタディーツアー報告書 Junior Study Tour 2009 Report



日本



ブラジル



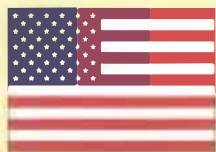
アルゼンチン



ペルー



ボリビア



アメリカ



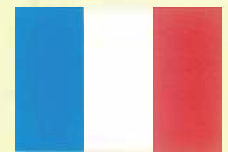
カナダ



キューバ



メキシコ



ニューカレドニア

は じ め に

ジュニアスタディーツアーは、海外の沖縄県系人子弟を本県に招待し、県内の中・高校生とともに、沖縄の歴史、文化、自然等について学習し、母県・沖縄との絆を深めることにより、海外県系人社会の発展と次世代のウチナーネットワークの担い手を育成することを目的としています。

本事業は、平成13年に「第3回世界のウチナーンチュ大会」のプレイベントとして実施されましたが、海外県人会等からの強い要望を受け、平成14年度から継続して実施しています。

平成21年度は、7月21日から7月27日まで一週間の日程で実施しました。今回のツアーには、海外9カ国、15の沖縄県人会から18名の参加者と5名の引率者（内1名は県内友好協会より参加）、沖縄県内から5名の中学生と13名の高校生が参加し、県内各地で様々な体験学習を行い、無事全日程を終了しました。

ツアー期間中、参加者は首里城見学等を通して沖縄の歴史について学ぶとともに、伝統工芸・芸能体験学習を通して琉球王朝時代に育まれた沖縄の伝統文化にも触れました。また、国際通りの散策や美ら海水族館の見学を通して、現在の沖縄の活気あふれる姿を認識し、そして万国津梁館見学では、世界に開かれた沖縄について学びました。さらに平和学習では、戦争体験者から直接体験談を聞くことにより戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、自然学習では比地大滝をトレッキングし、沖縄の自然を十二分に満喫したことと思います。そして世界に広がるウチナーネットワークに関する理解を深めてもらうために、移民に関する講話や移民について考えるワークショップを実施しました。これらの学習プログラムを通して、沖縄に関する理解を深めることができたと思います。

また、前年度に引き続きエイサー学習も行いました。ツアー期間中遅くまで練習に励み、みんなで一つのことを成し遂げることによって、同じウチナーンチュとしての絆、そしてアイデンティティーを強く実感したことと思います。

この報告書は、参加者や引率者の感想文とツアー日程や写真等をまとめたものです。この冊子が生涯にわたる記念になるとともに、参加者の皆さんが、このツアーでの経験をきっかけとして世界へ視野を広げ、将来、様々な分野で沖縄と世界の架け橋となる国際人として活躍することを期待しています。

結びに、平成21年度ジュニアスタディーツアーの実施に御協力を頂いた多くの関係者の皆様に感謝の意を表し、発刊のあいさつといたします。

平成22年2月

沖縄県観光商工部長 勝目 和夫

ジュニアスタディーツアー報告書

目 次

はじめに
報告書目次

■事業概要	1
■スケジュール（日本語版・英語版・スペイン語版）	2
■記録写真	
7月15日（木）～7月20日（月）海外参加者迎え	5
7月21日（火）オリエンテーション、ウェルカムパーティー	6
7月22日（水）県庁表敬、自然学習（海洋博記念公園・エメラルドビーチ）	7
7月23日（木）自然学習（比地大滝）・交流プログラム（キャンプファイヤー）	8
7月24日（金）歴史学習（首里城）・文化学習（県立博物館・琉球漆器体験教室）	9
7月25日（土）平和学習（平和祈念資料館・平和の礎）社会学習（マチグラー散策）	10
7月26日（日）歴史・社会学習（講話「世界に広がるウチナーンチュの心」） ワークショップ	11
7月27日（月）学習成果発表会・修了式・さよならパーティー	12
7月28日（火）～7月29日（水）見送り	13
■ジュニアスタディーツアーに参加して	
海外参加者レポート	15
県内参加者レポート	54
海外引率者レポート	75
■資 料 編	
受入実績（平成13年度～平成21年度）	83
参加者名簿（平成13年度～平成21年度までの海外・県内・県外参加者）	84
知事表敬式次第	104
ウェルカムパーティー式次第	105
さよならパーティー式次第	106
ジュニアスタディーツアーグループ表	107

感想文人名索引

■海外参加者

仲宗根 グスタヴォ 学 (ブラジル)	15
NAKASONE GUSUTAVO MANABU	
翁長 セーリア 美和 (ブラジル)	17
ONAGA CELIA MIWA	
安中 安慶名 レチシア アケミ (ブラジル) ...	19
YASUNAKA AGUENA LETICIA AKEMI	
小池 エドワルド 直征 (アルゼンチン)	21
KOIKE EDUARDO ERNESTO	
仲宗根 ニコラス 啓 (アルゼンチン)	23
NAKASONE NICOLAS CRISTIAN	
中村 利沙 (ボリビア)	25
RISA NAKAMURA	
宮城 仲本 治至 ディエゴ (ペルー)	27
MIYAGUSUKU NAKAMOTO HARUYUKI DIEGO	
安座間 平良 キオミ クラウディア (ペルー) ...	29
AZAMA TAIRA KIOMI CLAUDIA	
エステラ ロサノ 仲程 (メキシコ)	33
ESTELA LOZANO NAKAHODO	

■県内参加者

山城 金太郎 KINTARO YAMASHIRO	54
小那覇 祐 希 YUKI ONAHA	55
神 里 阿侑香 AYUKA KAMIZATO	57
仲 村 デーニー DANNY NAKAMURA	58
新 里 陽菜子 HINAKO SHINZATO	59
眞榮城 駿 SHUN MAESHIRO	60
新 崎 仁 雄 JINYU ARASAKI	61
花 澤 千 裕 CHIHIRO HANAZAWA	62
玉 城 瑠 璃 RURI TAMASHIRO	63

■海外引率者

与儀 哲雄 (ブラジル沖縄県人会)	75
弘中 山城 ルイス フェルナンド (ペルー沖縄県人会)	77
ナカソネ ソニア マリア (キューバ沖縄県人会)	79
米盛 克之 (ジョージア琉球郷友会)	81

ウエンディ ロイス タマキ (キューバ)	36
WENDY LOYS TAMAKI	
座喜味 ケリ アン キミコ (アメリカ)	37
ZAKIMI KELLI ANN KIMIKO	
新垣 有紀 (アメリカ)	39
YUKI SHINGAKI	
カティア ヒミコ リベラ (アメリカ)	41
RIVERA KATIYA	
真志喜 直美 (アメリカ)	43
NAOMI MAKISHI	
ルーク マイケル ライル (アメリカ)	46
LUKE MICHAEL RYLE	
ジェシカ ダニエル ブラック (アメリカ) ...	48
BLACK JESSICA DANIELLE	
親川 愛 (カナダ)	50
AI OYAKAWA	
レカイーユ ユキ アンドレア (ニューカレドニア) ...	52
LECAILLE YUKI ANDREA	

徳 元 り さ RISA TOKUMOTO	65
玉 城 理 沙 RISA TAMAKI	67
名嘉真 美 咲 MISAKI NAKAMA	68
宮 平 優 想 YU MIYAHIRA	69
安 里 公美子 KUMIKO ASATO	70
新 垣 玲央菜 REONA ARAKAKI	71
仲 里 なつき NATSUKI NAKAZATO	72
普天間 友 美 TOMOMI FUTENMA	73
プースクリ 満理奈 MARINA BOUSCKRI	74

ジュニアスタディーツアー 事業概要

1. 趣 旨

海外沖縄県系人子弟を沖縄県に招待し、県内の児童生徒とともに沖縄の歴史、文化、自然などの体験学習をととして母県・沖縄との絆を深めることにより、海外の沖縄県系人社会の発展と将来のウチナーネットワークを担う次世代の人材育成に貢献する。

2. 事業内容

(1) 実施期間：平成21年7月21日（火）～7月27日（月）

来 沖 日：7月15日（水）～7月16日（木）

離 沖 日：7月28日（火）～7月29日（水）

(2) 参加者

○海外参加者

14歳～19歳までの沖縄県系人子弟 18名

※国別内訳（9カ国・18名）

ブラジル	3名	メキシコ	1名
アルゼンチン	2名	アメリカ合衆国	6名
ペルー	1名	カナダ	1名
ボリビア	1名	ニューカレドニア	1名
キューバ	1名		

○県内参加者

沖縄県内の中学・高校生18名（中学生5名、高校生13名）

○海外引率者

海外参加者の引率及び通訳の役割 4名

ブラジル、ペルー、キューバ、アメリカ、ニューカレドニア 各1名

※ニューカレドニアは、県内の友好協会から参加

(3) 学習プログラム

① 自然学習

沖縄の自然や動植物等に触れ合いながらその大切さを学ぶ。

② 歴史学習

沖縄の歴史的な史跡等を巡り、沖縄が琉球王国だった頃の歴史とロマンに触れる。

③ 伝統工芸・芸能体験学習

沖縄の伝統工芸・芸能の体験学習を行う。

④ 平和学習

沖縄の戦跡等を巡りながら、平和の意味を考える。

⑤ 社会学習

沖縄県庁見学、国際通り散策等をととして沖縄の現状を学ぶ。

月日 時間	7/20(月) 1日	7/21(火) 2日	7/22(水) 3日	7/23(木) 4日	7/24(金) 5日	7/25(土) 6日	7/26(日) 7日	7/27(月) 8日
6:30			6:30 起床		6:30 起床			
7:00			7:00 朝食	7:00 起床	7:00 朝食	7:00 起床	7:00 起床	
8:00			8:00 レクセンター出発 注意事項の確認	7:30 朝食	8:00 出発 ・車内にて前日の振り返りシートの回収	7:30 朝食	7:30 朝食	
9:00			8:30 県庁到着 8:45 県知事表敬式典 (歓迎セレモニー、記念撮影) 9:30 県庁出発 ・車内にて前日の振り返りシートの回収	8:30 出発 ・車内にて前日の振り返りシートの回収	8:30 出発 ・車内にて前日の振り返りシートの回収	8:30 出発 ・車内にて前日の振り返りシートの回収	・前日の振り返りシートの回収	
10:00		10:00 引率者・主催者・スタッフ かんぽレクセンター集合		自然学習(山) ●比地大滝 ・トレッキング	10:00 歴史学習 ●首里城 ●金城町の石畳	9:30 平和学習 ●平和祈念資料館見学 ●記録フィルム上映 ●戦・争談(長田勝男氏) ●公園内散策 ●平和の礎見学 11:45 昼食 糸満市「優美堂」	歴史・社会学習 ※沖縄の移民 ①講話(前原信一氏) 「世界中に広がるウチナーンチュの心」 ②ワークシ ョップ ※床にそのまま座るのデスカートはNG	
11:00		11:30 昼食 1Fレストラン	11:00 万国津梁館見学					
12:00		12:30 参加者受付開始	自然学習(海) 12:15 海洋博記念公園到着 12:30 昼食	12:00 昼食・弁当	12:15 昼食 フードコロシ アム	12:00 昼食 レクセンターレストラン		
13:00	かん ぽレクセンター スタッフ集合	13:20 参加者受付終了 開講式 ～オリエンテーション ・概要説明・確認 ・学習ツール配布 ・振り返りシートの配布	13:15 美ら海水族館見学	13:00 トレッキング終了	文化学習 13:15 県立博物館到着 県立博物館・美術館見学	12:45 ひめゆ りの塔見学	※ワークシ ョップ再開	13:00 参加者受付
14:00		①参加者自己紹介 ②班分け、班長紹介 ③言語学習 ④自国の概要紹介1日目	14:30 イルカシ ョ見学	14:00 ホテルタニュー到着 (ホテルにて休憩)	14:30 県立博物館出発 14:45 那覇市伝統工芸館 伝統工芸体験 ※琉球漆器	14:00 社会学習(街・人々) ●マチグワー散 策		13:30～15:00 ・前日の振り返りシートの回収
15:00	15:00 県内参加者 オリエンテーシ ョン (かんぽレクセンター)	～途中休憩～	15:15 ●エメラルドビーチ到着 海水浴 ビーチレクレーシ ョン		16:00 伝統芸能体験 ※ 三線			14:30～15:30 リ ハーサル 15:00 来賓・一般参加者受付
16:00				16:30 エイサー講習 (1日目)		16:30 散 策終了	16:00 学習終了	15:30～16:5 学習成果発表会
17:00		17:00 交流プロ グラム	17:00 エメラルドビーチ出発	17:30 夕食…ホテルタニュー (バーベキュー)	17:15 テンブス館出発 17:30 かん ぽレクセンター到着	17:00 テンブス館出発	16:20～16:40 修了式 16:40 さよならパーティー準備 17:00 さよならパーティー	
18:00	17:30 終了 17:45 スタッフ打合	18:00 終了～荷物部屋移動 18:30 ウェルカムパーティー 夕食…かんぽレクセンター	18:00 部屋割 め発表 ホテルタニュー到着 18:15 夕食…ホテルタニュー		18:15 夕食	18:00 夕食	・振り返りシート・アンケートの配布 18:00 解散 ～各ホームステイ先へ～	18:30 終了～解散
19:00			19:30 自国の概要紹介2日目 ・振り返りシートの配布	19:00 交流プログラム ～キャンプファイヤー	19:15 エイサー講習 (2日目)	19:15 エイサー講習 (3日目)		
20:00		20:00 パーティー終了 ※名護行きの2日分の荷物を まとめ、残りの荷物は別部 に保管 荷物預部屋へ案内 ～日程終了～	20:30 ～日程終了～	・振り返りシートの配布 21:00 ～日程終了～	・振り返りシートの配布 20:45 ～日程終了～	・振り返りシートの配布 20:45 ～日程終了～	ホームステイ	ホームステイ
21:00								
22:00		22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝		
宿泊地	かんぽレクセンター	ホテルタニュー	ホテルタニュー	ホテルタニュー	かんぽレクセンター	かんぽレクセンター	ホームステイ	ホームステイ

Day Time	Jul 21 (Tue) Day 1	Jul 22 (Wed) Day 2	Jul 23 (Thu) Day 3	Jul 24 (Fri) Day 4	Jul 25 (Sat) Day 5	Jul 26 (Sun) Day 6	Jul 27 (Mon) Day 7
6:30		6:30 Wake-up time		6:30 Wake-up time			
7:00		7:00 Breakfast	7:00 Wake-up time 7:30 Breakfast	7:00 Breakfast	7:00 Wake-up time 7:30 Breakfast	7:00 Wake-up time 7:30 Breakfast	
8:00	Staff set up meeting venue	8:00 Depart Recreation Center Announcements and confirmation 8:30 Arrive at Prefectural Govt. Bldg. 8:45 Courtesy Visit and Ceremony with the Governor (Welcome ceremony & group photo) 9:30 Depart Prefectural Govt. Bldg. *collection of previous day's reports in the bus	8:30 Departure *collection of previous day's reports in the bus	8:00 Departure *collection of previous day's reports in the bus	8:00 Departure *collection of previous day's reports in the bus	*collection of previous day's reports	
9:00						History/Social Study ※Okinawan Immigration ①Lecture "The hearts of Uchinānchu throughout the world"	
10:00	10:00 Chaperones, sponsors, and staff gather at Kampo Recreation Center		Nature Study (Mountains) Trekking at the Great Hijiri Falls	History Study *Shuri-jo Castle *Stone pavements in Shuri-Kinjo town	Peace Study *Tour of Peace Memorial Museum *Video showing *Mr. Katsuo Nagata's recounting of war experiences *Stroll through the park *Cornerstone of Peace 11:45 Lunch *Yūbido in Itoman City	②Workshop *No skirts (everyone will sit on the floor)	
11:00	Preparatory meeting 11:30 Lunch - 1F Restaurant	11:00 Tour of the Bankoku Shinryōkan					11:00 Venue preparation begins (Tembusu Kan) Staff and Volunteers meet
12:00		Nature Study (Ocean) 12:15 Arrive at Ocean Expo Park 12:30 Lunch	12:00 Lunch/Bentō	12:15 Lunch		12:00 Lunch Recreation Center restaurant	
13:00	12:30 Registration begins for participants 13:20 Registration ends for participants 13:30 Opening Ceremony ~Orientation~ Distribution of study tools Distribution of report sheets	13:15 Tour of Churaumi Aquarium	13:00 End of Trekking	Culture Study 13:15 *Arrive at Okinawa Prefectural Museum *Tour of Okinawa Prefectural Museum & Art Museum	12:45 Visit the Himeyuri Peace Monument	Workshop resumes	13:00 Registration begins for participants 13:30~15:00 *Collection of previous day's reports
14:00	Summary, Explanation, Confirmation Distribution of study tools Distribution of report sheets 1) Participant self-introductions 2) Group allocation, announcement of group leaders 3) Language study 4) General introduction of own country	14:30 Dolphin Performance Show	14:00 Arrive at Tanyuu Hotel	14:30 Depart Museum 14:45 Arrive at Naha City Traditional Arts and Crafts Center First-hand experience making traditional arts and crafts *bingata (Okinawan colorful dyed fabrics), shuri-ūi (Shuri weaving), and Ryūkyūan lacquerware 16:00 First-hand experience of Okinawa traditional performing arts *karate, sanshin, Ryūkyūan dance	14:00 Social Study (daily life: town & people) *Stroll in Machigwa Marketplace *Guides: Alumni volunteers		14:30~15:30 Rehearsal 15:00 Registration begins for guests
15:00		15:15 Arrive at Emerald Beach Swimming & beach recreation	Rest at hotel				15:30~16:15 Presentation for participants to report the results of their study 16:20~16:40 Closing Ceremony 16:40 Preparatory for Sayonara Party 17:00 Sayonara Party
16:00	~Break~		16:00 Alumni arrive (10 people) Staff meeting 16:30 Eisa class (1st day)		16:30 End of Stroll in Machigwa Marketplace 17:00 Depart Tembusu Kan	16:00 End of Workshop 16:30 Eisa Class (4th day)	
17:00	17:00 Exchange Program	17:00 Depart Emerald Beach Announce room assignments 20 mins before arriving at hotel	17:30 Dinner at Hotel Tanyuu (Barbeque)	17:15 Depart Tembusu Kan 17:30 Arrive at Kampo Recreation Center	17:30 Arrive at Kampo Recreation Center 18:00 Dinner	*pass out report sheets & surveys 18:00 Picked up by host families	※Approx. 200 participants
18:00	18:00 End of Exchange Program Move luggage to rooms 18:30 Welcome Party Dinner at Kampo Recreation Center *Approx. 80 participants	18:00 Arrive at Hotel Tanyuu 18:15 Dinner at Hotel Tanyuu		18:15 Dinner			
19:00		19:30 General introduction of country (2) Pass out report sheets 20:30 ~End of day's schedule~ Staff meeting	19:00 Exchange Program ~Camp Fire~	19:15 Eisa Class (2nd day)	19:00 Workshop meeting (chaperones) 19:15 Eisa Class (3rd day)		18:30 Ending & Dismissal
20:00	20:00 End of Welcome Party *gather luggage needed for the 2 days in Nago, and keep remaining luggage in separate room Directions to luggage storage room						
21:00	~End of day's schedule~ Staff meeting 22:00 Bedtime		*pass out report sheets 21:00 ~End of day's schedule~ Staff meeting	*pass out report sheets 20:45 ~End of day's schedule~ Staff meeting	*pass out report sheets 20:45 ~End of day's schedule~ Staff meeting	Homestay	Homestay
22:00		22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime		
Lodging	Kampo Recreation Center	Hotel Tanyuu	Hotel Tanyuu	Kampo Recreation Center	Homestay	Homestay	Homestay

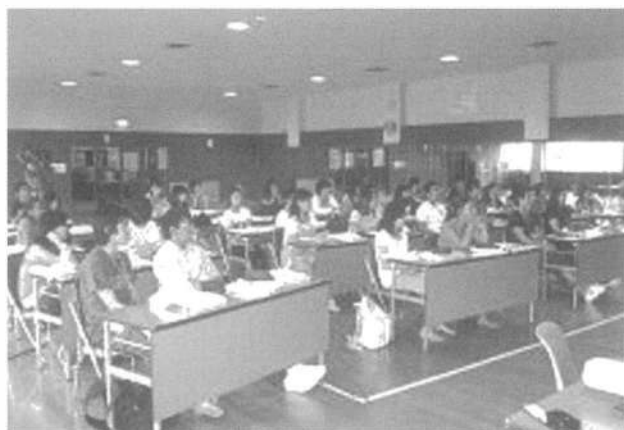
día hora	Mar. 21/7 1er día	Mie. 22/7 2do día	Jue. 23/7 3er día	Vie. 24/7 4to día	Sab. 25/7 5to día	Dom. 26/8 6to día	Lun. 27/7 7mo día
6:30		6:30 Levantarse		6:30 Levantarse			
7:00		7:00 Desayuno	7:00 Levantarse	7:00 Desayuno	7:00 Levantarse	7:00 Levantarse	
			7:30 Desayuno		7:30 Desayuno	7:30 Desayuno	
8:00		8:00 Partida: hotel rekucenter Repaso de las instrucciones		8:00 Partida			
	Arreglo del local por personal encargado	8:30 Llegada a la Prefectura 8:45 Visita al Gobernador (Ceremonia de bienvenida, foto)	8:30 Partida *juntar los reportes del día anterior en el bus	*juntar los reportes del día anterior en el bus	8:30 Partida *juntar los reportes del día anterior en el bus	*juntar los reportes del día anterior en el bus	
9:00		9:30 Partida de la Prefectura *juntar los reportes del día anterior en el bus	9:30		9:30	9:00	
10:00	10:00 Reunión previa de Tutores Organizadores y Personal en Kamporekucenter		Naturaleza (Montaña) ● Catarata "Hijiootaki" *Caminata	10:00	Estudio sobre la Paz ● Museo Conmem. de la Paz *Video-Relato del Sr.Katsuo Nagata ● Recorrido por el parque ● Lápidas de la Paz	Historia • Sociedad ※Emigración okinawense ①Expositor:Shinichi Maehara (El Sentimiento Okinawense en el mundo) ②Taller	Homestay
11:00		11:00 Visita al Centro de Convenciones Bankoku Shinryokan		● Castillo Shun ● Caminito de piedra en Kanusuku			
11:30	Almuerzo 1P	Naturaleza (Mar)			11:45 Almuerzo Restaurante Yubidou en Itoman		11:00 Disposición del local (Tembusu)
12:00	12:30 Llegada y registro de los participantes	12:15 Ocean Expo Park 12:30 Almuerzo	12:00 Almuerzo (lonchera)	12:15 Almuerzo		12:00 Almuerzo Restaurante del rekucenter	
13:00		13:15 Acuario Chura Umi	13:00 Término de la caminata	Cultura 13:15 Museo Prefectural y Museo de Bellas Artes	12:45 Museo de la Paz Himeyuri	※Continuación del taller	13:00 Registro de participantes
14:00	13:30 Apertura ~ Orientación *Entrega de material *Descripción del programa *Repaso de reportes	14:30 Show de delfines	14:00 Llegada al hotel Tanew	14:30 Partida del Museo 14:45 Centro Artesanal de Naha ※Teñido bingata, Tejido Shuri, Lacado ryukyuniano	14:00		13:30~15:00 *juntar los reportes del día anterior
15:00	①Presentación personal ②Present. de grupos y líderes ③Taller de idiomas ④Presentación de c/país	15:15 ● Playa "Emerald beach" baños de mar	(Descanso en el hotel)		● Recorrido por el mercado ※Org. por graduados voluntarios	Sociedad (ciudad-gente)	14:30~15:30 Ensayo
16:00	~descanso~		16:00 Llegada de 10 graduados Reunión del personal 16:30 Práctica de Eisa (1er día)	16:00 Artes Tradicionales ※Karate, Sanshin, Ryukyu buyo	16:30 Término del recorrido	16:00 Término del taller	15:00 Registro de invitados y demás participantes 15:30~16:15 Presentación final
17:00	17:00 Activ. de Integración ※org. por graduados voluntarios	17:00 Partida al hotel	17:30 Cena en el hotel Tanew (parrillada)	17:15 Partida al hotel 17:30 Llegada : Kamporekucenter	17:00 Partida al hotel	16:30 Práctica de Eisa (4to día)	16:20~16:40 Clausura 16:40 Preparativos para la fiesta 17:00 Fiesta de Despedida ※org. por graduados voluntarios ※200 personas aprox
18:00	18:00 Término~Transporte del equipaje a sus habitaciones 18:30 Fiesta de Bienvenida Cena en Kamporekucenter ※80 personas aprox	Designación de habitaciones 20min antes de la llegada al hotel 18:00 Llegada al hotel Tanew 18:15 Cena		18:15 Cena	18:00 Cena	*Repaso de reportes 18:00 Estadía con la familia	18:30 Término~Despedida
19:00		19:30 Presentación de c/país *Repaso de reportes	19:00 Activ. de Integración ~Fogata ※org. por graduados voluntarios	19:15 Práctica de Eisa (2do día)	19:00 Arreglos del taller (tutores) 19:15 Práctica de Eisa (3er día)		
20:00	20:00 Término de la fiesta ※Equipaje para 2 días en Nago, encargar el resto de equipaje en el hotel.	20:30 ~Término de la jornada~ Reunión del personal	*Repaso de reportes 21:00 ~Término de la jornada~ Reunión del personal	*Repaso de reportes 20:45 ~Término de la jornada~ Reunión del personal	*Repaso de reportes 20:45 ~Término de la jornada~ Reunión del personal	Homestay	Homestay
21:00	~Término de la jornada del día~ Reunión del personal			uso opcional del salón de recreo 22:00 Hora de dormir	uso opcional del salón de recreo 22:00 Hora de dormir		
22:00	22:00 Hora de dormir	22:00 Hora de dormir	22:00 Hora de dormir				
Estadía	Hospedaje Kamporekucenter	Hotel Tanew	Hotel Tanew	Hospedaje Kamporekucenter	Hospedaje Kamporekucenter	Homestay	Homestay

記 念 写 真

海外参加者出迎え 7月15日：キューバ
 7月16日：ブラジル・アルゼンチン・ペルー・ボリビア・メキシコ・
 アメリカ・カナダ・ニューカレドニア



7月21日(火) オリエンテーション・交流プログラム・ウェルカムパーティ



7月22日(水) 県庁表敬・自然学習(皆既日食・美ら海水族館)



7月23日(木) 自然学習(比地大滝)・キャンプファイヤー



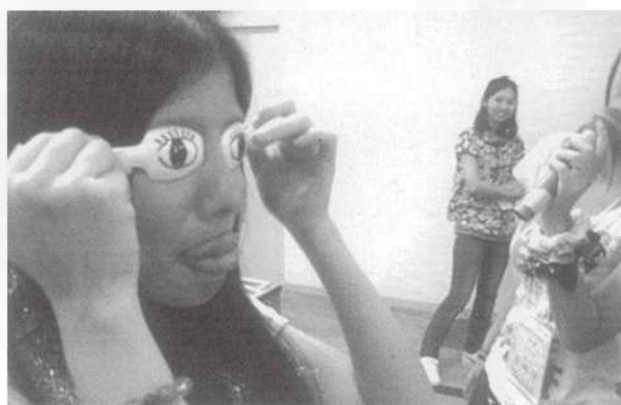
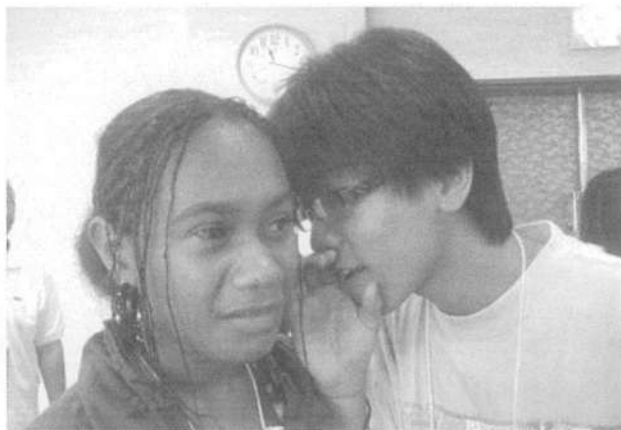
7月24日(金) 歴史学習(首里城)・文化学習(県立博物館)・伝統工芸体験(琉球漆器)・伝統芸能体験(三線)



7月25日(土) 平和学習(平和祈念公園)・社会学習(マチグワー散策)



7月26日(日) 歴史・社会学習 (ワークショップ)



7月27日(月) 学習成果発表会・修了式・さよならパーティ



7月28日（月）～7月29日（水）お見送り



ジュニアスタディツアーに参加して



仲宗根 グスタヴォ 学

NAKASONE GUSUTAVO MANABU

17歳 2世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

ブラジル沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー 2009

ナカソネ・グスタボ・マナブです。17歳で、このツアーではブラジル代表の一人でした。沖縄への滞在を実現してくれた全ての人々にとっても感謝しています。そのおかげで、故郷を知り、本当のウチナーンチュのことについてまた少し習うことができました。

2009年のジュニアスタディーツアーを企画した方々、ブラジル沖縄県人会、そして祖父母や両親などの親戚に勧められたおかげで祖先の故郷を訪れ、人生における新しい価値観を学び、堅い友情を結ぶことができた様々な出身地の人、沖縄の参加者と交流ができ、旅行がより一層楽しくなりました。

沖縄に着いた時の初印象は言葉に表せないほど素晴らしかったです。アットホームな歓迎をしていただき、とても有意義な8日間でした。

一日目は、ホテルに着いて他の参加者と知り合い、ツアー期間中での心得や遵守事項について説明がありました。説明の後、ブラジルを含めて何カ国かの紹介が行われました。国の勉強をした後、いろんなアイスブレイクゲームを通し交流会を行いました。

二日目は、副知事に表敬訪問しました。そして水族館に行き、とても印象的でした。次に海へ行ってのんびりした時間を過ごし、海に潜ったりサッカーやバレーをしたりしました。

三日目は、自然学習の勉強の日で山の周りを長い時間歩いて比地大滝を見ました。ホテルに着いて沖縄の有名な太鼓でエイサーの練習を始めました。その後、キャンプファイアの焚き火の準備をしましたが、これはみんなで楽しむことができました。

四日目は、首里城に行き、沖縄の文化について知識を深めることができました。その後に、博物館と三線や琉球舞踊を習う伝統工芸館にも行きました。ホテルに戻り、さよならパーティーで発表するエイサーの練習の続きをしました。

五日目は、平和祈念公園に行き、沖縄戦などで亡くなった人々の氏名を刻んだ祈念碑や様々な体験談について説明を聞きました。その後、有名な那覇の国際通りを散策し、沖縄の特産品や周辺地域の歴史を知って勉強になりました。その日の行程を終え、ホテルに戻っ

ていつものようにエイサーの練習をしました。

六日目は、沖縄文化の勉強とさよならパーティー前の最後のエイサーの練習がありました。JSTは私が生きてきた中でも最高の2週間になり、プログラム終了を迎える瞬間、一緒にいる最後の時間だと思い悲しくもなりました。

最後の日のさよならパーティーでは、様々な余興、修了証授与式、待ちに待ったエイサーやかちゃーしー、マカレナなどがありました。参加者達全員が、ツアー期間中24時間共に旅をした友達と仲良く本物のウチナーンチュになり、誰もが別れを惜しんでいました。

沖縄で体験したこの素晴らしい12日間はずっと思い出に残るでしょう。これは心からの気持ちですが、このツアーは私が生きてきた17年間のなかで最も印象に残った経験になりました。

そして沖縄と別れる際には、「さようなら」ではなくて、「またね」！と言ってブラジルへ戻りました。ブラジルではウチナーンチュの文化が失われないように努力し、こんな素晴らしい体験をいろんな方に勧めたいと思います。この体験は、絶対に忘れません。ありがとうという気持ちで一杯になりました。

JUNIOR STUDY TOUR 2009

Primeiramente, meu nome é Gustavo Manabu Nakasone, tenho 17 anos, fui um dos representantes do Brasil nesse intercâmbio cultural e gostaria de agradecer à todos que possibilitaram a minha estadia em Okinawa e fizeram com que eu pudesse conhecer o meu lugar de origem e aprender um pouco mais sobre o que é ser um verdadeiro descendente Uchinanchu.

Graças ao Junior Study Tour 2009, a Associação Kenjin do Brasil, aos organizadores de Okinawa e aos meus familiares, como meu avô e meus pais, que sempre me deram grandes incentivos, tive o imenso prazer de poder pisar na terra de meus antepassados, aprender e criar novos valores de vida e pude me interagir com diferentes pessoas de diferente países junto com os jovens de Okinawa, na qual construí grandes amizades, que tornaram a viagem ainda mais especial.

Logo que cheguei, a sensação que eu tive de estar em

Okinawa pela primeira vez , foi realmente incrível e inexplicável .A receptividade que as pessoas de lá me mostraram , foi tão grande, que foi como se eu estivesse realmente em minha própria casa .

A programação durante esses 8 dias no Junior Study foi realmente muito proveitosa.

No primeiro dia , chegamos ao Hotel e pudemos conhecer as pessoas e as normas a serem cumpridas durante o intercâmbio. Após todas as explicações , foram realizadas algumas das apresentações de cada país , incluindo o Brasil . Passando a parte teórica , começaram as atividades de interação envolvendo brincadeiras e o extrovertimento das pessoas .

No segundo dia , fomos conhecer a vice-governadora de Okinawa e logo após tivemos a chance de conhecer o aquário , que com certeza surpreendeu a todos . Em seguida fomos à praia ,onde pudemos ter mais momentos descontraídos , mergulhando no mar , jogando futebol e vôlei .

No terceiro dia , houve a caminhada em Hijiootaki, onde pudemos conhecer a parte da natureza ,durante uma longa caminhada pelos arredores da montanha . Assim que chegamos ao hotel , começamos com os treinos de Eisa ,o famoso taikô de Okinawa .Logo em seguida tivemos as festividades entorno da fogueira , o chamado Camp fire .

No quarto dia, fomos conhecer o castelo Shuri , aprimorando ainda mais os conhecimentos sobre a cultura de Okinawa . Em seguida , fomos à um museo e depois a um centro artesanal em Naha , onde aprendemos o sanshin e o Ryukyu buyo .Ao retornarmos ao hotel , tivemos novamente a prática de Eisa, para a apresentação no Sayonara Party .

No quinto dia , fomos ao Memorial da Paz , onde ouvimos relatos sobre os acontecimentos junto com os nomes de todas as pessoas que perderam suas vidas durante a guerra . Em seguida, demos um passeio pelo famoso Kokussaidori de Okinawa , conhecendo uma grande variedade de produtos e a historia dos arredores da região. Ao retornarmos ao hotel , tivemos mais um treino de Eisa .

No sexto e sétimo dia , tivemos mais alguns aprendizados sobre a cultura de Okinawa e treinos finais de Eisa para a apresentação no Sayonara Party . Nestes dias, começam os sentimentos de tristeza, pela falta , pela saudade de tudo o que vínhamos passando durante os dias anteriores , e de alegria ao mesmo tempo , por termos passado uma das melhores semanas de nossas vidas .

No último dia, tivemos o Sayonara Party , onde presenciamos diversas apresentações , recebemos diplomas pelo intercâmbio , apresentamos a tão divertida dança chamada Eisa , o Katiyashi , a Macarena , entre outros . Tivemos também a difícil despedida, em que o sentimento okinawano já estava presente no coração de cada participante e as grandes amizades que havíamos construído durante todo o programa.

Durante esses 12 dias em Okinawa , passei por grandes experiências, das quais , todas permanecerão guardadas na minha mente e no meu coração . Digo com as mais sinceras palavras de que esta, foi a viagem que mais me marcou durante esses 17 anos de minha vida

Voltei ao Brasil, não com a idéia de um "Adeus" e sim com a idéia de um "Até logo " à Okinawa . Pretendo contribuir da melhor forma possível, para que essa cultura Uchinanchu esteja sempre presente em nosso país e espero que essa incrível sensação que pude ter em participar do Junior Study Tour 2009, possa contagiar ainda mais aos próximos participantes .

A toda essa inesquecível experiência de vida que adquiri nesse intercâmbio, meu mais sinceros agradecimentos. Nihedebiru !



翁長 セーリア 美和

ONAGA CELIA MIWA

16歳 3世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

ブラジル沖縄県人会



2009年JSTは友達というよりも、家族のようです！

JSTに参加して誇らしく思います！なぜならば祖母の国を知り、沖縄の文化を学習でき、様々な文化や地域出身でありながらも、ウチナーンチュであるという共通点のある人たちと知り合うこともできたからです。

最初は、他の人たちとコミュニケーションを取れるかどうか、皆は私のことを気に入ってくれるか、また友達を作れないかと不安でしたが（一緒に過ごしたたった一週間で）全てが上手くいきました。

この旅が、これまでの人生において“最高”の経験であった、ということはいくつ言葉を使っても表せられない、というのが心からの気持ちです。毎日楽しくて、特にキャンプファイアーがあった日は多くの参加者にとって、このツアーで最も楽しい日でした。なぜか分からないのですが、その日は私にとってはとても印象的でした。ですが、もちろん他の日を忘れているわけではなく、それどころか皆と一緒に過ごした時間のすべての瞬間が記憶に刻まれています。例えばキンちゃんとナツキのサプライズパーティーやみんなのあだ名、「変顔」ばかりの楽しい写真、それぞれのゲーム、連日の徹夜などです。

ブラジルから日本に来て不思議に思ったのは、日本が地球の反対側にあっても、アットホームな雰囲気だと感じたことです。

沖縄に来る前までは、ウチナーンチュの心にある“いちゃりばちよーでー”という気持ちの意味が分かりませんでしたが、来沖後日が経つにつれてだんだん分かってきて、今ではこの素晴らしい気持ちを実感でき、僕もウチナーンチュであることを誇りに思っています。

言葉で表現できないぐらい2009年のJST参加者はみんな最高でした。「友達というよりも、家族のようです！」とさよならパーティーで沖縄のシュンさんが言い、そして「沖縄に戻った時の挨拶“ただいま”です」とペルーのディエゴさんが言ったように、僕にとっても、このさよならパーティーはお別れのつもりだと思いません。僕はこれから沖縄を何回も訪れるでしょうが、今回はその第一回目です。

この旅は人生で最高の思い出になるようにしてくださった方々に感謝したいと思います。

Muito obrigada! Thank you very much! Muchas gracias! Doumo arigatou gozaimasu! Merci! OBRIGARIGATHANKYOU!

JST 2009 mais que amigos, somos uma família!

Participar do Junior Study Tour foi uma honra!

Conhecer o país dos meus avós, aprender sobre a cultura Okinawana, além de conhecer pessoas de vários países com cultura e costumes diferentes, porém todos com algo em comum, todos nós somos Uchinantchu (ou pelo menos descendentes)!

No começo fiquei com um pouco de receio e preocupada, pois não sabia se conseguiria me comunicar, se iriam gostar de mim e se conseguiria fazer amigos (afinal nós iríamos passar apenas 1 semana juntos), mas no final deu tudo certo.

Não é tão simples resumir essa viagem em algumas palavras, mas posso dizer que foi, com certeza, a MELHOR! Todos os dias foram muito divertidos, mas, particularmente, destacaria o dia do campfire (acho que para a maioria das pessoas foi o melhor de todos). Não sei explicar ao certo o motivo, mas foi o dia mais marcante para mim (isso não quer dizer que não me lembre dos outros dias, pelo contrario lembro-me de Cada instante, como a festa surpresa do Kintyan e da Natsuki, os apelidos, as caretas que fazíamos para tirar a foto, as brincadeira, as noites que passamos acordados).

O que mais surpreendeu foi que mesmo estando em Okinawa, um lugar do outro lado do mundo em relação ao Brasil, me senti como estivesse em casa.

Antes dessa viagem não sabia o significado de ser um Uchinantchu do sentimento de "ityaribatyou", mas durante essa viagem aos poucos fui descobrindo, e hoje tenho muito orgulho de dizer que sou uma Uchinantchu e de ter conhecido esse sentimento tão incrível.

Nem tenho palavras para descrever os participantes do JST 2009, definitivamente são os melhores! Não somos apenas amigos, mas somos uma FAMILIA (como o Shun-Okinawa- havia dito no sayonara paty) e com certeza

quando voltarmos a Okinawa iremos dizer "tadaima" (segundo o Diego-Peru), afinal não foi uma despedida, pelo menos para mim. Essa foi minha primeira visita de muitas outras a Okinawa. Estou esperando ansiosamente por 2011, espero reencontrar todos no Uchinatchu Taika.

Quero agradecer a todas as pessoas que me deram essa oportunidade e as pessoas que fizeram dessa viagem a melhor!

Muito obrigada! Thank you very much! Muchas gracias!

Dommo arigatou gosaimassu! Merci!

OBRIGARIGATHANKYOU!



安中 安慶名 レチシア アケミ
YASUNAKA AGUENA LETICIA AKEMI
15歳 3世
ブラジル連邦共和国
Federative Republic of Brazil
カンボグランデ沖縄県人会



2009年ジュニアスタディーツアー

沖縄の文化は好きです。前から沖縄へ行きたいという願いは大きかったです。その素晴らしい島へ行くチャンスを見逃すことなく、できることはやりました。素晴らしい経験でした。

ジュニアスタディーツアーは私の人生の中で一番楽しかった旅行です。沖縄だけではなく、カナダ、ペルー、ボリビアの文化や歴史に触れることができました。

飛行場についた時からさようならパーティまで、沖縄で過ごした時間は素晴らしかったです。私の想像よりも、雑誌やポストカードで見た景色よりも、沖縄は本当に素晴らしい島です。そこで見た海はどこよりも美しく、絶対に忘れません。

沖縄の美しさよりも心にひびいたものはウチナンチュの心の温かさです。本当に優しい方々で、親切に出迎えてくれました。

ホームステイではおばあちゃんの生まれた場所、名護市のきれいな海を見ることができました。それも、親切に出迎えてくれた心のやさしい親戚の方々のおかげです。

ジュニアスタディーツアーの皆さんと過ごした一週間はとても忙しかったです。一日目から去年の参加者と一緒に、みんなが仲良くなるように、強いきずなを作るように、いろんなことをやりました。

二日目には私のおじいちゃんの生まれた場所、本部にあるあの大きな水族館、美ら海水族館へ行きました。そこではイルカのショーを見ることができました。その前にG8の初めての集合場所へいきました。そこで、その日おきていたにっしょくを見ることができました。

次の日は少しつかれましたが、とても楽しかったです。比地大滝トレッキングがありました。その後、エイサーの練習があり、ミルクムナリという踊をならいました。ばんご飯はみんな一緒につくったバーベキューを食べました。

24日には素晴らしい首里城や那覇にある美術館を見学して、三味線で安里屋ユンタをならいました。

25日には沖縄県平和祈念資料館へいって、戦争時代を過ごした方のお話を聞いて、そのつらさを知って、

とても感動しました。その後スタッフの皆さんと一緒に那覇の街を散歩しました。

ジュニアスタディーツアーで過ごした一週間はとても素敵で、夢のようで見学した素晴らしいところや友達と作った思い出や新しい経験、沖縄で学んだ文化、すべてを、絶対に忘れません。

最後の日、さようならパーティでは皆さんにお別れをいう時には涙をこらえることはできませんでした。そこでつくったきずなは永遠に続きます。

沖縄へ行くことは私の夢でした。こんな素晴らしい体験をいろんな方にすすめたいと思います。

この機会を与えてくれて、私に素敵な夏休みを与えてくれた、沖縄県知事、沖縄県人会、すべての皆さんに感謝します。いまは心からいうことができます、沖縄が大好きです。

JUNIOR STUDY TOUR 2009

Sempre tive a vontade de conhecer Okinawa, adoro a cultura uchinanchu, então estar naquela terra maravilhosa foi uma oportunidade que não deixei escapar, não importa o sacrifício que tive que fazer, valeu muito a pena.

O Junior Study Tour foi, sem dúvida, a melhor viagem em toda a minha vida. Poder aprender sobre a história e cultura, não somente a uchinachu, mas também a de outros países como Canadá, Peru, Bolívia...

Desde o momento em que cheguei ao aeroporto até o Sayonara Party, minha estadia em Okinawa foi esplêndida. Okinawa é uma ilha maravilhosa, muito mais linda do que as fotos de revistas ou postais podem mostrar. Suas praias são uma das mais belas que já vi, e jamais esquecê-las.

Além da beleza radiante de Okinawa, outra coisa que me tocou muito, foi a forma como fui bem recebida, as pessoas são muito gentis e amigáveis, e eles realmente fizeram me sentir em casa.

Começando pelo homestay tive a oportunidade de conhecer algumas praias um pouco da cidade de Nagô, cidade natal de minha avó, graças a colaboração de meus familiares que me receberam de braços abertos

A semana em que estive reunida com membros de vários

países foi bem agitada. Desde o primeiro dia tivemos várias atividades em grupo, realizada pelo grupo de antigos participante do Junior Study Tour, proporcionando o entrosamento entre os participantes e criando entre nós um grande vínculo de amizade.

Já no segundo dia fomos ao enorme Okinawa Churaumi Aquarium, localizado em Motobu, cidade natal de meu avô e assistir ao show de golfinhos, mas antes fizemos uma parada no lugar onde ocorreu o primeiro encontro do G-8 e aproveitamos para ver o eclipse solar que estava acontecendo.

O dia seguinte foi bem exaustivo, mas valeu a pena, pois foi muito divertido. Fizemos uma longa e linda trilha, mais tarde ainda tivemos a prática de Eisa, em que aprendemos a tocar a música Mirukumunari e depois de tudo um belo churrasco preparado por nós mesmos.

No dia 24 visitamos o magnífico templo Shuri, o Museu de belas artes em Naha e aprendemos a tocar a música Asadoya Yunta no sanshin.

No dia 25 foi um dia muito emocionante, pois pude aprender um pouco mais da história okinawana, aodescobrir no Museu da Paz, o sofrimento que muitas famílias passaram durante a guerra contra os Estados Unidos. E depois fomos passear pelas ruas de Naha juntamente com o grupo do STAFF.

Esta semana foi mesmo incrível, surreal, jamais irei me esquecer de todos os lugares que visitei, os momentos maravilhosos que tive com meus amigos, as novas experiências, tudo aquilo que consegui aprender sobre a cultura e os valores ensinados.

O, ultimo dia, no Sayonara Party, foi impossível conter as lágrimas ao me despedir de todos, pois criamos verdadeiras amizades, que eu tenho certeza que durarão para sempre.

Estar em Okinawa foi a realização de um sonho, agora gostaria de incentivar outros jovens a participar deste evento maravilhoso

Por esta oportunidade, agradeço a Associação Okinawa de Campo Grande, bem como o Governo de Okinawa, por propiciar as melhores férias de minha vida. Agora eu realmente consigo dizer: Eu amo Okinawa!



小池 エドワルド 直征

KOIKE EDUARDO ERNESTO

17歳 3世

アルゼンチン共和国 Argentine Republic

在亜沖縄県人連合会



言葉に表せない一つの感覚

成長していくのと同時にウチナンチュー文化について興味が湧いた。

そして、沖縄県が若者向けに短期間留学を実施している事を知り立候補をしました。

その時は選ばれなかったが、今年もう一度立候補をしました。

ある日突然「沖縄に行くことが決まったよ!」という電話を受けた時は、何がなんだか分かりませんでした。気がつくとうち行きまで3ヵ月が迫っていました。僕は必死に、一緒に行く子（今では良き親友）仲宗根啓と共に沖縄行きの準備を始めました。

きついタンゴの練習何時間も一生懸命するうちにその時が近づくのを感じました。

そして、ついに待ちに待ったその日がやってきました。

切なさいや緊張感、そして喜び。色々な感情が一斉にざわめき、7月14日になっても

訳が分からず、その地（沖縄）に着いてから数分が過ぎても、僕の心臓の高鳴りが止まらず、遠い道のりと初めて会った親戚に迎えられた時の感動は忘れません。

沖縄で親戚と過ごした4日間はとても感動的でした。親戚と知り合い、自分のひいひいおじいちゃんが築きあげた家を知り、家族らのエピソードや歴史のある場所を知りました。

7月21日にウエルカム・パーティーで沖縄にいる僕の友人もツアー参加者の一人である事を知り、とても驚きました。最初は、色んな国、文化そして言葉の違う人達と過すなんて...どうなる事だろうと不安でしたが、互いに慣れない日本語を間に入れながら会話をするうち最初の緊張が時間とともに解れ居心地良くなりました。

県庁や万国津梁館を訪れた後巨大な水族館、美ら海水族館を見学しました。

それから、海へ行った後一日の締めに関国の紹介をしました。とても楽しかったです。

翌日は、自然について学びました。滝の周辺を歩き、みんなでバーベキューをしたり飲み物を作った

り、ゲームをした後はキャンプファイヤーをしました。素敵な瞬間でした。

首里城にも行きました。沖縄県立博物館・美術館にも行きました。平和いや社会についても学びました。全てが感動的でした。

最終日のさようならパーティーではあっという間に時間が過ぎました。

エイサーを踊り、シマンチューを唄いそこに居た誰もが別れを惜しんでいました。

しかしそれは終わりではなく、その瞬間、その日から僕達の友情が大きくなりました。

僕達をつなぐウチナンチューという絆が僕の中でこの瞬間にも僕自身がウチナンチューであるということを感じさせるのです。

この留学はふれあい、学ぶことを教えてくれるとても感動的で大切なものだと思います。

このツアーで過す日々は言葉では表せません。僕が過ごした瞬間は本当に言葉では説明できません。そして他とない強い気持ちが心を強く打ち、たくさんの思い出、またとない瞬間を過ごし、今となってウチナンチューであることがどれほどの意味を持っていたのかを知ることができました。僕にとって夢のような日々であり、これまでの人生において最高の経験でした。最後にこのツアーを可能にしてくれた全ての関係者、スタッフの人達、参加者、在亜沖縄県人連合会の皆様、僕達の地を知るチャンスを与えてくれた事を感謝致します。それから、沖縄県庁の皆様にも感謝を表します。一生忘れられない経験をさせてくれてありがとうございます。イチャリバ チョーデ ヒダティナ アガ“我々は皆兄弟でありそれを隔てる壁はない”

UNA SENSACION INDESCRIPITBLE.

Al crecer empecé a darle mas interes a la cultura Uchinanchu. Al enterarme que por medio de la Prefectura de Okinawa habian Becas para adolescentes ,me presente.muy ansioso,la primera no pudo ser .

En el 2009,me postulo nuevamente, a las semanas de dar la entrevista me llaman y me dan la gran noticia,"VAS A VIAJAR A OKINAWA",yo sin entender ,no caia. Faltaban 3 meses

para el viaje, durante ese tiempo estuvimos organizando y preparando todo con mi compañero y actualmente mi amigo(Key Nakasone). Las duras y extensas clases de milonga (Tango) horas y horas practicando.Cada vez faltaba menos. Llego el momento tan esperado , ansioso, nervioso , todas las sensaciones juntas , no reaccionaba , el 14 de Julio , comienza la travesia. a minutos de llegar a tierra (Okinawa)

Después de tanto viaje , tenia mucha ansiedad por tocar tierra y mucho nerviosismo por ver y conocer a mis familiares . al llegar , mi corazon latia a unas revoluciones altisimas , me encuentro con mis tios ,Un momento lindisimo. Los primeros 4 dias de home stay en Okinawa fueron impresionantes,Conocer a todos mis familiares , conocer la casa que mis tatarabuelo construyeron , escuchar sus historias , conocer lugares historicos. El 21 de Julio comienza el JST" en el welcome party me encuentro con la sorpresa que un amigo mio de Okinawa tambien participaba del tour.

Al ser todos de diferentes paises , culturas e Idiomas, pense que iba a ser un caos o imposible la comunicaci3n, pero no lo fue , el Japones de por medio , los primeros dias muy nervioso pero al pasar Las horas me iba sintiendo cada vez mas comodo.

Visitamos la Prefectura , visitamos Bokoku Shinryokan. Luego fuimos al impresionante Acuario Churaumi, después a la playa y al termino del dia dimos nuestra presentacion del pais, muy divertido. El siguiente dia estudiamos lo que es la naturaleza varios juegos y la fogata , muy lindo momento.

Visitamos el castillo Sauri, observamos el Museo Prefectural y el de Bellas Artes, estudiamos sobre la paz y la sociedad, muy emotivo todo .

El ultimo dia en el sayonara party ,paso todo muy rapido, bailamos eisa,cantamos shimanchu ,nadie queria despedirse , era un momento horrible.

pero nada terminaba, desde ese momento y dia era donde nuestras amistades comenzaban a crecer,en donde armamos ese lazo que nos une,ser Uchinanchu.

en estos momentos siento un sentimiento Uchinanchu muy fuerte dentro mio.

esta beca es realmente importante,impresionante lo que te hace ver y sentir.

nose puede describir lo que uno vive en este tour.

lo que vivi es inigualable,realmente entiendo que tan importante es ser Uchinanchu.

fue todo como vivir un sueño,muy muy emocionante,fue la mejor experiencia que cambio muchisimo mi vida.

quiero agradecer a todos los que hicieron este viaje posible, a los chicos de staff,participantes, al Centro okinawense en la Argentina, por darnos la posibilidad de conocer nuestra tierra .

estoy inmensamente agradecido,muchas gracias a la prefectura de okinawa por permitirme vivir esta inolvidable experiencia .

"Ichariba choode, nuu hidatina aga":

todos somos hermanos ,y entre nosotros no existe barrera alguna.



仲宗根 ニコラス 啓

NAKASONE NICOLAS CRISTIAN

18歳 2世

アルゼンチン共和国 Argentine Republic

在亜沖縄県人連合会



忘れられない経験

アルゼンチン代表として、ジュニアスタディーツアー 2009に参加しました。

この2週間を言葉で表すのはとても不可能です。この2週間での出来事はとても感動的でした。他のメンバーと過ごした忘れられないさまざまな瞬間によって僕は、この留学でウチナンチューであるということがどれほど大切なことかを知りました。

そして、他の国の子たちと強い絆を築けました。まず始めに、在亜沖縄県人連合会の皆様に感謝を致します。推薦をしてくれてありがとうございます。そして沖縄県庁の皆様このような企画を作ってくれてありがとうございます。生まれて初めての一人旅でした。

空港で書類の手続きに少し戸惑ったものの先に進むことができました。このとき他の言葉を知る必要があると感じました。このとき父がいつも言うセリフ、“なんくるないさ”何とかとかなるさを思い出しました。長くつらいフライトでの疲れはみんなの暖かいお出迎えによって吹き飛びました。今でも、歓迎をしてくれた人達の喜びに満ちた表情、深い感情を思い出すたびに涙があふれます。最初、メンバーに会うまで緊張感と待ちきれない気持ちでいっぱいでした。しかし、歓迎パーティーのゲーム、歌、踊り、会話をしたおかげで、参加者との距離が狭まり兄弟としてコミュニケーションを取ることができました。

そう、あのセリフのように“イチャリバ チョーデ”世界で2番目に大きい水族館、美ら海に行きました。それから、比地大滝ヘトレッキングしました。自然の美しさを知りました。環境、環境保護について学びました。

首里城、沖縄県立博物館・美術館にも行きました。ここで僕達の祖先について文化やしきたり、現代へと続く生活習慣などを学びました。テンプス館では三線を習ったほか沖縄の花ハイビスカスでお皿をペイントしました。訪問先の中で一番印象に残っているのは沖縄県平和祈念資料館です。戦没者の中に自分のひいおじいちゃんの名前を見つけた時の悲しさ、戦争を生き延びた人の話が印象強かったです。

一番驚いた事は、琉球國祭り太鼓のハルとナミと与

那嶺あきらさんに再会したことです。

アルゼンチン沖縄県人移住100周年記念式典のとき協力をしてくれました。

おかげで式は大成功でした。僕は琉球國祭り太鼓のアルゼンチン支部の一員として国吉としひろさんにとっても感謝をしています。エイサーを教えてくれた事や沖縄のメンバー達と一緒に踊らせてくれました。彼らとともに舞台上で踊れたことは僕の誇りです。

そして、僕達が踊ったタンゴ“タキト ミリタル”を教えてくれたオスバルド・カンパロ先生にも感謝を致します。沖縄の親戚、それからこの素敵なツアーの成功のために携わった方々、本当にありがとうございます。協力者やボランティア、メンバー、スタッフの方々、僕は一緒に過ごした事を一生忘れません。また、いつか沖縄に戻った時、皆さんを再会できるのを楽しみにしています。いろいろお世話になりました。本当にありがとうございました。

Una experiencia inolvidable

Como representantes de la Argentina, hemos participado del Junior Study Tour 2009.

Me es imposible expresar en palabras lo que he vivido en estas dos semanas. Fue una experiencia increíble. Compartimos con los demás miembros, momentos únicos e inolvidables. En esta beca he aprendido la importancia de ser un Uchinanchu y pude hacer un lazo inseparable con los chicos descendientes de Okinawa de diversas partes del mundo.

En primer lugar quiero agradecer a los miembros del Centro Okinawense en la Argentina, por habernos elegido y a la Prefectura de Okinawa por organizar este evento tan valioso.

Fue la primera vez que viajamos solos, y a pesar de los inconvenientes que se presentaron con respecto a la documentación en los aeropuertos, pudimos enfrentarlo y salir adelante, y valorar la importancia de conocer varios idiomas.

Esto me hizo acordar lo que siempre escucho decir a mi padre: "NANKURUNAISA" ("siempre es posible")

A pesar del largo y agotador viaje, la cálida bienvenida

con la que fuimos recibidos hizo que el cansancio desapareciera. Aun después de haber finalizado, puedo recordar las caras de emoción y felicidad con las que nos recibieron. Fue un sentimiento muy profundo que de solo pensarlo, se me llenan de lágrimas los ojos.

Al principio estuve muy ansioso y nervioso por conocer al grupo. Pero gracias a la fiesta de bienvenida, en donde realizamos varios juegos, cantos, bailes, charlas pudimos atravesar esa barrera que nos separaba y comunicarnos rápidamente como hermanos, como la frase que dice "ICHARIBACHOODE".

Conocimos el segundo acuario mas grande del mundo, Chura Umi e hicimos una caminata al Hijiootaki, en donde pudimos apreciar la belleza de la naturaleza, conocer sobre el medio ambiente, su cuidado; visitamos el castillo de Shuri, el Museo Prefectural y de Bellas Artes, en donde pudimos observar y escuchar la historia de mis antepasados, sus tradiciones culturales, sus costumbres que fueron transmitidas a través del tiempo.

En Tempusukan, aprendimos a tocar el Sanshin y realizar laqueados sobre platillo, con la flor típica de Okinawa, el Haibisukasu.

La visita que mas me conmovió fue el Museo Conmemorativo de la Paz. No puedo olvidar la sensación que tuve dentro de mí, al ver los nombres de mis dos bisabuelos fallecidos durante la guerra y al escuchar el relato de un sobreviviente.

La sorpresa mas grande que me lleve fue encontrarme con Haru, Nami del grupo Ryukyukoku Maturidaiko y Yonamine Akira-san, a quienes aprecio mucho por el gran esfuerzo y dedicación que tuvieron para que se pudiera realizar con éxito el Centenario de la Inmigración Okinawense en la Argentina.

Yo como miembro de Ryukyukoku Maturidaiko filial Argentina, le estoy muy agradecido a Kuniyoshi Toshihiro-san por enseñarnos el Eisa, y por haberme dejado bailar junto a los miembros de Okinawa. Para mi fue una sensación muy impresionante y todo un orgullo estar en el escenario junto a ellos.

Bailamos la milonga "Taquito Militar", en donde estamos muy agradecidos al profesor Osvaldo Camparo por el gran esfuerzo y por apoyarnos.

A los familiares de Okinawa y a todos los que colaboraron para que pudiera realizar esta experiencia hermosa, muchas gracias por todo. A los participantes, colaboradores, voluntarios y miembros del Staff. Jamás olvidare los momentos que pasamos juntos. Espero con ansias el día en que vuelva a Okinawa y pueda encontrarme con todos nuevamente.

IRO IRO OSEWA NI NARIMASHITA! HONTOU NI ARIGATOUGOZAIMASHITA!



中村 利沙

RISA NAKAMURA

14歳 3世

ボリビア共和国 Republic of Bolivia

ボリビア沖縄県人会



ジュニア・スタディーツアーに参加して

七月十四日、私は日本の沖縄県へと出発しました。私は、以前から沖縄に対しての強い想いがあったので、日本行きが決まった時、少し信じられない気持ちでいっぱいでした。

小さい頃私は、自分のルーツは沖縄県にあるという事に、あまり興味がなかったけれど、中学生になり、沖縄戦や沖縄県からボリビアへ移民して来た事などを日本語の授業を通して色々勉強していくうちに、もっと沖縄について知りたくなりました。そして、実際に祖父や祖母たちの故郷へ行って自分の体でウチナーに触れたいと思うようになりました。このようないろいろな想いが、私をこのツアーに応募したいと言う気持ちをおこさせたのでした。

沖縄県に着いて、初めて口から出た言葉・・・それは、「暑い。」

夜なのに、まるでオープンの中に居るかのような暑さで、クーラーが無いと寝られないくらいでした。四、五日程、ホームステイ先でお世話になった後、いよいよJSTが「かんぽレクセセンター」で始まりました。参加していた国々の学生は沖縄県内をはじめ、ブラジル、アメリカ、カナダ、アルゼンチン、ペルー、キューバ、メキシコ、ニューカレドニア、そして、ボリビアでした。ボリビアからは、私一人だったので、正直不安で送ってくれたホームステイ先のおじさんには、「帰らないで。」という気持ちでした。でも、楽しいレクリエーションがあったおかげで、初対面でもずっと前から知っているような感覚で友達になる事が出来ました。「さっきまでの不安は、どこへいったのだろう。」と、いう感じでした。そして、今でも覚えているのは県内参加者の子達が私に、「日本語が、上手い！！」と、言って驚いていたことです。

この七日間で、自然、歴史、文化、平和、社会学習をやり、このような体験学習を通して沖縄を改めて知ることが出来、今まで以上に沖縄が大好きになりました。どの学習も本当に良かったのですが、その中でも私の心に残ったのは平和学習と歴史・社会学習です。平和学習は、日ボ校でも沖縄戦について何度か勉強してきたのですが、実際にひめゆりの塔や、平和祈念資料館

へ行った時は、なぜかずっと鳥肌が立っていました。それは多分、平和祈念資料館で見た沖縄戦の写真や、壕の中で泣く赤ん坊の鼻と口を女性が辛そうな顔で押さえている様子を再現した人形が薄暗い所に置いてあるのを見たからだだと思います。その人形などを見て私は、「おじいやおばあ達は、こんな残酷な時代を乗り越えてきたんだなあ。」と、改めて感じました。

そして、歴史・社会学習ではウチナーンチューの移民について、講話やワークショップを通して色々学びました。ボリビアだけではなく、ペルーやブラジル、アルゼンチンなどへの他国の移民についても知ることが出来て良かったと思います。

最初は、長いと思っていたこの七日間は、あっという間に終わりに近づいていました。さよならパーティでは、たぶん私が最初に泣いたと思います。別れるのは、本当に辛いことです。けれど、ディエゴ（ペルー国の参加者）が言っていた様に、「沖縄は僕達の家だ。だから、今は“さようなら”じゃ、なくて、“いってきます”。そして、いつかまた沖縄に戻った時は“ただいま”と言いたい。」

この言葉は、本当に深くうなずかされました。私達は、住む場所も、話す言葉も違うけれど確かにウチナーンチューの血が流れているのです。この血が流れ続ける限り、私達はまた沖縄に帰ってこられるのだと思えました。JSTで、私は本当に最高の学びを得られたのではないかと思います。この学びは、言葉では上手くまとめる事は出来ないけれど、この経験は将来自分にとって何か、プラスになると思います。これからも、ずっとJSTはあって欲しいです。私は、このJSTに関わった全ての皆さんに感謝したいと思います。

それから、少し大げさかもしれないけれど、世界に移民していったウチナーンチューの方々にも感謝したいです。もし、私のおじいやおばあがボリビアに移民していなかったらJSTで最高の仲間に出会えなかったと思います。沖縄県も、私が住んでいるカタカナの“オキナワ”も同じくらい大好きです。

沖縄の地に2週間居たということは、今でも夢のようです。いつか、きっと沖縄に帰りたいです！！最高の思い出をありがとう！ TE AMO OKINAWA!!!

Mis impresiones del Junior Study Tour

El día 14 de Julio del 2009, partí con rumbo a la isla de Okinawa – Japón.

Siempre tuve el deseo de visitar Okinawa, por eso, cuando me avisaron que se me presentó la oportunidad de viajar a Japón, simplemente no lo podía creer.

Cuando era pequeña, no sentía la necesidad de conocer sobre la tierra de mis ancestros: Okinawa. Sin embargo, cuando ingresé al nivel intermedio, en mis clases del idioma japonés, tuve la oportunidad de aprender sobre la Guerra, los efectos que causó la guerra en la Prefectura de Okinawa, la Inmigración de los okinawenses a Bolivia, y otros asuntos que me motivó a estudiar más sobre Okinawa. Así fue aumentando mis ganas de visitar la tierra donde nacieron mis abuelos y sentir personalmente cómo es Okinawa.

Mi primera impresión al pisar la tierra de Okinawa era: "Qué Calor"!

Era de noche pero el calor reinante hacía sentir que estaba dentro de un fogón, sin la ayuda del aire acondicionado no se podía dormir.

Después de permanecer 4 a 5 días en casa de mis familiares, empezó el Junior Study Tour en el Centro de Recreación KAMPO.

Los participantes eran estudiantes de la Prefectura de Okinawa, además de participantes del exterior como: Brasil, Estados Unidos, Canadá, Argentina, Perú, Cuba, México, Nueva Caledonia y Bolivia.

Yo era la única representante de Bolivia. Por eso me sentía muy insegura e intranquila. Tanta era la desesperación, que cuando me llevaron al lugar de reunión, les pedía a mis familiares que no se vayan, que no me dejen sola.

Pero gracias a los juegos recreativos preparados por los organizadores, el temor fue desapareciendo y sentí que todos los participantes éramos conocidos desde hace mucho tiempo. A dónde se fue esa tensión que sentí al principio?

Recuerdo que mis amigos y amigas japonesas se asombraron y me decían: "Hablas muy bien el Japonés!".

En estos 7 días del Tour, pude conocer sobre la Naturaleza, Historia, Cultura, Estudios relacionados con la Paz y la Sociedad regional. Gracias al programa conocí mucho sobre Okinawa y siento que me gusta mucho más. Todo estuvo muy bien preparado pero la que más me impresionó fue el estudio relacionado con la Paz, Historia y Estudios sociales.

En Bolivia, en el "Colegio Centro Boliviano Japonés" donde estudio, tuvimos la oportunidad de estudiar sobre la Segunda Guerra Mundial, específicamente referida a Okinawa. Por tanto, tenía algunas nociones anticipadas sobre el asunto, pero estar en Okinawa y conocer personalmente el monumento

recordatorio de los caídos en la guerra como la Torre de Himeyuri o el Museo Histórico; fue muy conmovedor. En el Museo pude ver impresionantes recreaciones sobre la guerra. Había una madre protegiendo a su hijo tapando la nariz y la boca para que no grite y de esta manera no ser descubierto por el ejército invasor. Al ver esta dura imagen sentí la cruda realidad que mis abuelos tuvieron que vivir durante esos difíciles e inevitables momentos históricos.

También durante las clases de Historia y los Estudios Sociales, pude ampliar mis conocimientos sobre la Inmigración de los Okinawenses a distintos países no sólo a Bolivia sino también al Perú, Brasil, Argentina y otros países.

Los 7 días que al principio los sentí largos, terminaron muy rápido y pronto llegó el día de la despedida. Pienso que fui la primera en llorar. Realmente la despedida era muy triste. Sin embargo, Diego (participante del Perú) dijo unas palabras que me llegó al corazón:

"Okinawa es como una casa en donde podemos regresar. Por eso, no vamos a decir "Adiós" sino "Hasta pronto" y cuando volvamos aquí a Okinawa vamos a decir "Ya volví" (TADAIMA)"

Siento que fueron palabras acertadas. Todos los participantes vivimos en diferentes lugares, hablamos idiomas diferentes pero tenemos la misma sangre de nuestros ancestros que es Okinawa. Mientras corra sangre okinawense por nuestro cuerpo, pienso que tenemos un lugar a donde regresar.

El Junior Study Tour fue un evento donde me enseñó muchas cosas y que nunca podré olvidar. No dudo que la experiencia adquirida en el Tour será de mucha utilidad en mi vida. Por eso, quiero que este Tour continúe para siempre.

Quiero expresar mi agradecimiento a todo el personal que hizo posible este Tour.

Puede ser que suene un poco exagerado, pero también quiero expresar mi agradecimiento a todos los UCHINANCHUS pioneros de la Inmigración, dispersos en todo el mundo, a nuestros abuelos y abuelas, que salieron de Okinawa en busca de nueva vida. Porque gracias a ellos hemos tenido la oportunidad de encontrarnos en este Tour y cultivar esta maravillosa amistad.

Luego de esta experiencia siento mucho Amor a la Prefectura de Okinawa como también a la "Okinawa" donde yo vivo, que se escribe con Katakana y está en Bolivia.

Siento aún como un sueño las dos semanas vividas en Okinawa. Algún día, sin falta te visitaré de nuevo. Muchas gracias por los inolvidables momentos vividos! TE AMO OKINAWA!!



宮城 仲本 治至 ディエゴ

MIYAGUSUKU NAKAMOTO HARUYUKI DIEGO

17歳 4世

ペルー共和国 Republic of Peru

ペルー沖縄県人会



JSTとこれからの交流について

飛行機を降りたら、15年もの間忘れていた沖縄の心地よい暑さに迎えられました。その後、空港を出たらさらなる暑さが待ち受けていることに気がきました。JSTの係りの方々と来られるはずがなかった家族が迎えてくれたのですごく驚きました。挨拶と抱擁を交わし、説明を受けたあとは24時間共に旅をした友達と一旦別れ正式なホームステイが始まりました。

ホームステイ期間中はそれぞれ違うところに宿泊しました。最初はきよしおじさんとかずこお婆さんがいる与那原町、それからはお婆さんと娘のたつこさんがいる那覇、そして最後にまさひろおじさん一家がいる名護市にホームステイをしました。今までにないホームステイでした。みんな親切に接してくれたおかげで落ち着けて、気分がよかったです。でも、そんなに甘やかされる歳ではないような気もしました。もしかしたら2歳の頃に訪れた時の感覚が彼らに残っていたのかもしれない。

みんなの寛大さには驚かされました。沖縄中を観光、ご飯としゅっちゅうに何かをもらえただけでなく、個人的な出費も覆ってくれるとも言い出したのですが、それだけは手続きを手伝ってくれた以外はさせるわけにはいきませんでした。その気持ちは有難いのですが、時々執拗に言われる「何でも頼んでいいのよ。」とか「何か要る？」は人を変な気持ちにさせます。その上、親族(知っている人もそうでない人にも)に郵送する荷物の協力もしてくれました。

先祖の故郷と私の家族、親族の歴史を知る機会にも巡り合えました。訪問先では、仏壇に挨拶ができ、先祖のお墓も訪問することもできました。どの訪問先でも敬意を表し、習慣に順次、長年守られてきた伝統を行いました。

正直、沖縄にどのくらいの家族がいるのか知らなかったし、親切で心地よい歓迎を受けるとは思いませんでした。研修が始まる前のホームステイだけで、貴重な体験をし、自分の家系についてもっと知ることができました。沖縄の家族のおかげですべき事ができ、家族間の繋がりを感ずることができました。

沖縄県民の親切さには驚かされました。それはレ

ストランで出されるご飯の量の多さですぐに気付けたし、ある逸話にもよります。三線のパーツを頼まれていたので近くの三線屋に連れて行ってもらいました。接客してくれた店員さんは、私の状況を知るなり特別価格の自家製品を勧めてくれました。2店目では、必要なものを全部安く揃えることができ、ついでに国際通りの近くにあったこともあり駐車場を使わせてもらいました。

1週間家族と過ごした後21日からJSTが始まりました。かんぼレクセセンターに時間通りについて、送迎してくれたお婆さんたちと別れました。その時から本当のJSTが始まりました。

JSTでは世界中から集まったウチナンチューで僕と同じ世代の人たちと知り合えただけではなく、沖縄文化を維持し広めて、ウチナンチュー間の連絡を維持し県民間の繋がりを維持しようとする沖縄出身の主催者やボランティアの方々とも知り合うことができました。沖縄の歴史、文化や伝統をもっと知っただけではなく、他のみんなと生活を共にし溶け込んでいくこともできました。様々な文化や地域出身でありながらも、みんなを結びつけ、団結させた感覚を分かち合うことができました。僕の典型的な日本人像は幸いにも沖縄の若者たちとは合致せず彼らはオープンで社交的でした。彼らは僕たちの母語、国に興味を示してくれました。こういう期待のできる世代がいることを嬉しく思うし、元JST参加者の広中ひろしさんのように連絡を取り続けたらと思います。

日程はテーマ別に分けられ、それを下に活動が行われました。田舎や都市を訪問して自然と沖縄社会を楽しむことができました。首里城のような古い建築物から美うみ水族館のような最近の建築物も見学ができました。一番興味を惹かれたのは最近の建築物であっても、沖縄では人工と自然の調和が保たれていることです。古典的な琉球と現代的が混じりあっていることがとても興味深かったです。たぶんその調和とバランスが沖縄特有の落ち着きと美をかし出しているのではないのかと思います。

島とみんなと別れるのはすごく残念だったけど、またいつか戻ると思うし、そのために努力したいと思います。成長した姿を見てほしいし、僕はみんなのを見

てみたいです。JSTに参加するために協力してくれた人たちのおかげで忘れられない経験ができたことに感謝しています。JSTを通して沖縄の昔と今を見ることができ、僕らにウチナンチューと沖縄文化の未来がかかっていると思います。

Composición sobre el JST

Y mantener el Intercambio de ahora en adelante.

Bajando del avión, recibí la bienvenida del calor tropical de Okinawa, un calor que no había sentido desde hace 15 años. Luego me daría cuenta de que me esperaban unos grados Celsius mas afuera. Para mi gran sorpresa mis familiares me esperaban (había entendido que no podían recibirme allí), junto con algunos organizadores del JST. Tras los saludos, abrazos e introducciones, me separé de mis compañeros de viaje de las últimas 24 horas y empecé oficialmente el *Homestay* del programa.

Durante el *Homestay* me hospedaría en tres lugares diferentes: primero en *Yonabaru* (con mis tíos *Kyoshi* y *Kazuko*), luego en *Naha* (con mi tía-abuela *Haru* y su hija *Tatsuko*) y después en *Nago* (con mi tío *Masahiro* y su familia). La hospitalidad que recibí no tuvo precedentes. La atención que me brindaban me hacía sentir cómodo y a gusto, aunque también me sentí a un poco viejo para que me estén engriendo. Supongo que aún quedaban los recuerdos de mi visita a la edad de dos años.

Su generosidad no conocía límites; no sólo paseándome por Okinawa e invitándome y obsequiándome cosas a cada rato, también insistían en cubrir mis propios gastos (cosa que no pude permitir, claro, ya que hasta me habían ayudado en buscar y conseguirlos). La solidaridad es tal que a veces uno se siente mal cuando insisten en que “pidas lo que quieras” o si “¿deseas algo?”. Incluso me ayudaron para llevar encargos a familiares (conocidos y no conocidos).

Tuve la oportunidad de conocer el lugar de procedencia de mis antepasados y enterarme sobre la historia de mi familia y mis familiares. En las visitas pude dar mis respetos en cada *butsudan* e incluso llegue a visitar la tumbas de mis antepasados. Cada visita suponía respetar y realizar las costumbres correspondientes, tradiciones mantenidas a lo largo de todos estos años.

No tenía ni idea de la cantidad de familiares que residían en Okinawa y menos ser recibido de manera, tan amable y acogedora. Aún faltando comenzar el programa con los otros jóvenes, con el *Homestay* había pasado una experiencia enriquecedora, conociendo mejor sobre mi linaje. Gracias a mis familiares pude cumplir con mis deberes en Okinawa y aparte me hicieron sentir nuestros lazos familiares.

Me impresionó la bondad de sobra en la población okinawense, que lo noté en seguida por la gran cantidad de

comida que le sirven en los restaurantes, pero especialmente resalta en esta anécdota que pase. Tenía como encargos unas partes de repuesto de *sanshin*, entonces me llevaron a un *sanshinya* cercano. El señor nos atendió, pero enterándose de mi situación, me aconsejó comprar las partes de su proveedora, que estaban a precios especiales. Luego en la segunda tienda, conseguí todo lo que necesitaba, a un buen precio, y de paso, ¡nos permitieron usar su parking (ya que quedaba por *Kokusai Doorí*)!

Después de pasar casi una semana con mis familiares, el JST recién estaba empezando el 21 de julio, llegando al *Kamporeku Sentaa* a la hora japonesa y despidiéndome de mis tías (o primas?) que me habían llevado. Desde ese momento empezaría la verdadera experiencia del JST.

En el JST tuve la oportunidad de conocer no sólo a jóvenes igual que yo, *uchinanchus* esparcidos por el mundo, sino también a los okinawenses organizadores y voluntarios, que deseaban preservar y difundir la cultura okinawense, como también establecer el contacto entre los *uchinanchus* para mantener la red mundial entre okinawenses. No sólo conocí más sobre la historia, cultura y tradición de Okinawa, también pude compartir la vivencia con los demás y desenvolverme con ellos. Pude ver que a pesar de venir de culturas y regiones variadas, compartíamos un sentimiento en comun que nos ligaba y unía. Mi impresión del típico japonés afortunadamente, no concordaba con los jóvenes de Okinawa, ellos siendo muy abiertos y extrovertidos. Mostraban interés en los extranjeros, sus idiomas y del país de la que provenían. Me alegra que en Okinawa exista una juventud tan prometedora y espero mantener estos contactos como lo hizo Hiroshi Hironaka, ex participante del JST.

El itinerario estaba separado en temas, y las actividades se desarrollaban de acuerdo con esto. Tuvimos visitas a lugares rurales y urbanos, para apreciar la naturaleza y la sociedad de Okinawa. Pudimos conocer edificaciones antiguas como el *Shurijyo* y recientes como el acuario de *Churaumi*. Lo que más me llamó la atención fue que a pesar de toda la construcción que se va llevando los últimos años, Okinawa siempre mantiene esa armonía entre lo artificial y lo natural. Me gustó cómo se mantiene el aspecto Ryukyu de la antigüedad mezclándose con la modernidad japonesa. Creo que esa armonía y balance le da esa serenidad y belleza única a Okinawa.

Me apenó mucho tener que despedirme de la isla y su gente, pero se que un día regresare y por eso pienso esforzarme para regresar. Quiero que puedan ver el progreso que he hecho, y yo el de ellos. Estoy muy agradecido por todo el apoyo que recibí para poder participar en el JST, y vivir una experiencia inolvidable que ha trascendido en mí. A través del JST pude ver el pasado y el presente de Okinawa, de mi depende crear un futuro para los *uchinanchus* y la cultura okinawense.



安座間 平良 キオミ クラウディア

AZAMA TAIRA KIOMI CLAUDIA

14歳 3世

ペルー共和国 Republic of Peru

ペルー沖縄県人会



JSTとこれから文化交流維持について

JSTは私が生きてきた中でも最高の2週間と最高の経験になりました。ずっと楽しく、気持ちがかもったJSTは、気持ちのいい日にホテルで始まり、集団活動を行い、はじめてみんなと知り合うことができました。とても楽しかったです。特に、参加した踊りが楽しかったです。初日で特に記憶に残っているのは、みんなと知り合った瞬間から意気投合し、それがそれからの研修で待ち受けることが印象的になるだろうと思ったからとても嬉しかったです。その日の夜に、女の子たちが私の部屋に集まってトランプをしたり、違う国々のお菓子を食べたりしました。とても楽しかったです！楽しい時間を過ごすことができました上に、おいしいチョコレートをたくさん食べることができました。

次の日、皆既日食が起きました！見たことがありませんでしたから、とても感動しました。みんな与えられた眼鏡で皆既日食を見ていました。かんぽレクセンタを出た後、私が今まで見た中で最も大きい水族館に行きました。とても驚きました。美ら海水族館の入り口からたくさんの写真を撮りました。それに、行く所すべてで写真を撮っていたからいつ遅れてしまったうえに、バスの中でも写真を撮っていました。バスの中で食べて、絶対に忘ることができない「変顔」も覚えました。それからというものの、「変顔」ばかりの楽しい写真を撮っていました。見る度に、お腹を抱えて笑っています。とてもおいしかったお弁当を食べた後、記念公園の見学が始まりました。海中動物すべての写真を撮っていました。見学後、イルカショーを見に行きました。芸をするイルカを見るのはとても楽しかったです。水族館見学後、海に行きました。そこでバレーをしたり、海水浴をしたりしました。その日にホテルタニューに向かい、それがまた新たなおもしろくて、楽しい時間の始まりとなりました。

ホテルタニューの朝食では、もっと楽しくなるようにみんなでなるべく食べるようにしました。そこで泊まった2夜はとてもおもしろくて、いろいろな人と知り合うことができました。そこでお話をしたり、音楽を聴いたり、トランプをしたり、チョコレートも食べたりしました。ある夜みんな浴衣を着ていました。そ

れがとても楽しかったです。待合室だけではなくて、ランドリーでもそうでした。洗濯する順番待ちをしている間も話したり、写真を撮ったりしていました。時間を無駄にする事無く、最大限に活かしていました。ホテルタニュー2日目の夜には、エイサーの初練習があり、すごく楽しかったです。それに、ゲームをして残念ながら私のチームは負けたけど、すごく楽しむことができたおかげで自分たちが何位になったとかは関係なくすごくいい時間を過ごすことができました。それもこれもゲームを企画してくれた卒業生ボランティア等のおかげです。また、バーベキューを食べている時に新しく友達もできて、作り方も覚えました。それからのキャンプファイヤーは欠かせません。いい思い出の一つです。ダンスをしたり、歌を歌ったりしました。すごく楽しかったが、少しの時間だけだったのが残念です。比地大滝も見学しました。そこまで行くのに長いトレッキングをし、自然と触れ合っていました。私がいたグループが進むたびに一人ずつではなくみんなでみんなの写真を撮ったりしたから一番遅かったです。遅れて、道中ゲームをしたにもかかわらず、どうにか滝に到着することができました。道中、笑ったり、トレッキングを満喫したおかげでとても楽しく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。沖縄の風景にとても感動しました。

4日目、最初にしたことは首里城に行ってその歴史について学ぶことでした。首里城を出るときに、お土産屋にあった試食用のちんすこう全部食べてしまったことを覚えています。沖縄料理はとてもおいしいです。金城町の石畳を通り、県立博物館・美術館を見学して、琉球漆器の作り方を体験しました。とても難しくて、先生は自分が作っていた漆器の一部を失敗した私のに混ぜてくれました。本当に失敗していたので、ありがたかったです。三線の弾き方も学びました。とても興味深かったのですが、実際とても難しくて、1曲全部を覚えきることができなかったのですが、友達と楽しんでやっていました。中には私と同じように悪戦苦闘していた子たちもいました。ホテル前の公園でエイサーの練習をしました。とても楽しかったです。というより、エイサーの練習全部がとても楽しかったです。全員が一緒にいる時間を最大限に活かし、楽しんでい

ました。

5日目は、参加者一人の誕生日を真夜中にサプライズパーティーをすることにしていたので特別な日でした。その日は、平和記念資料館に行くことから始まりました。海がとても美しく、資料館自体もきれいだっただけで写真を撮る人がたくさん撮りました。戦争体験者のお話は本当の恐怖を物語っていて衝撃的でした。見学後、生きてきた中で最もおいしいそば、「沖縄そば」を食べました。国際通りはとても楽しくて、グループと楽しい時間を過ごしました。一緒にいる時間を記念に撮っておきたかったので、あちらこちらで写真を撮っていました。行程を終え、ホテルに戻っていつものようにエイサーの練習をしました。サプライズパーティーまで後僅かでした。11時半ごろみんなで集まってサプライズの準備を始めました。本当にびっくりしていました。サプライズパーティーはそのまま一番広く14人宿泊可能な私の部屋で続けました。パーティーは夜中まで続いて、みんな踊ったりして楽しく過ごしました。参加者だけではなく、スタッフの方々も混じっていました。その後、一緒にいる最後の日ということもありみんなで楽しく過ごしたいという思いから、パーティーは会議室で続き、トランプをしたり、ゲームをしたり、手品をしたりして朝の4時まで起きていました。だから当然のように6日目はみんな寝不足でした。しかし、寝たい気持ちを我慢してみんなでいる時間を楽しく過ごしました。その時には、参加者、スタッフと卒業生みんなが家族のようで、ずっと前から知っているかのような感じでした。大家族、JST2009年でした。

次の日、さよならパーティーのためにみんなテンプス館に集まりました。エイサー発表等にとっても緊張していました。感情的になった時間帯でした。というのも忘れることのできない堅い友情を結んだ人たちと出会い、2009年のJSTに参加できたことを幸せに思う反面、プログラム終了を迎えるにあたって、一緒にいる最後の時間だと思い悲しくもなりました。みんなエイサー、マカレナ等のダンスを踊り、歌も歌いました。みんな泣いていたが、それが短い期間でみんな違う言語を話していたにもかかわらず深い友情を築けたことを意味していたからだと思います。言葉の壁は障害になりませんでした。微笑むだけで、ハグをするだけで言いたいことを伝え合っていました。この研修でどんな方法を使ってもコミュニケーションが取れる素晴らしい人たちに会うことができました。JSTは今までで一番いい経験だったと思います。それは祖父母の素晴らしい故郷を知ったからだけではなく、この交流を通して参加者、スタッフと卒業生と強い友情を築けたからです。本当に大家族のようで、この経験は一生忘れることはないでしょう。それに参加者を通して様々な国の文化について学び、ずっと連絡が途絶えて

いたおじさんたちとも再会することができました。この研修のおかげで日本語を勉強することの大切さを理解し、これからは日本語の授業を真剣に取り組み、やる気を持って通う事に決めました。前は授業に行くことがあまり好きではありませんでしたが、今では重要だとわかり、勉強する理由ができました。その一つがJSTの友達と連絡を取ることと、もう一つがもう一度沖縄に戻ったときのためにです。そのためこの交流はこれからも引き続き行うべきです。連絡が途絶えていた親族と再び連絡を取る機会となり、祖父母の故郷を知り、この研修の目的の一つである沖縄県出身子弟が集まり友情を深めること、沖縄を訪れる人たちを刺激し、沖縄の習慣がそれぞれの国、私の場合はペルーと県人会で広められ、これからもその文化が失われないようにするいい機会だと思います。もちろん、この研修は私自身の考え方や振舞い方を変えてくれ、だからこそより一層沖縄文化を尊重することができます。2011年のウチナンチュー大会やその他の機会のために、沖縄の家族と友達とコミュニケーションが取れるように日本語をもっと学びたいです。JST開催を実現可能にしてくれたスタッフや卒業生の皆様に心から感謝したいです。この研修は開催されるにあたって十分な意義を持ち、ここから得られるものは大変大きいのでこれからもこの交流を続けてほしいです。2009年のJSTの人たちと過ごしたすばらしい時間に感謝し、これからも連絡を取り合っていけたらと思います。この思い出は絶対に忘れません。なぜなら、今はJSTのファン第1号ですから！

"Composicion sobre el JST y sobre mantener el intercambio de ahora en adelante"

La semana del JST fue la mejor semana y experiencia de mi vida. Toda esa semana llena de alegria y sentimientos, comenzo con un ameno dia en el hotel en donde hicimos juegos de integracion, en donde nos conocimos por primera vez. Me diverti un monton, y mucho mas con los bailes que practicamos. Lo mas resaltante del primer dia fue que desde el primer momento que conoci a las personas, congenie muy bien con todos y eso me alegro mucho porque sabia que lo que me esperaba en toda la semana iba a ser impresionante. Esa misma noche, un grupo de chicas nos reunimos en mi cuarto para jugar cartas y comer dulces de distintos paises. !Fue muy divertido!, la pasamos muy bien y comi ricos chocolates.

Al siguiente dia, !ocurrio el eclipse! Nunca habia visto un eclipse y estaba muy emocionada. Todos estabamos viendo el eclipse con los lentes que nos habian dado. Luego del centro de convenciones, !fuimos al acuario mas grande que he visto en mi vida! Me quede impactada con lo que vi frente a

mi. Ya desde la entrada del acuario Chura Umi nos estabamos tomando muchas fotos. Es mas, a cada lugar que ibamos, a veces nos demorabamos un poco para tomarnos fotos y hasta en el bus nos tomabamos. Alli comimos y fue en donde aprendi "hengao" y de lo cual nunca me olvidare. Entonces, a partir de ese dia, hubieron muchas fotos con "hengao" muy divertidas! Que cada vez que las veo, me rio a mas no poder. Cuando terminamos de comer obento, lo cual estuvo muy rico, comenzo el recorrido por el parque. Tomabamos fotos a todos los animales marinos que habia. Luego de recorrer, fuimos al show de delfines. Fue divertidísimo ver a los delfines haciendo trucos. Cuando termino nuestra visita al acuario, !nos tocaba ir a la playa! Alli, jugamos volley y nos metimos al mar. Ese mismo dia, nos dirigimos al hotel Tanew, lo que significo el comienzo de nuevos momentos chistosos y alegres.

En el hotel Tanew, en el desayuno, todos tratamos de comer juntos para poder divertirnos mas. Las 2 noches que estuvimos fueron muy chistosas y conoci mucho mas a todas las personas. Todos nos reuniamos como en una salita que habia al frente de habitaciones nuestras. Alli conversabamos, escuchabamos musica, jugabamos cartas y comiamos chocolates. !Una de las noches estuvimos casi todos con yukata! Fue divertidísimo. No solamente era en la salita, sino !tambien en la lavanderia! Mientras esperabamos el turno para lavar nuestra ropa, conversabamos y nos tomabamos fotos. No desperdiciabamos ningun momento para hacer algo, pues tratamos de aprovechar todo los momentos al maximo. En el segundo dia del hotel Tanew, hubo nuestra primera practica de eisa, lo cual me gusto mucho. Ademas, hicimos juegos, en los cuales mi grupo perdio, pero nos divertimos muchísimo que no importaba en que puesto habiamos quedado, sino en haberla pasado increíble, gracias a los graduados que organizaron los juegos. Tambien comimos parrillada, en donde pude conocer mas a mis amigos y cocinar. Luego, !No podia faltar la fogata! Fue uno de los mejores momentos. Nos pusimos a bailar y cantar. Fue recontra divertido, pero lo malo fue que duro muy poco. Visitamos la catarata Hijiootaki. Para llegar a ella, teniamos que hacer una caminata muy larga, y en donde conviviamos con la naturaleza. El grupo en donde yo estaba eramos los mas lentos porque cada vez que avanzabamos, nos tomabamos fotos, y no solo uno, sino todos con todos. A pesar de las tardanzas y juegos en el camino, pudimos llegar a la catarata. Todo el camino fue muy divertido y se paso rapido el tiempo pues nos estabamos riendo y disfrutando de la caminata. El paisaje de Okinawa me impresiono muchísimo.

En el 4to dia, lo primero que hicimos fue ir al castillo Shuri en donde aprendi mucho sobre su historia. Recuerdo que ya para irnos del castillo, entramos a la tienda de regalos,

en donde habia chinsuko gratis, y nos lo comimos todo. !La comida de Okinawa es muy rica! Tambien caminamos por el caminito de Kanagusuku, visitamos los impresionantes museos, el Prefectural y el de Bellas Artes e hicimos lacado ryukyuni lo cual era muy difícil y el señor que nos enseno me tuvo que dar una parte del lacado porque me habia salido mal. Fue muy gentil de su parte porque en realidad me salio mal. Tambien practicamos sanshin. Fue muy interesante aprender pero en realidad, es muy difícil y a pesar que no me aprendi toda la cancion, me diverti con todos mis amigos pues habian chicos que tambien estaban igual que yo. Tuvimos nuestra practica de eisa en el parque frente al hotel. Fue muy divertido, es mas, todos los ensayos de eisa fueron muy divertidos. Todos aprovechabamos al maximo todo el tiempo que estabamos juntos y nos divertiamos mucho.

El 5to dia fue muy especial pues a la media noche ibamos a celebrar el cumpleaños sorpresa organizado por nosotros mismos de uno de los participantes. Comenzamos el 5to dia yendo al museo conmemorativo de la Paz, en el cual tambien tome muchas fotos pues la vista al mar que tenia era muy hermosa y en si el museo tambien. Me conmovio mucho lo que nos relato el sobreviviente de la guerra, pues fue en realidad un terror. Luego del museo, fuimos a comer el soba mas rico que he probado en mi vida, !Okinawa soba!. Tambien, caminamos por gokusai doori lo cual me divirtio muchísimo y la pase increíble con todo mi grupo. Fotos por aqui, fotos por aca, todos queriamos guardar los momentos que pasabamos juntos. Termine nuestro recorrido y regresamos al hotel en donde hicimos nuestra practica rutinaria de eisa. Ya faltaban horas para el cumpleaños sorpresa. A eso de las 11:30 todos nos juntabamos para hacerle una gran sorpresa. !En realidad si lo sorprendimos! La fiesta sorpresa continuo en el cuarto donde yo dormia, pues era el mas grande ya que alli dormiamos 14 personas. La fiesta continuo hasta la madrugada, todos bailabamos y nos divertiamos muchísimo. No solo fuimos los chicos, sino tambien gran parte del Staff. Seguimos la fiesta en el cuarto de conferencias en donde jugamos cartas, hicimos dinamicas y !hasta trucos! Ese dia nos quedamos despiertos hasta las 4am pues era nuestra ultima noche juntos, y queriamos pasarla muy divertido y todos juntos. Como era de esperarse, todos teniamos muchísimo sueño en el 6to dia. Sin embargo, todos la pasamos muy bien y dejamos de lado nuestras grandes ganas de dormir para estar con los amigos. Ya nos sentiamos como familia y como si nos hubiesemos conocido toda la vida, no solamente los participantes, sino tambien junto al staff y con los alumnos graduados. Eramos la gran familia JST 2009.

Al dia siguiente, todos nos reunimos en "Tembusu" para el sayonara party. Estabamos muy nerviosos por nuestro baile de eisa, y por nuestras presentaciones. Fue un dia de emociones

encontradas pues por un lado yo me sentia muy feliz de haber participado en el JST 2009 y haber encontrado a grandes amigos que nunca los olvidare con los que habia entablado una amistad enorme, y por otra parte me sentia triste pues era la ultima vez que ibamos a estar juntos, pues ya terminaba el programa. Todos bailamos eisa, macarena y otros bailes mas, y cantamos todos juntos. Todos estabamos llorando, sin duda nos habiamos hecho grandes amigos a pesar de la corta semana que estuvimos juntos y que no hablaramos el mismo idioma, pero eso no fue sin duda un obstaculo para nuestra amistad pues con una simple sonrisa o un simple abrazo, deciamos lo que sentiamos. En el JST 2009 me encuentre con las personas mas buenas que conozco pues de cualquier modo nos comunicabamos.

El JST fue la mejor experiencia que he tenido, no solo porque tuve la oportunidad de conocer el lugar de donde provienen mis abuelos y lo maravillosa que es, sino tambien por las grandes amistades que hice en este intercambio no solo con los participantes, sino tambien con el staff y los graduados. Fuimos una gran familia y todo lo que vivi en el JST nunca se me olvidara. Ademas pude aprender sobre las distintas culturas de todos los paises participantes y pude reencontrarme con mis tios que habiamos perdido el contacto desde hace muchisimos anos. Toda la beca sin duda me hizo reflexionar sobre la importancia del idioma japonés para mi pues a partir de esta experiencia, decidi tomar en serio mis estudios del idioma japonés e ir con ganas a las clases pues antes no me gustaba estudiar japonés, pero ahora veo que es muy importante y tengo ya razones para estudiarlo. Una de ellas es para poder comunicarme con mis amigos que hice en el JST y otra es para poder volver a Okinawa.

Es por todo ello que el intercambio se debe mantener de ahora en adelante pues gracias a ello, uno vuelve a tener contacto de ahora en adelante con sus parientes que viven en Okinawa; conoces el lugar en donde nacieron tus abuelos; te reunes con descendientes Okinawenses lo que hace que se este logrando uno de los objetivos de la beca: unir a los descendientes Okinawenses de todo el mundo para que formen un gran lazo de amistad; fomenta a las personas que visiten Okinawa y que se siga fomentando las tradiciones Okinawenses en sus respectivos paises, en mi caso en el Peru y en el kenjinkai pues es muy importante para que a lo largo de los anos no se pierda nuestra cultura ; y por supuesto, este intercambio te cambia tu forma de pensar y actuar ya que ahora valoro mas mi cultura, la Okinawense, y quiero aprender mas sobre ella, y deseo aprender japonés para poder comunicarme con mis familiares y amigos cuando vaya al Uchinachu Taikai 2011 y en otras oportunidades. Muchas gracias Staff y graduados por hacer que el JST se haga posible de realizarlo y espero que sigan continuando con

este intercambio que sinceramente vale la pena organizarlo ya que ganas mucho de ello. Gracias a todo JST 2009 por los hermosos momentos que vivi con todos ustedes y espero que sigamos en contacto. Nunca los olvidare. Ahora soy la fan #1 of JST!



エステラ ロサノ 仲程

ESTELA LOZANO NAKAHODO

14歳 4世

メキシコ合衆国

Estados Unidos Mexicanos

メキシコ沖縄県人会



ジュニアスタディツアーの感想

ジュニアスタディツアーの開始以来、私たちは皆兄弟であったと感じていました。友情の絆を育むのに多くの時間はかからず、我が家にいる現在においてもその絆は続いています。帰国した翌日に、メールを私の知り合った全ての人達に送り始め、その上、昔ながらの手紙までも送りました。

沖縄に到着して間もなくのこと、空港から出る時、初めて見たものはメキシコの国旗で、国章とわかりましたが、数秒後に配色が赤白緑と違うことに気づきました。緑白赤です！、それは私をととても和ませてくれ、うれしく感じました。その次の4日間をホームステイで過ごし、滞在5日目の参加者たちの到着と手続きの前に、キューバ人とショッピングセンターで知り合いましたが、私たちは「おはよう」、「またね」以上の言葉はその時交わしませんでした。ホテルに到着した時は一緒に座り、少しの間おしゃべりした後に、自己紹介に参加しました。その後、キューバ人とペルー人と相部屋になりました。二人は、とても人懐っこいことが判り、快適に過ごすことができました。歓迎会では、何人かの現地の参加者とも知り合えました。そして同じくとても居心地がよく、彼らとコミュニケーションをとるのに、私は日本語が話せないのにもかかわらず、苦勞することはありませんでした。大きな障害もなく完璧に理解しあえました。日本に行く前から、私が臆病ゆえに、他の人たちと理解し合えないかと不安でした。仲間たちと接し始めた時から、全てに例外なく友情を育めたことに、私自身驚き、全ての意味においてより良い人間性になっていきました。実際、自分自身が変わったことを感じ、とてもうれしく思っています。

2日目はあわただしく、水族館に行けたことが良かった。3日目では山に行き、登っている時、精神力も無くもうだめだと思いました。そして、下りも同じでした。その遠足の最中、アルゼンチングループの中の一人と知り合い、私の母国語スペイン語で会話できたのがとても楽しかった。その後、エイサーの練習、私のグループととても楽しむことができたバーベキューや焚き火、そしてお菓子のゲームは忘れること

ができないでしょう。なぜなら、顔中が小麦粉で覆われてしまったからです。本当に楽しかった！

4日目は首里城に行き、とても魅力的でした。

5日目は平和について勉強しました。全部が興味深いものでした。午後には市場へ散策しに行きました。とても面白い一日でした。

6日目はとても穏やかで、最終日ということで少し寂しくなりました。全てを有意義に過ごすよう勤めたことから、とても時が早く過ぎ去ったと感じました。7日目ということもあり私たちはとても寂しく、閉会式では元気に楽しみましたが、少なくとも私には別れはとてもつらいものになりました。

空港に着き、早い時間から全ての友達とお別れをしました。私の出国は一番最後なので、全員とお別れするつらい状況で、さらに感傷にひたらせるものでした。ずっと昔からそのようなことで泣いたことはありませんでしたが、流行のテレビドラマなどのように泣いてしまいました。飛行機から降り出口を探すとき、いつカナダのトランジットビザをくれるか心配でした。カナダ大使館にいた時は、全部が怖い話のようで、唯一足りないものは、映画のような薄気味悪い音楽が聞こえなかったことです。今では全てが笑い話です。トランジットビザのスタンプを押すためパスポートの提出を求められたときには、空が開け、天使達が聖歌を歌っているように感じ、肩の荷がおりました。

メキシコへ帰る飛行機では、胸にある感動の大きさをほとんど眠れませんでした。最後の機内食すら食べませんでした。なぜなら、タコスが食べたかったからです。メキシコに着き飛行機から降りるとき、どんな表情をすればいいかわかりませんでした。無事到着したことでの微笑んだ顔、もしくは知り合った友達と一緒にいない寂しい顔。結局、無意識にももう家族に会いたいという興奮から、大きな口をあけた微笑んだ顔となっていました。出口を出て両親を見たとき、ビザ関連の苦悩で彼らが5キロぐらい痩せてしまったように見えました。両親は泣きながら、私を枕のように強く抱きしめました。会えてよかった。

本当に、人生で素晴らしい一週間でした。ここから楽しむことができ、同時に私を成長させる経験であったと思います。私が望んでいたように、仲間のこ

とを多く学び、彼らは私について。その他、ジュニアスタディツアーでは、私が知りたかった沖縄を教えてもらえました。いろいろな場所やさまざまな事を知り、よく学ぶことが出来ました。私たちの原点を深く知るためにひいおじいさんの故郷まで訪ねることが出来たことに、とても満足しています。全てをとおして、このプログラムの一員となりチャンスをもてた事をうれしく思います。

今では、一緒に過ごした全ての人達を恋しく思っています。忘れられないこのツアーのすべての人達とは、メール交換によりいつでも一緒です。今では、私たちの多くが2011年の世界のウチナンチュー大会で再会できる事を望んでいます。

郷愁でいっぱいなあの美しい沖縄への滞在を実現してくれた全ての人々にとても感謝しています。私は、ジュニアスタディツアーに参加するチャンスを持つ次の人達が今回のツアーの体験で私のように楽しめ、一生に残る思い出いっぱいの気持ちとともにそれぞれが家へ帰っていくだろうと確信しています。そして、この一週間を過ごせて恵まれていると感じています。そして、忘れることがないと知っています。

JUNIOR STUDY TOUR 2009

Desde que inicio el Junior Study Tour sentí que todos éramos hermanos. No tomo demasiado tiempo para formar lazos de amistad que han perdurado hasta ahora que estoy en casa. Al día siguiente que llegue a mi país empecé a mandar mails a todas las personas que conocí, incluso hasta ya mande una carta por el correo antiguo.

En cuanto llegue a Okinawa al salir del aeropuerto lo primero que vi fue la bandera de México, la reconocí por el escudo nacional y dos segundos después me di cuenta que estaban los colores en desorden, rojo blanco y verde y no verde blanco y rojo!, cosa que me hizo reír mucho y me alegro. Los siguientes cuatro días los pase de home stay y en el quinto día antes de la llegada y registro de los participantes conocí en un centro comercial a la Cubana, en aquel momento no cruzamos mas palabras que un buenos días y un hasta luego. Al llegar al hotel nos sentamos juntas. Platicamos un rato y practicamos la presentación personal, mas tarde compartiríamos cuarto junto con la peruana. Las dos resultaron ser muy amigables y nos llevamos muy bien. En la fiesta de bienvenida conocí a varios participantes que eran locales. De igual manera nos llevamos muy bien, no me costo mucho trabajo comunicarme con ellos, a pesar de que yo no hablo japonés. Nos entendimos a la perfección sin mayor dificultad. Desde antes de ir a Japón tenía mucho miedo de no poder entenderme con los demás ya que mi personalidad era un poco tímida. Cuando empecé a socializar con mis compañeros

realmente me asombre a mi misma de la facilidad con la que hice amistad con todos sin excepción, esta experiencia me cambio la personalidad para bien en todo sentido, en verdad siento que cambie y me alegro de eso.

El día dos fue muy agitado y lo que mas me gusto fue el acuario. En el tercer día fuimos a la montaña, cuando subíamos sentía que yo ya no podía ni con mi alma y a la bajada igual. Durante el rato que duro la caminata conocí a uno de los argentinos, fue muy grato poder conversar en mi idioma!. Después hubo práctica de eisa, parrillada y una fogata en la que me divertí mucho con los miembros de mi equipo, no voy a olvidar que en un juego termine como pastel Porque tenía toda la cara cubierta de harina. Fue tan divertido!

El cuarto día fuimos al castillo de Shuri y puedo decir que me encanto.

En el quinto día estudiamos sobre la paz. Todo fue muy interesante. En la tarde fuimos a dar un recorrido por el mercado, el día fue muy entretenido.

El sexto día estuvo muy relajado y me sentí un poco triste por que era el último. Sentí que todo pasó muy rápido por lo que trate de disfrutar al máximo todo. A lo largo del séptimo día todos estábamos muy tristes en la clausura nos divertimos con las actividades pero al menos para mi fue muy duro la despedida.

Llegue al aeropuerto desde temprano para poder despedir a todos mis amigos Yo era la ultima en salir así que fue aun mas feo despedirme de todos y también parecía que me lo hacían de emoción. No había llorado de esa manera desde hace mucho tiempo. Me fui llorando como si fuera telenovela cursi o algo parecido. Cuando entre a buscar la puerta donde salía mi avión a la isla grande. Estaba preocupada por el asunto de que me pedían visa de un día para otro para hacer escala en Canadá y todo parecía como un cuento de terror cuando estuve en la embajada. Solo me faltaba escuchar la música tétrica como en las películas. Ahora me río de todo eso. Cuando me pidieron el pasaporte para estamparme la visa de transito sentí que el cielo se abrió y los Ángeles cantaron el aleluya. Me quitaron un peso de mis hombros.

En el vuelo de regreso a México casi ni dormí de la cantidad de emociones que llevaba. Incluso rechacé la ultima comida del avión por que quería llegar a comer tacos! Cuando llegue a México y me baje del avión no sabia como poner mi cara, si de sonrisa por haber llegado bien o de tristeza por no estar con mis amigos. Así que involuntariamente llevaba una sonrisa de oreja a oreja por los nervios de que ya quería ver a mi familia. Cuando Salí y vi a mis papas creo que bajaron como cinco kilos cada uno por la angustia de mi visa! Ellos estaban llorando y me estrujaban como almohada. Fue muy bueno verlos. Sin duda fue la mejor semana de mi vida. Me divertí mucho! y pienso que de igual manera fue una

experiencia que me ayudo a madurar. Aprendí mucho de mis compañeros y ellos de mí. Tal y como yo esperaba. Por otro lado, durante Junior Study Tour me mostraron el Okinawa que yo deseaba conocer. Conocí Muchos lugares que me gustaron y de los cuales también aprendí mucho.

Fue muy satisfactorio haber viajado hasta la tierra de mi bisabuelo para adentrarme en lo que son mis raíces.

En todos los sentidos me gusto mucho haber tenido la oportunidad de ser parte de este programa.

Ahora extraño mucho a todas las personas con las que conviví. Todas las personas con las que intercambiado mails coinciden conmigo en que fue memorable este viaje. Ahora muchos de nosotros esperamos poder reencontrarnos en 2011 para el sekai no Uchinanchu taikai.

Estoy muy agradecida con todas las personas que hicieron posible el que yo pude estar en aquella tierra tan hermosa que me llena de nostalgia.

Yo estoy firmemente convencida de que a las siguientes personas que tengan la oportunidad de ser parte del Junior Study Tour disfrutaran tanto como yo la experiencia de este viaje y regresaran a casa con la mente llena de recuerdos que duraran toda la vida. Me siento afortunada de haber vivido esa semana, se que no la olvidare.



ウエンディ ロイス タマキ

WENDY LOYS TAMAKI

18歳 4世

キューバ共和国 Republica de Cuba

キューバ沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー 2009

nombre que nunca olvidaré: “OKINAWA”.

こんにちは！ロイス・タマキ・ウエンディです。
2009年のジュニアスタディーツアーに参加し、虜になり、誇らしく思う人は多いと思いますが私もその一人です。祖先の故郷にとっても感動しています。風に揺られる豊かな木や緑、細い砂と戯れながら私を誘いかける波の声に心惹かれました。祖父母がかつて歩いた道を歩き、お店の主人、店の風変わりなドア、狭い小さな道などそれぞれの歴史の物語であふれる市場を散策し、まるで夢のようでした。沖縄人が持っている愛国心、同胞、団結、努力、平和への愛、一体感を感じさせてくれることが素敵だと思います。ジュニアスタディーツアーは私にとって絶対に目を覚ましたくない忘れられない夢のようでした。沖縄は、祖先の故郷、私の故郷、そして世界一の場所でもあります。どこに行っても魅力にあふれているので、逃げたくても逃げられないぐらいです。私もこの素晴らしい島の一部であることを誇りに思い、けして「沖縄」という名前は忘れません。

JUNIOR STUDY TOUR 2009

¡Hola! Mi nombre es Wendy Loys Tamaki, y me enorgullezco de haber sido participante y superfanática del JST Junior Study' 2009. Estoy completamente fascinada de la tierra de mis antepasados. Me encantaron sus verdes y frondosos árboles que cantan al compás del viento; el mar, que invita con el canto de las olas al cruzarse con la fina arena. Es un sueño el caminar por las calles que un día mis abuelos pisaron, y transitar por el Mercado principal que narra su historia en cada vendedor, en cada puerta, en cada calle. Es encantador conocer el sentimiento de patriotismo, hermandad, solidaridad, esfuerzo y amor por la paz que se respira en cada habitante de Okinawa. Para mí el JST es un sueño inolvidable del cual nunca quisiera despertar. “Okinawa”: nombre de la tierra de mis ancestros; mi tierra, la tierra más maravillosa del mundo que alguien pueda conocer. Irresistibles encantos de los cuales nadie podrá escapar jamás. Me siento feliz de sentirme parte de esa maravillosa y encantadora isla que lleva un



座喜味 ケリ アン キミコ

ZAKIMI KELLI ANN KIMIKO

17歳 4世

アメリカ合衆国

United States of America

ハワイ沖縄連合会



2009 年度ジュニアスタディツアーの感想と評価

私の名前は座喜味・ケリー・アンです。これは2009 年度ジュニアスタディツアーに対する私の感想です。このツアーの最初の方は、ただ沖縄に行って親戚と団らんすることを楽しみにしていました。そしてまた、はじめ私は他の参加者やスタッフの人たちにお会いすることに緊張していました。けれども、お互い知り合ったら、家族のように一つになることができました。驚いたのは、私達はあちこち違う所から来ているのに、ツアーの終わりには知り合って何年も経っているように友情と仲間意識で結ばれて語り合っていたことです。

沖縄に滞在した二週間は素晴らしく、そこで暮らす人々がどのように夏を過ごすか伺い知る事が出来ました。また、文化、歴史、環境など、沖縄に関する沢山の事を学びました。沖縄が夏の間とても暑くて湿度が高く、ハワイよりもひどいほどだ、ということも忘れられません。それでも、この暑さをものともせず人々は親切で、滞在中私は本当にアロハ精神を感じました。また、食を通して文化を知るのも楽しく、私はゴーヤーチャンプルーと伝統の沖縄そばを初めて食べました。ゴーヤーは好きになれませんでした。沖縄そばは今では大好きな食べ物の一つです。

沖縄平和祈念資料館では、本当に胸の詰まる思いをしました。沖縄戦で何が起って、人々にどのような影響を与えたか、それまでと違った視点から考える機会になりました。細かい描写には目を背けたくなることもありましたが、第二次世界大戦の歴史の本にも書かれていないような事柄も起こっていた、ということを知ることができました。

このツアーの素晴らしい事は、沖縄の事ばかりでなく、アルゼンチンやペルーなど他の国々から来た生徒を通じてそれぞれの国の勉強が出来た事です。

このジュニアスタディツアーでは楽しい事が本当に沢山ありました。その一つが私の親戚と滞在したことでした。この親戚は沖縄で暮らしているので、今まで一度も会った事はありませんでしたが、この対面はハワイと沖縄の親族を結びつけるきっかけになりました。とても優しくして貰って、買い物やら島の観光

などに連れて行って貰いました。他にも楽しかったのは、私達がグループに分かれてゲームをした時でした。ゲームに勝つためにお互い協力し今まで以上に知り合う事ができたからです。ツアー中訪れたたくさんの場所の中でも最も好きな所は、美ら海水族館です。広大な敷地とそこにいる生物の数の豊富さだけでも驚きました。また、イルカショーもとても素晴らしかったです。私は来年大学に入学するのですが、海洋生物学は専攻したい学科の一つです。そのこともあって、世界第二の大きさの水族館に行けてとても喜んでます。美ら海水族館に比べるとワイキキの水族館はなんと小さく感じるのでしょうか。

私達参加者に、沖縄を知る素晴らしい機会を与えてくれた県庁をはじめとするジュニアスタディツアー関係者にマハロ、感謝の意を表したいと思います。この旅のお陰で私は以前にも増して、自分の文化を認識する事が出来ました。沖縄の移民で、自分の歴史を知り新しい人々との出会いを求める人に、このジュニアスタディツアーを強く勧めたいと思います。

Okinawa Junior Study Tour 2009 Reflection and Evaluation

My name is Kelli Ann Zakimi and this is my reflection of the 2009 Junior Study Tour. In the beginning of the tour I was very excited to just go to Okinawa and have a good time with my family. I was nervous to meet the other kids and staff on the tour but as we got to know each other we came together like family. The amazing thing was that we were all from different parts of the world and at the end of tour talked as if we had known each other for years with a sense of camaraderie and fellowship.

The two weeks I was in Okinawa were great and it gave me a taste of what life was like for the Okinawan people during the summer. I learned many things about Okinawa including the culture, history, and the environment. One thing I will never forget about Okinawa is how hot and humid it is during the summer, even more so than Hawaii. But no matter how hot it got, the people were all still very friendly and I really felt the aloha spirit the whole time I was there. Another thing

I like about culture is that it encompasses food as well, so I was able to try some native Okinawan dishes such as goya champuru and okinawa soba. I didn't like the goya, but okinawa soba is now one of my favorite foods. Something that really touched me was when we went to the Okinawa Peace Museum, as it gave me a different perspective of what happened during and after the battle and what an impact it had on the people. Although it went into more detail than I would have liked, it is good to know what the history book missed when it tried to cover World War II. A great thing about the tour is that I didn't learn only about Okinawa, but about other countries such as Argentina, Peru, and others through the other students that were from those places.

I had many favorite parts of the Junior Study Tour. One was staying with my family. Since they live in Okinawa I have never seen them before so this was one way for our families to be in touch. They were very kind to me and took me to do activities like shopping and touring the island. Another of my favorite parts of the tour was when we were put into groups and played games. I liked this because we all got to know each other better through the games by cooperating together and trying to win. Of all the places we went to on the tour, I think my favorite was going to the Churaumi Aquarium. Just the sheer size of the park and the amount of animals they had there was amazing. The dolphin show was great, too. I am going to college next year and one of my potential majors is marine biology, so I am glad we went to see the world's second largest aquarium. The Waikiki Aquarium is like nothing compared to the Churaumi.

I'd like to say mahalo to the government and Junior Study Tour for taking our group of students and letting us have this wonderful opportunity of exploring Okinawa. Because of this tour I feel as though I can identify with my culture much more than before. I would definitely recommend this tour to other Okinawans that want to learn more about their history and meet new people.



新垣 有紀

YUKI SHINGAKI

17歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

北米沖縄県人会



貴重な体験

先ず最初に、ジュニア・スタディー・ツアー（JST）のスタッフの方々にお礼を申し上げます。日本語を話せないメンバーの通訳や翻訳を助けて頂いた方々、このプログラムのスポンサーである沖縄県庁、それからこのような素晴らしい経験を得るチャンスを与えてくれた北米沖縄県人会の推薦委員会の方々にも厚くお礼を申し上げます。皆様には色々な面でお世話になりました。思い出深い時と一緒に過ごしたJSTの生徒たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。

沖縄の美しさや平和な暮らしのことは写真や話では聞いていましたが、実際に体験してみると、より一層素晴らしいものでした。沖縄の気候にはきっと慣れないよ、とアメリカを立つ前に皆に言われたけれど、自分では「そんなに暑いはずが無い」と思っていました。でも飛行機を降りた瞬間に感じた湿気には驚きました。しかし、暑さに負けず新しい友達をつくったり、いろんな所へ行って沖縄の文化について良く学ぶことが出来ました。

ホームステイの最初の4日間は、沖縄の様々なライフスタイルに慣れる大事な日々でした。叔父の家に滞在し、沖縄の中部と北部を案内してもらいました。ムーンビーチ・リゾートへ行き、その後ヤンバルに住んでいる79歳という若さのひいおばあちゃんに会いました。叔父にはいろんな沖縄料理のレストランにも連れて行ってもらいました。沖縄そば、とんかつ、ゴーヤーチャンプルー、紅芋アイスクリーム、そして一番珍味だと思った海ぶどうを試食しました。

ホームステイが終わるとJSTのメンバーと合同しました。当初、外国に住んでいる生徒達だけが参加しているものだと思っていましたが、全員の名前札を見ると、国籍が「日本」と書いてある者もいることに気がつきました。「これは日本語を勉強できるいいチャンスだ！」と希望を持ちました。次の2週間は、首里城、ちゅら海水族館、エメラルドビーチ、国際道りなど有名な場所に行き、ホテルの大衆浴場やサウナも皆と一緒に経験しました。また、琉球漆器を作ってみたり、サヨナラパーティーではエイサーを踊りました。

サヨナラパーティーというよりも、「帰ってきます」

という約束の宴のようなものでした。仲良くなった友人たちと別れるのはとても辛かったです。泣いたり、笑ったり、誕生日を祝ったり、お化け話をし合ったり、みんな家族のような絆で結ばれた気がしました。

JSTを経験したことがきっかけで、琉球大学に進もうと思っています。そして、日本で英語の教師になりたいです。JSTのおかげで自分の人生に色んなチョイスが生まれ、道が開けたと思います。JSTは僕にとって大変貴重な経験でした。今後もこのプログラムを続けてください。そして次の世代の「うちなんちゅー」達にも僕に与えられたのと同様のチャンスをつくってあげてください。

いっぺーにふえーで一びる！

First and foremost, I would like to thank all the Junior Study Tour staff members who made sure everything ran perfect, the translators who helped the non-Japanese speakers, the Okinawan government for providing the program, the JST students who gave me countless unforgettable memories, and the evaluation staff of the Hokubei Okinawa kenjinkai for handing me the chance to have such a wonderful experience.

Before I departed, I had only seen pictures and heard stories of how beautiful and peaceful the islands of Okinawa are. However, hearing and actually experiencing are two completely different things. From the very first step off of the plane, the humidity hit me in the face instantly. Prior to going to Okinawa, everyone told me how fierce the weather was and that I might not be able to handle it. I always thought to myself, "oh it can't be THAT hot", but I was terribly wrong! Despite the weather, the overall trip was amazing. I was able to experience many new places, make new friends, share memories, and learn about the Okinawan culture.

The first four days of home-stay upon arriving was a great way to get accustomed to the different lifestyle of Okinawa. Staying with my uncle, he showed me the majority of the middle and northern section of the island. He also took me to the beautiful Moon Beach resort and also to see my great Grandma who is only 79! and currently resides in the Yanbaru area. Along with a tour, my uncle also took me to a great number of restaurants to try new foods such as Okinawa

Soba, Tonkatsu, Goya Champloo, Ben-ni Mo ice cream, and the most interesting, Umi Budou!

Once the home-stay portion was over, it was time to move onto the JST and get acquainted with the other members. At first, I thought that only members from outside of Japan were going to be on the tour, and was surprised to see many people wearing a name tag who's nationality said "日本". But at the same time I felt this would be a great chance to practice and study my Japanese! I was so excited and hoped to learn a great deal of Japanese throughout the trip. Over the course of two weeks the JST members had learned so much. We visited the famous "Churaumi Suizokan", "Shuri-jo", "Emerald beach", and "Kokusai Dori" and even experienced the soothing bath houses and sauna's at the hotels! We learned how to create Ryukyu shiki plates and also performed a traditional "eisa" dance for the Sayonara Party.

The Sayonara Party was more similar to a "I'll be back party" as everyone had become so attached that it became too hard to let go. From the beginning to the very end, I don't think any of us had the strength to farewell. Instead we used our tears to express our feelings. We had all formed a special bond like that of a family. Through various events such as sharing ghost stories and celebrating each others birthdays as though we have been friends for years, was very touching and a beautiful feeling.

Because of the JST experience, I have now decided to try and enter 琉球大学! To become an English teacher in Japan. This opportunity opened up many new choices in my life, and helped me a great deal. And because of that, I want to thank everyone associated with JST and I ask that you keep on running this program so that our future generation of Okinawans can also share the same experiences and opportunities! Ippei Nihei-Deebiru!



カティア ヒミコ リベラ

RIVERA KATIYA

15歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

ジョージア琉球郷友会



ジュニアスタディーツアー 2009

JSTのプログラムに参加した5日間、みんなと一緒に沖縄の文化を学びながらとても楽しい時間を過ごしました。参加者一人一人のことや、それぞれの国の文化を学ぶことは大きな喜びでした。ホームステイで親戚と再会できたこともとてもうれしかったです。

沖縄はあまり発展していない亜熱帯気候の小さい島で、人々は温かい、ということが到着してすぐに読みとれました。この島では未開発の地が町と町を区切っている景色が、私がアメリカでこれまで見たよりもたくさんありました。その他にも、青く透明な海水が何マイルにも渡って広がる沖縄のビーチは、今まで見たどの砂浜よりもきれいだと思いました。

そしてまたこの美しい自然に加えて沖縄にはとても興味深い文化があります。JSTの中で、首里城を訪れる機会もありました。首里城には鮮やかな赤、龍の凝ったデザインなど中国の象徴がたくさん使われていて、中国からの影響があるのが分かりました。けれども実は、首里城は何度か焼け落ちていて、沖縄戦の間も完全に破壊されているので、今日の首里城は現代に建てられたものなのだそうです。

沖縄県平和祈念資料館では沖縄戦について学びました。20万人以上の死者を出し、その半分以上が民間人であったということ。爆撃、飢え、マラリア、自殺、そして、ひどい時には退却する日本軍の手にかかって、たくさんの人が亡くなったこと。また、資料館では戦争を体験し生き残った人々の経験を証言形式で集めていました。その中でたくさんの人が飢えに苦しみ食べ物や水を求めて、戦場に行く当てもなくさまよい歩いた経験や、また、米軍の捕虜となり収容所に入った体験をつづっていました。

ジュニアスタディーツアーは沖縄のことを学び、他の参加者との友情を育む素晴らしい機会になりました。みんなで一緒に取り組んだレクリエーションはただ楽しいだけでなく、私たちを一つにまとめる力がありました。中でもキャンプファイヤーが一番思い出に残るものとなりました。大きなたき火だけが真っ暗な夜を照らし、夜通し歌って踊って過ごしました。みんなで思い出の一夜を選ぼしたら、このキャンプファイ

ヤーになると思います。

JSTに参加してとても良い経験になったので、このプログラムがずっと続いて欲しいと思います。これからの世代に、ツアーの何も変わることがなく、そのまま私たちが参加したのと同じような楽しい体験をして欲しいです。ハイキング、平和祈念資料館、エイサー、キャンプファイヤー、何もかもが私たちの遺産を学ぶための完璧な経験でした。私の祖先を身近に感じることができ、新しい友達を得ることができて、このジュニアスタディーツアーに感謝の気持ちでいっぱいです。沖縄で出会ったみんなが大好きになったのでまた合いたいと思っています。そして、沖縄の親戚をもう一度訪ねたいです。

Junior Study Tour 2009

During the five days I was with the JST, I have enjoyed the time spent with everyone in learning about Okinawan culture. It was a pleasure to meet everyone and learn about each individual and their country's cultures. Even during the home stay it was a joy to see my family once more.

Upon arrival, with a quick analysis, Okinawa is a small island with a tropical climate, not very industrialized, and friendly people. The island contains many large plots of unindustrialized land that separates each city, more than I've seen in America so far. Along with these plots of land, Okinawa also has some of the most beautiful beaches that I've ever been to; as each beach contains clear blue seawater that stretches for miles.

Along with beautiful nature, Okinawa has a very interesting culture. One place which we visited while on the Junior Study Tour was Shuri Castle. The castle resembles a Chinese influence on Okinawa as the bright red color and intricate design with the dragon are all symbols of China. However, today's Shuri Castle is more modern in time period, as the original Shuri Castle was burned several times and was completely destroyed during the Battle of Okinawa.

We had also learned about the Battle of Okinawa through the Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum. The Battle of Okinawa lasted for approximately ninety days,

with an upward death toll of 200,000 more than half of which were civilian lives. Many died from shells, starvation, malaria, suicide or even by the retreating Japanese troops. The museum also contained information in the form of testimonies from those who experienced the war and lived to tell of it. Many of them were starving and had nowhere to go except wander the battlefield in search for food or water, while others were taken into U.S. refugee camps.

The Junior Study Tour was an amazing opportunity to learn about Okinawa and to gain new friendships with the others in the tour. The activities we had done together were both fun and brought us closer together. One of the most memorable activities was the campfire. All of us together dancing and singing the night away with nothing but the large bonfire to light the night. It seems everyone's favorite night had to be that one.

I have enjoyed the JST greatly, and hope that this tour continues. I believe that nothing should be changed and that the tour should remain the same for future generations to enjoy as we have. The hiking, the Peace Museum, Eisa, the campfire, everything was a perfect experience for us in learning about our heritage. Thanks to this tour, I feel closer to my ancestors and am grateful for my new friends. I miss everyone and hope to see them again once more, as well as visiting my family, as I wish to go to Okinawa again.



真志喜 直美

NAOMI MAKISHI

15歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

ワシントンDC沖縄県会



ジュニアスタディーツアー 2009

2009年沖縄ジュニアスタディーツアーの目標は、私のような海外に住む沖縄人が、沖縄の人の生き方を勉強してより深く沖縄を理解することができるようにすることでした。しかし、このスタディーツアーでは、それ以上の成果を得たと思います。ツアー全体を通して素敵なお話がたくさんありました。

私は、沖縄で過ごしたこの二週間のことをどのように説明しはじめたらいいのかさえわかりません。『百聞は一見にしかず』これは母から聞いたことわざです。私が飛行機から降りた時、むし暑さが私を包みました。そして飛行場をあとにして、大きな都市を見てびっくりしました。何故なら私の想像した沖縄はのんびりした農村だったからです。私は最初から最後までたくさんの新しい事を学びました。いろんなことをしました。しかし経験できないこともたくさんありました。でもそれは、『また沖縄に行きたい』という気持ちを起こさせます。

ツアーの間のホームステイの計画は、とてもよかったと思いました。それによって私たちは沖縄の人の毎日の生活をかい間見ることができました。親戚の家をいくつか訪問しました。そして親戚の人々にとてもいい態度で接しました。アメリカでは、なかなかそういうことがないので文化の違いにびっくりしました。そして琉球村でハブとマングースのことも学びました。おじさんは私に言いました。『ホームステイの間にもいろんなことが勉強できるよ、ジュニアスタディーツアーだけが勉強だけではないよ。しっかりと、いろいろなことを学ぶように』振り返ってみると、まったくそのとおりだと思いました。

ジュニアスタディーツアーは、最初から最後まで刺激的な素晴らしい経験でした。その二日目は、一番楽しかった日でした。私たちは、県庁に行きました。それは、とても興味深いものでした。また、万国津梁館では夢中で日食を見ました。また、水族館でイルカショーを見て、それから海で泳ぎました。その日は楽しい行事がたくさんありましたが、学びの機会もたくさんありました。万国津梁館では、沖縄に関する新しい政治的な知識を得ました。小さな島であるにもかかわらず

重要な位置にあり、世界的な政治の場で大切な役割を果たしたということにびっくりしました。水族館では、多様な海洋生物がいて、沖縄はユニークで特別なところだということを感じました。沖縄の海には奇妙な形をした生物や、生き生きとした生物など、たくさんの生命が存在します。魚の中には、あまりにも他の魚と似ていないので魚だということすらわからないものもいて、はじめ何かの海の植物かと思ったほどでした。水族館は、海の生命の美しさと多様性を見せてくれました。こう振り返ってみても、やはり二日目は、一番心に残る日だと思います。

また、他の日でも私の好奇心をそそるできごとがたくさんありました。比地大滝へのハイキングでは、その自然のすばらしさを体験しました。そして沖縄にしか存在しない鳥類がいかに多いかにびっくりしました。私が渡った橋を見ると、その下とその彼方には、生い茂った緑の木々が見え、川の流れる音が聞こえました。その音や緑の木々は、まさに熱帯雨林にいることをかんじさせました。これは、本当に自分の目で見るべきです。その素晴らしさは千の言葉でも表せません。首里城と金城町の石畳は、昔の沖縄の姿とその長い歴史を感じさせる場所でした。それから平和祈念資料館でのツアーは、私の心に深く感じさせるものがあり、泣きそうになってしまいました。長田勝男さんの戦時中に関する話は、考え深いものでした。展示物を見ながら、これは、本当に過去に起こったことであり、多くの人々が苦しんだということを知りました。その後、外に出たとき、祈念碑に刻まれたたくさんの人々の名前に衝撃を受けました。祈念碑に刻まれた多大な人々の名前を見ることにより、私の目が開かれた感じがします。平和祈念館を訪れたことにより、私はなぜ沖縄の人々が平和に関してゆるぎない姿勢を持っているのかが、少し理解できる感じがしました。感銘を受けたこの場所を訪れたことは、忘れることができないでしょう。その後のマチグァー散策にはワクワクしました。何故なら普通見ることのできないいろんなものを見ることができたからです。お仏壇には真ん中に線が引かれ、右と左に分かれていたので、ちょっと不思議だと思いました。多彩な種類のお店が終わりのないように立ち並んでいました。それぞれの店先では違

った物が置いてあり、市場ではほんとうにいろいろな品々をみることができるということにびっくりしました。ホテルに帰ってからの研究会は楽しいうえに、いろんなことを勉強できました。すべてのツアーを通して、いつも新しいこと、気持ちがワクワクすることがありました。

私は、いろんなことをジュニアスタディツアーで学びましたが、それと同時に知識以外のことも手に入れました。それは、友情です。ツアーの最初のころは友達が作れるかどうか不安でしたが、終わりのころになると友達と別れたくないという思いから、涙でいっぱいになりました。『イチャリバチョーデー』という沖縄の言葉を知りました。それは一度会って友達になると兄弟、姉妹のようなものだと言うことです。すべてのツアーを通して、私は、彼らとの友情の絆を作りました。そしてとても楽しい時を過ごしました。いろんな友達を作りながら、私は想像もできなかった新しいことをたくさん学びました。

2009年ジュニアスタディツアーは、私の人生にとって本当にすばらしい経験となりました。とても楽しかったと同時に、たくさんのことを学びました。沖縄の文化は本当に素晴らしく、島はとても美しいです。ジュニアスタディツアーでいろんなことを経験しましたが、まだまだ私は沖縄のことや沖縄の人々の生き方を学びたいと思っています。私はまたすぐにでも沖縄を訪れたいと思っています。今回のツアーの経験は、死ぬまで忘れることができないでしょう。私はこのツアーに参加してたくさんのことを学ぶことができ、本当に良かったと思っています。

最後に、2009年ジュニアスタディツアーに協力していただいた方々と、私をこの忘れることのできないツアーに参加させるために協力してくれた方々皆様に感謝します。

本当にどうもありがとうございました。

Junior Study Tour 2009

I don't even know how to begin to describe the two weeks that I spent in Okinawa. There were so many things that I did. But, there were also many things I did not get to experience, which makes me want to go back again. The main goal of this trip was so that Okinawans, such as me, could learn more about the Okinawan way of life. However, I believe this trip went far beyond the initial goal. There were so many things that I liked throughout the whole Junior Study Tour.

The idea of allowing a homestay during the trip was a very good idea. This allowed everyone to experience what daily life might feel like, since during the 'study part' of the trip, we were busy and followed a schedule. While I was staying with my host family, I learned many things and visited many

places that I didn't get to experience during the 'study part' of the Junior Study Tour. During my homestay, my uncle said, "You can learn many things during the homestay, not just during the 'study part' of your trip, so make sure you're learning". Looking back, I realize I just agreed with him without thinking about it. However, now I fully understand what he was talking about.

The Junior Study Tour itself was also an amazing experience like the homestay. From the beginning to the end, it was a stimulating experience. One of my favorite days was the second day. We went to the Prefectural Government Building and it was very interesting to see. When we went to the Bankoku Shinryokan, I was extremely ecstatic since we got to see the solar eclipse there, and look inside Bankoku Shinryokan. After that, we toured the aquarium and saw a dolphin show, then swam at the beach. That day was full of very fun things, but I also learned a lot. At the Bankoku Shinryokan, I got new insight about the political side of Okinawa. At the aquarium, I felt that I got to know how different and special Okinawa is because of the variety of marine life. It showed me how beautiful everything is. The second day was definitely my favorite.

Although the second day was my favorite, there were many other things that piqued my interest. During the hike at the Great Hiji Falls, I experienced the magnificence of the nature of Okinawa. I was surprised to learn that there were so many animals that are only native to the island of Okinawa. The landscape was really beautiful and touched my heart. When I looked over a bridge we crossed, I remembered the many stories that my family told me how beautiful Okinawa is. It really is something that somebody should see for themselves, because not even 1,000 words could describe it. Shuri-jo Castle and the stone road in Shuri-Kinjo town really made me think about the past of Okinawa and the long history it has had. The Peace Memorial Museum reached deep into my heart and almost made me cry. Mr. Katsuo Nagata's story about his life was interesting to hear. Looking through the exhibit, it made me realize that the past actually happened and so many people suffered. When we went outside, I was shocked at how many names there were on the numerous memorial stones. Seeing all of the names really opened my eyes. I feel that I can understand a little bit why the Okinawans are so adamant about peace now that I have visited the Peace Memorial Museum. I don't think that I will ever forget about the visit there because it made a big impression on me. The stroll through Machigawa Marketplace was really exciting because I saw so many things that I normally wouldn't see. When we did the workshops at the hotel, it was very fun, and I learned a lot at the same time. Throughout the whole trip, there was always something new or exciting that I

experienced.

I learned a lot during the Junior Study Tour, but there is something I gained other than knowledge, and that is friendship. In the beginning of the trip, I didn't really know if I could make friend with everybody, but by the end of the trip, I was in tears because I didn't want to leave them. Throughout the whole trip, I was making friends and bonding with them, and having lots of fun. Making so many different friends, I actually learned new and various things I would never have dreamed of.

In the end, the Junior Study Tour 2009 has been one of the greatest experiences of my life. I had lots of fun on the trip, but I also learned so much. The Okinawan culture truly is wonderful, and the island is extremely beautiful. Even though I've experienced so much on the Junior Study Tour, I still feel like learning so much more about Okinawa and the Okinawan way of life. I really want to go back to Okinawa soon, and I plan to attend Sekai no Uchinanchu Taikai in 2011. This experience is one that I will never forget until I die. I am extremely ecstatic that I could go on this trip and learn so much. I appreciate everybody who has worked with the Junior Study Tour 2009 Program, and me, for making the trip possible and unforgettable.



ルーク マイケル ライル

LUKE MICHAEL RYLE

17歳 3世

アメリカ合衆国

United States of America

インディアナ沖縄県人会



ジュニアースタデーツアー 2009

沖縄で過ごした今年の夏、とてもすばらしい時間を過ごせたことにとても感謝しており、これからもうずっと忘れることのできない経験になりました。僕の沖縄の先祖の歴史、僕の母、祖母が生まれ育った島の歴史についてたくさん学びました。そして、世界中から来た沢山の素晴らしい人たちに会い、一生の友情を築くことができたことを幸運に思っています。僕がアメリカに戻ってきた時、日本文化と島の歴史が僕の家族に深く関係しているということが、よく理解ができたような気がしました。

日本に着いてすぐに親戚と共に過ごした4、5日間は、久しぶりの再会でとても楽しむことができました。僕が2歳の頃おじとおばを訪ねるために母と沖縄へ来ましたが、僕は幼かったので、その時の沖縄旅行の記憶はほんの少ししか残っていません。ですので、今回の経験全てが僕にとって初めてのものと言っていいほどです。僕のおじ達は本当に親切で、普段では体験できない島独特の光景を見せてくれました。伊計島とその他の島々へ行った時は、とても美しい海岸と風景を楽しみました。滞在の2日目は、おじと勝連城へ行き、島と海の驚くほどの気高い眺めに深く感動しました。城の全体的な構造がとても良く保存されており、たくさんの歴史がある空間にいるという感覚は、今回の旅の思い出に強く残っているうちの一つです。他のおじと一緒に座喜味城へ行ったときも、同じように感動したことを覚えています。それから、おじと岸釣りをしに行き、何も釣れませんでした、とても良い思い出になりました。琉球村では昔からの沖縄の文化そして人々の生活を少し垣間見ることができ、興味深い経験でした。何よりも、僕の親戚家族と一緒に過ごせたことがとても幸せでした。

旅の残りの時間はJSTの皆と過ごしました。ブラジル、ペルー、ボリビアなど世界中から集まった生徒たちと会い、過ごしたことにより、世界的に沖縄の文化社会が大きく広まっているのだと実感させられました。さらに、歓迎会の時にはそれぞれの生徒がその国の歌や踊りを披露し、国際交流も楽しむことができました。JSTのスタッフの皆さんは本当に親切でたくさ

ん助けてもらい、大変お世話になりました。僕の日本語には限りがあったので、通訳さんには特にお世話になりました。そして、リーダーさんにはとても友好的で親切なもてなしをしていただきました。僕たちの滞在中の宿泊先もとても良いところばかりでした。特に沖縄の一番高い場所にあるホテルタニユーは僕が気に入ったホテルでした。食事もおいしく、食べ物の質にもとても満足したことを覚えています。沖縄そばや大根という今まで食べたことのない違った新しい食べ物を挑戦することができました。基本的に、よく食べ、よく寝、退屈することもなく、病気もせず、この沖縄での経験は本当に全てが楽しく良い思い出になりました。

僕たちが観光をした所は沢山あったので、全ては報告できませんが、何箇所か、とても印象に残った場所があります。ちゅら海水族館の水槽の中を巨大なジンベイザメがすいすいと泳いでいる光景には深く感動しました。県立博物館と平和祈念資料館では沖縄の人たちが平和のために直面した苦悩と勝利について、よく理解することができました。ナガタカツオさんは、わかりやすく率直に第二次世界大戦の悲劇の話をしてくれ、JSTのイベントの中でもとても印象深く、僕の家族が体験した戦争の話を思い出しました。僕の祖父も、アメリカ海軍として沖縄戦で戦った一人です。

ただ一つだけ、少しがっかりしたのは首里城です。何度も修復されているということは、本物の歴史的な価値をあまりもたないということを意味するからです。

教育関係の経験の他では、グループでゲーム、ダンス、キャンプファイアーをしました。さよならパーティーではみんなでエイサーを学びました。難しかったですが、アメリカと沖縄でこのダンスを何度も観賞してきたので、実際にエイサーを学んで踊ることは、自分自身、沖縄のすばらしい文化に一步近づけたような気持ちになりました。

さよならパーティーは沢山の新しい友達、そして心から好きになった島との別れの日だったので、とても感情的になり、辛い思い出でした。このようなプログラムはこれからもずっと長く続いてほしいと思います。他の若い沖縄の子孫の人たちにも沖縄へ来て美し

い、楽しい、そして素敵な経験をしてほしいと思います。本当にすばらしい思い出ばかりです。いつかまた、JSTで経験したことを胸に近い将来、沖縄へ戻ってきたいです。

繰り返しますが、このような一生の思い出をあたえてくださり、ほんとうにありがとうございます。

Memories of My Junior Study Tour Program

My time in Okinawa this summer was an astounding experience that I greatly appreciate and will remember forever. I learned a great deal about my heritage and the history of the island where my mother and grandmother were born. Also, I was fortunate to meet many wonderful people from around the world and established friendships I shall maintain for a long time. When I returned to America, I felt I had acquired a better understanding of the culture and history of the island that comprises so much of my family history.

The opportunity to stay with my relatives for several days when I first arrived allowed me to reconnect and enjoy their company which I had not been able to do in quite some time. When I was two years old, my mother and I visited Okinawa and my great aunts and uncles. However, due to my young age, I have only a limited memory of the trip. Thus, the entire experience was almost completely new. My great uncles showed me incredible hospitality and unique aspects of the island that I would not have experienced otherwise. I went to Ikei-jima and other outer islands, enjoying the beautiful beaches and landscape. During my second day, we (one of my uncles and I) traveled to Katsuren Castle and I was deeply impressed by the stunning elevated views of the island and ocean. The overall structure was well preserved; simply being present at the location of so much history is one of the highlights of my journey. On a later date, my other uncle and I explored Zakimi Castle and the effect was the same. Also, we enjoyed fishing off of the pier, even without any success. The Ryuukyuu mura was an interesting experience as I got a glimpse of old Okinawan culture and lifestyle. Most of all, I reveled in the opportunity to spend time with my family.

During the remainder of my experience, I was with the other members of the JST. By meeting and interacting with students from around the world (Brazil, Peru, Bolivia, etc.) showed me how large the global Okinawan community is. Furthermore, during our welcome party, some of the participants performed dances or songs from their countries and enjoyed a bit of international education as well. The staff members of JST were all very kind and helpful. I do not know what I would have done without them. Because my Japanese

was somewhat limited, the translators were particularly beneficial. Also, the student leaders displayed exceptional friendliness and hospitality. Our accommodations were quite nice. I especially liked the Tanyuu Hotel which was upon the highest point in Okinawa. I recall being well-fed and pleased about the quality of our meals. I was able to try several different foods that were completely new to me such as Okinawa soba and daikon. In general, I was never in want of anything. I ate well, slept well, and I was never bored or sick. Anything that could have interfered with my enjoyment and understanding was completely absent from the experience.

The places the tour visited were almost too numerous to account for but a few are prominent in my memory. The sight of massive whale sharks gliding effortlessly through the tanks of Churaumi Aquarium was indeed very impressive. The Prefectural Museum and Peace Memorial granted me with a better understanding of the struggles and triumphs the Okinawan people have faced. Mr. Katsuo Nagata's account of his war experience was one of the most powerful events of the JST. The lucidity and honesty with which he recalled the tragedies of the Second World War reminded me of my own family's story. My grandfather himself fought in the Battle of Okinawa with the United States Marines.

There was one thing that was not very pleasing to me. I was somewhat disappointed with the Shuri Castle. The fact that it entirely rebuilt several times diminished the authenticity and historical relevance to a degree. Aside from all of the educational experiences, the group played games, danced, and held a bonfire (all in the same evening). For the sayonara party, everyone learned an eisa dance routine. Although it was difficult, I enjoyed learning and performing as I have seen such dances many times both in America and Okinawa. By participating in one made me feel much closer to Okinawa's rich culture.

The sayonara party was an emotional good-bye to the many new friends I made and to the island that I had grown to love so dearly. I feel that this program should continue for as long as possible. I would love to see other young people of Okinawan descent to come and experience the beauty, fun, and hospitality that surely await them. I have few complaints and innumerable praises. I plan to return to Okinawa in the near future and once again enjoy what I did on the Junior Study Tour.

Once again, thank you so much for giving me such an incredible lifelong experience.



ジェシカ ダニエル ブラック

BLACK JESSICA DANIELLE

16歳 3世

アメリカ合衆国

United States of America

フロリダ沖縄県人会（がじゅまる会）



ジュニアスタデーツアー 2009

私が沖縄を訪問する許可を与えて下さり感謝致します。私の沖縄滞在の経験はとても楽しく、次回の沖縄訪問が待てないほどです。

沖縄滞在はとても短い期間でしたが、その印象はいつまでも残るでしょう。このJSTに参加した全ての生徒たちが私同様にこのツアーをエンジョイしたと思います。

私は沖縄滞在中に沖縄の文化遺産を学びました。そして、新しい友人等も出来、また沖縄の家族と楽しく過ごすことが出来ました。

私は以前は沖縄の事を少ししか知りませんでした。今回は私の家族そしてJST参加者と共に沖縄の色々な場所へ行くことができました。特に印象に残ったのは「平和祈念資料館」です。私はそこで沖縄戦体験者の方の体験談そして沖縄戦でいかに生き延びたかの体験を聞くことができました。

私は「首里城」そして「中城城址」へも行きました。JSTは私たちを「沖縄水族館」へも連れて行ってくれました。そこでは色々な海の生物を見ることが出来ました。そして「イルカショー」も見ました。また私の沖縄の家族等と「オキナワ ワールド」へも行きました。私が行った色々な場所はとても興味深く、沖縄を更に知ることに役立ちました。

私達JST参加者たちは初日の出会いからお互いのことをすぐに知ることができました。私は参加者全員と一時間足らずで友達になることができました。

JSTで困ったことは私が日本語が話せないで皆とコミュニケーションが取れなかったことでした。でも数日後には皆それぞれお互いを理解することが出来ました。

生徒全員と知り合ってからたったの一週間しか経っていませんが、ベストフレンドになった感じがしました。私はアメリカに帰って来ても彼らの事が忘れられません。皆はそれぞれ違う国に住んでいてコンタクトをとるのは難しいと思いますが、それでも努力をしようと思います。

この旅で最高だったのは初めて沖縄の家族と出会えたことです。私は多くの従兄弟たち、叔父たち、叔母

たちと会いました。あんまり大勢で名前が覚えられないほどでした。

時間が足りなくて家族全員とは過ごせなかったのですが、それでも私は満足しています。

彼らは私を沖縄の遺跡などに連れて行き、そこで沖縄の伝統などを見せてくれました。また、私の沖縄の家族は沖縄の美味な食べ物を私のために料理してくれました。彼らのおかげで、まるで自分の家にいるようにくつろぐことができ、私はこのような素晴らしい家族を持っていることに非常に感謝しています。

このツアー全てが私の目を開かせてくれました。そして沖縄がいかに美しい島であるかも見せてくれました。私はこのツアーに参加する機会を与えられたことに感謝します。沖縄に滞在するということがどんなに素敵なことか分かったので、次に沖縄を訪れるのが待ちきれません。

JSTは私を大いに変えました。私は自分が受け継いだ遺産に誇りを持っています。そして沖縄系の生徒たち皆が私のようにチャンスが与えられるようにと願っています。このような経験は長年心に残るはずです。このJSTは沖縄系の青少年に沖縄の遺産、習慣、及び伝統を紹介するので、これからの沖縄の役にも立つ事と思います。

私は再び沖縄に帰る前に日本語を習得したいと思います。私のゴールは流暢な日本語を話すことです。私が沖縄で得たすべての友人そして私が会った沖縄の家族は私の心にいつまでも残る事でしょう。近い将来再び皆に会うことができることを願っています。

Junior Study Tour 2009

I would like to thank you for allowing me to visit Okinawa. My experience there was delightful and I cannot wait to go back. The time I spent there was very short, but the impact will last forever. I hope that every student who participates in the Okinawa Junior Studies Tour will enjoy his or her experience in Okinawa as much as I did. I have learned about my heritage and culture while being in Okinawa. I also met new friends and enjoyed spending time with my family.

I knew little about Okinawa compared to now. I went to

many places with my family and the Junior Studies Tour. My favorite was the Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum. While there I was able to listen to a real-life encounter during the Battle of Okinawa and of how one man survived it. I also went to Shurijo Castle and Nakagusuku Castle. For fun the Junior Studies Tour took us to the Aquarium, where we were able to see the sea creatures that live there and watch a dolphin show. I also got to go to Okinawa World with my family. The places I went were exciting and help me understand to Okinawa more.

On the first day when all the Junior Studies Tour students got together everyone knew each other instantly. I was friends with everyone within the hour. The hardest part of the trip was trying to communicate with everyone because I did not know Japanese. But after a few days we were all able to understand each other. I felt like I was a best friend with each of the students, even though I had only known them for one week. I miss them now that I am home. With everyone living in different countries it is hard for us to keep in contact, but we still try.

The best part of this trip was seeing my family for the first time. I met so many cousin, uncles, and aunts that I cannot remember everyone's name. Even though I wasn't able to spend a lot of time with all of them, we made the best of it. They took me to historic places as well as showed me many traditions. Another good part was all the delicious Okinawa foods they made. They made me feel at home and I am very grateful to have such a wonderful family.

This whole trip has opened my eyes and shown me how beautiful Okinawa is. I am so thankful to have been given the opportunity to go. Now that I know what it is like living and experiencing Okinawa, I cannot wait to go back.

The Okinawa Junior Study Tour as changed me a great deal. I am so proud of my heritage and hope that every Okinawan student will have the opportunity as I did. The experience should continue for years to come. This tour will benefit Okinawa by introducing its young adults to their original heritage, customs, and traditions.

But before I go back, I want to be sure I know what everyone is saying. My goal is to speak fluent Japanese. All the friends I have made and the family I have met will always be in my heart. I hope I am able to see everyone again in the near future.



親川 愛

AI OYAKAWA

16歳 3世

カナダ Canada

トロント球陽会



オキナワジュニアスタディーツアー 2009

「沖縄は私たちの故郷だから、いつかまた帰ってきて『ただいま』を言えるように、『さよなら』ではなく『行って参ります』のあいさつをします。」

沖縄は今や、私の愛すべき場所、慣れ親しんだ場所、そして故郷と呼べる場所。

沖縄への旅でできた思い出は、すべて忘れがたいものです。ていんさぐぬの花が爪先を染めるように、私の心も沖縄での思い出に染まりました。

沖縄の素晴らしい文化を受け入れることができたので、今、私は沖縄の人間です、と誇りを持って宣言します。

沖縄の美しい自然は息をのむほどです。驚くべき生物であふれる広大な海、はるかに続く緑の木々と、素敵な虫や動物の住む森。これらを写真では見たことはあったのですが、自分の目で見る沖縄の美しさとは比較にもなりません。実際に自分で見るということは、何にも代えがたい経験です。沖縄の芸術も、とても特別で魅力的でした。首里城の伝統的な造りは洗練されていて、平和祈念資料館もまた独特で近代的な建築だと思いました。そして沖縄の音楽の響きも、そのユニークさと美しさで大好きになり、三線の音を聞く度に沖縄に戻りたくてたまらなくなります。

沖縄での滞在中、すばらしい学びの機会にもたくさん恵まれました。戦争の直接の体験談を聞く機会がありとても胸が締め付けられる思いでしたが、平和の大切さと戦争の悲惨さを本当の意味で理解するのに役立ちました。そしてまた、他の国の文化や沖縄の人々がどのように様々な国へ移住していったかということについても学びました。さらに、三線やエイサーまで習うことができました！市場の探索もとても興味深く面白くてユニークな経験になり、とてもよかったです！そして、ブルーシールのシークワサーアイスクリームも本当においしかったです。

沖縄料理も私が大好きなもののひとつで、とても懐かしく思っています。沖縄そば、ゴーやーちゃんぶるー、紅イモ、ちんすこう、アグー、寿司、さしみ、牛の腸のスープ（記者注：おそらく中味汁の意）、ナマコ、など数えあげたらきりがありません。一番楽し

かったのは、ホテルタニューでの盛大なバーベキューとその後のキャンプファイヤーです。

キャンプファイヤーの夜は、参加者がはじめて一つのグループとしてまとまった時なので、忘れられないものになりました。その前まではみんなばらばらに固まっていたのですが、キャンプファイヤーを経て私たちはみんな家族のように仲良しになりました。沖縄の歌と一緒に手をつないで歌って、みんなの故郷である沖縄の地でひとつになることができたので、本当にみんなと家族になったような気分になりました。私たちのテーマソングともいえる「島んちゅぬ宝」を歌う度に、沖縄にまた戻れたらとすこし泣いたりすることもあります。みんなが名前を書いてくれたジュニアスタディーツアーのTシャツも宝物として一生大切に、沖縄への旅で培った友情の絆を忘れないようにします。

ジュニアスタディーツアーに参加し、私の沖縄の親族と初めて対面することもできました。それまで顔を合わせたことはなかったけれど、すぐに家族愛を感じることができ、まるで私が生まれてからこれまでずっと知っていたような気持ちになりました。この沖縄の家族が県内のいろいろなところを案内してくれて私の母が育った場所をみせてくれるうちに、私はみんなが大好きになり、一緒に過ごした時間はかけがえのないものになりました。私が何よりも懐かしく思うものは、人々の温かい心だということは確かなことです。一生懸命勉強して、またすぐに沖縄に戻って来たいと思っています。私に与えられたこの機会に感謝の気持ちでいっぱいです。このジュニアスタディーツアーがなければ、学生の間に沖縄を訪れて、私の故郷がどれほど素晴らしい場所かを知ることがなかったでしょう。

いつかかならずこの素敵な場所に戻って“ただいま”を言えることを信じ、沖縄でのすべての思い出を大事に抱きます。

このすばらしい機会を与えて下さり、感謝いたします。ありがとうございました！

Okinawa Junior Study Tour 2009

"Okinawa is our home, so we are not saying 'goodbye', but rather 'Itte mairimasu', and so someday we will come back

to Okinawa and say 'tadaima' "

Okinawa is now a place I love, a place I have become attached to; a place I call home. The memories that were created on my journey to Okinawa are all unforgettable... and just as you paint your fingernails with the dye of the Tinsagu flower, the memories I made of Okinawa are painted onto my heart.

I was able to embrace the amazing culture of Okinawa, so I can proudly say that I am Okinawan. Seeing Okinawa's beautiful nature was breathtaking; the vast ocean filled with extraordinary creatures, as well as the forests filled with fascinating bugs and animals, along with endless hills of green trees. I only saw pictures before, but the pictures do not even compare to the beauty that Okinawa holds. Seeing everything first hand was definitely an experience that is incomparable. The art of Okinawa was so different and attractive; The Shuri-jo Castle had such fine traditional architecture, and the Okinawa Prefectural War Museum also had fascinating architecture that was unique and modern. The sound of Okinawan music was also a sound that I loved as it was so unique and beautiful... every time I hear the shamisen, my heart yearns to return to Okinawa.

There were so many great learning experiences that were made while I was in Okinawa. The opportunity to listen to first-hand war experiences was very touching, and helped me to really understand the importance of peace, as well as the tragic effects of war. I was also able to learn about the other countries' cultures, and how the people of Okinawa immigrated to the different countries as well. Furthermore, I was able to learn how to play the shamisen, as well as how to dance eisa! Walking around the marketplace was also very fascinating and exciting, it was such a different experience, I loved it! I also loved going to Blue Seal and trying the Shiquasa ice cream.

The taste of Okinawa was something I fell in love with and miss very much. I loved the Okinawa soba, as well as the Go-ya chanpuru- , Beni Imo , Chinsuko, Agu-, Sushi, Sashimi, Ushi no cho soup, Namako, and so much more! One of my favourite days was probably when we had the big barbeque at Hotel Tanew, and had the Camp Fire afterwards.

The night of the campfire is a night I will never forget, because I remember it was the night when all the students came together as one whole group. Before that, we were all in little cliques, but now we are all friends and one big family. Singing the Okinawan songs together as we were all holding hands really made us feel like family, as all of us were united in our homeland of Okinawa. Every time I listen to our song, "Shimanchu nu Takara", I cry a little wishing I was back in Okinawa. And I will forever cherish my Junior Study T-shirt that everyone signed, so I will never forget the bond of

friendship that was created on my journey to Okinawa.

The Junior Study Tour gave me the opportunity to meet my family from Okinawa for the first time. Although I've never met them before, I immediately felt their love and felt as though I've known them my entire life. I became very attached to them and enjoyed every minute that I spent with them as they took me around Okinawa and showed me where my mother grew up. I know for a fact that the thing I am going to miss the most from Okinawa, would be the warmth of everyone's heart. I want to work really hard so I can go back someday soon. I am so thankful for this opportunity that was given to me; if it weren't for the Junior Study Tour, I would not have been able to go to Okinawa during my high school years, and I would not have realized just how amazing my homeland is.

I will hold onto all of my memories from Okinawa, knowing that someday I will return to the wonderful place, and say "I'm home"



レカイーユ ユキ アンドレア

LECAILLE YUKI ANDREA

18歳 4世

ニューカレドニア Nouvelle-Calédonie

ニューカレドニア沖縄日系人会



ジュニアスタデーツアー 2009

皆さん、こんにちは。このたびの日本への旅行は、とてもよい経験でした。というのは私は旅行するのが初めてだったからです。飛行時間があまりに長くて、到着するのが本当に待ち遠しかったです。

まず最初に、沖縄での滞在中、私に付き添ってくれたすべての人に、沖縄県の関係者を始め、三木さんやミゲールさん、タカさん、友視さん、私を受け入れてくれたホームステイの家庭の皆さんに感謝しています。どんなふうにみなさんが私をもてなしてくれたか、決して忘れないでしょう。

私はこの研修が大好きになりました。この研修のすばらしい思い出を大切にします。たとえば水族館を訪れた日の思い出・・・私はニューカレドニアの水族館にまだ行ったことがないので、比較することができないけれど、巨大な魚やエビ、カニはすごかったです。

それと、研修中に最も興味深かったのは、博物館へ行ったことです。沖縄の歴史にこれほど関心をもつとは思ってもみませんでした。私はもっと沖縄の歴史を知るべきだと研修で学びました。

ホテルタニュー（宿泊先）と比地大滝の距離にも驚きました。遠かったけれど、見事な滝を見たり、ニューカレドニアと野生の植物が似ているとわかって価値がありました。

あなたの国で、たくさんのことに驚きました。例えば朝食、私があれば食べるのは初めてのことです。それととても難しくて、箸で食事できなかったことを謝りたいと思います。

研修期間中に、私はたった一人のフランス人であったにもかかわらず、友視さんや満理奈さんという新しい親友が助けてくれて、多くの友だちができました。そしてジュニアスタデーツアーの参加者全員に感謝しています。まったく日本語がわからない私がみんなに溶け込めるようにしてくれました。

沖縄でもう一つ大好きになったのが、音楽とダンスです。とても楽しかった。

キャンプ・ファイヤーはみんなと過ごしたステキな時間でした。私はお世話になったみなさんやJSTの参加者とこれからも連絡を取り合っていけたらと思って

いますが、そのために日本語の授業をとるつもりです。上手にコミュニケーションをとるためにはとても重要です。みなさんとお知り合いになれたことを本当にうれしく思います。それはみなさんが温かく歓迎してくれたおかげです。

この旅行は忘れることのないもっともすばらしい思い出です。みなさんは私の新しい家族です。私は決してみなさんを忘れないでしょう。

私はみなさんがいつかニューカレドニアへ来てくださったらと思います。それか日本で2011年のうちななちゅ大会のときに、お会いできたらと思います。

最後にこの旅行を企画・運営したすべての人にお礼を言いたいです。決してみなさんのことを忘れません、心から感謝しています。

それではまた。

Junior Study Tour 2009

Bonjour à tous.

Je voudrais vous faire savoir que mon voyage au Japon a été une très bonne expérience pour moi car c'est la première fois que je voyage. Dans l'avion c'était trop long, j'avais vraiment hâte d'arriver.

Tout d'abord, je voudrais remercier toutes les personnes qui m'ont accompagnées pendant ce séjour à Okinawa tel que Monsieur Miki, Miguel, Taka, Tomomi, mes familles d'accueil ainsi que la Préfecture d'Okinawa. Je n'oublierai jamais comment ces personnes m'ont accueillie.

Ce stage je l'ai trop adoré, j'en garderai de très bons souvenirs tel que les jours où l'on est parti visiter l'aquarium. C'est trop magnifique avec ses énormes poissons et crustacés. Je ne peux pas faire de comparaison avec l'aquarium de la Nouvelle-Calédonie car je ne l'ai jamais visité.

Ensuite, ce qui m'a le plus intéressé pendant ce stage c'est la visite au musée. Je ne pensais pas que j'allais être aussi attirée par l'histoire d'Okinawa. Cette période de stage m'a appris à mieux me connaître.

J'ai été vraiment surprise de la distance qu'il y avait entre l'Hôtel Tanyuu et la cascade, c'est très loin mais cela valait le coût pour voir une magnifique cascade et voir la ressemblance

des plantes sauvages avec celle de mon pays.

Dans votre pays beaucoup de chose m'ont surpris comme par exemple le petit déjeuner. C'est la première fois de ma vie que je mange autant... Je voudrais aussi m'excuser car je n'ai pas réussi à manger avec les baguettes car c'est très dur.

Pendant cette période de stage, je me suis fait beaucoup d'ami(e)s même si j'étais la seule française. Mais j'avais l'aide de Tomomi et de ma nouvelle meilleure amie Marina. Je voudrais remercier tous les participants du Junior Study Tour 2009 qui ont tout fait pour que je m'intègre parmi eux même si je ne comprenais pas du tout le japonais.

Il y a aussi deux autres choses que j'adore à Okinawa, ce sont la musique et la danse. C'est vraiment beau.

Le feu de camp a été un moment trop formidable parmi vous. J'espère continuer à communiquer avec vous ainsi qu'avec tous les participants mais pour cela je vais suivre des cours de japonais car c'est très important pour une bonne communication.

J'ai été très heureuse d'avoir fait votre connaissance car vous êtes des personnes aux bras ouverts.

Ce voyage est mon plus beau souvenir: inoubliable! Vous êtes ma nouvelle famille et je ne vous oublierai jamais.

J'espère de tout mon cœur vous revoir un jour, sois en Nouvelle-Calédonie où vous serez les bienvenue ou au Japon peut-être en 2011 pour le festival d'Okinawa.

Pour terminer, je voudrais remercier toutes les personnes qui ont organisé ce voyage. Je ne vous oublierai jamais, je vous aime de tous mon cœur.

A bientôt. Bisou. Yuki

山城 金太郎

KINTARO YAMASHIRO

伊江中学校三年



JSTに参加して

今年の夏、たった一週間という短い期間でしたが、JSTで最高の体験をすることが出来ました。

僕がこのJST（ジュニアスタディツアー）に参加した理由は、自分の英語力の向上の為と、他の国の文化について学び、日本以外にももっと友達をつくりたかったからです。

ジュニアスタディツアーの初日、いろんな国の人達とうまくコミュニケーションがとれるか不安な気持ちが多い中、オリエンテーションが始まりました。オリエンテーションが終わったあとちょっとしたフリータイムがあり、積極的に話しかけていきました。

二日目、名護へ行き、かいき日食を見ることが出来ました。

その日は、美ら海見学や、海水浴などをして、沖縄の海について改めて知ることが出来ました。又、ホテルは、五人部屋で、同じ部屋の人たちとたくさん話せて友達になることも出来ました。

三日目は、ひじ川でトレッキングをしました。沢山歩いて疲れましたが、滝を見た後にみんなで弁当を食べた後は、ちょっとの自由時間があり水きりや、県外参加者達とお玉じゃくしを捕まえたりして遊びました。

夜には、キャンプファイヤーがありました。初めての体験でとても新鮮でした。ゲームをして盛り上がった後にキャンプファイヤーで更に盛り上がりダンスの時は、最高潮に達していました。その時にはみんな、国境が感じられないくらい心が通じあっていました。

四日目の夜はホテルのロビーでユキやマリナさんにフランス語をいろいろ教えてもらいました。僕は、このスタディツアーで、何か一つの言葉を覚えたかったのでとてもタメになりました。

五日目はまず平和学習をしました。平和学習を通して改めて沖縄戦の悲しさや、平和の尊さを知ることが出来、こういう国際交流を通して、世界の人達にも伝えられたらいいなと思いました。

六日目、この日は七月二十六日で僕の誕生日でした。午前零時になってドアを開けるとみんながおめでとうと言ってくれました。このときは本当に嬉しかったです。その後、大部屋でいろんな事をさせられてとっても恥ずかしかったです。でも、この日のことは、一生忘れない最高の思い出になりました。誕生日ケーキもおいしかったです！！

七日目、とうとうみんなとお別れの日が来てしまいました。

フェアウェルパーティーでは、それぞれの出し物があり、伊江島の踊りもうまく出来てよかったです。みんなで一生涯懸命練習したエイサーもみんな伸び伸びと踊っていて、うまく踊れていたと思います。

エイサーダンスと終わりフェアウェルパーティーも終わりが近づいてきました。一週間の思い出してみると、本当に楽しく、タメになる事ばかりで、最高でずーっと続けばいいのにと考えていました。

でも現実はどうもいかず、フェアウェルパーティーが終わり、次の日、みんなそれぞれの国へ帰って行きました。

でも、このJSTに参加した九期生三十六名は家族でいつまでも繋がっているので、いつか又会えると信じています！！

最後にこのJSTに参加する機会をくれた方々、先生や両親、エイサーの指導や面倒を見てくれたスタッフの方々やボランティアの方々、そして、九期生という最高のメンバーに出会えた事に感謝し、これからの将来にしっかり生かしたいです。

ありがとうございました。

小那覇 祐希

YUKI ONAHA

古蔵中学校一年



ジュニアスタディツアーの感想

私はジュニアスタディツアー2009に参加しました。

応募した理由は、お母さんが「これ、いいんじゃない？」と聞かれ、その内容を見てみると、沖縄県系の人たちとの交流と書かれており、親戚の人もペルーに住んでいるのでいいなあとと思い、応募しました。

そして、学校で合格をしられた時は、「やった！！こんなすごいことが体験できるんだ！！」と思い、がんばっていったと思います。

しかし、最初のオリエンテーションにいくと、みんな年上ばかりでとっても気まずかったけど、1人だけ同じ年の新里陽菜子ちゃんがいて、ちょっとはずかしかったけど思い切ってはなしかけると、普通に仲良くなっていき、今では携帯で連絡をとりあう仲です。

オリエンテーションで次の日のリハーサルなどをして終わりました。

次の日には、海外参加者との顔合わせで、最初にしゃべったのが君子でした。

私は、英語は少ししか話ができないけど、頑張って一生懸命話しました。

君子としゃべった後に説明会があり、次にウェルカムパーティーがありました。

ウェルカムパーティーでは、出し物などを見ました。

その時に、ニューカレドニアのユキの通訳さんが、「同じ名前だね♪」とフランス語で訳してくれて、握手をしました。その時になんか親近感がわきました。

こうして1日目が終わりました。

2日目は副知事表彰式典と一番楽しみにしていた美ら海水族館とエメラルドビーチでした。

副知事表彰では安里カツ子副知事のあいさつと、君子のあいさつと記念撮影がありました。

美ら海水族館では、ジンベイザメやマンタを見て興奮している海外参加者が多かったのがおもしろかったです。

あと、エメラルドビーチでは少しさむかったけどみんなで楽しく泳ぐことができて楽しかったです。

泳ぎ終わると、バスでホテルタニューに向かいました。

タニューの部屋が、とても本当にあった怖い話にできそうな部屋でちょっと怖かったです。

3日目は、比地大滝でのトレッキングでしたが、理由があって行けませんでした。

その時にローソンでおおたさんにキャラメルマキアートをおごってもらいました。そして、なつきさんとおおたさんといっしょにフクギ並木を見に行きました。

いかにも、トトロが出て来そうでした。

並木を見た後に、ホテルにもどり休憩しました。休憩が終わったあと、1回目のエイサー講習がありました。前にななえさんが「イケメンの先生がくるよー。」とっていて、とても期待していたけど、出てきたのはとしさんでびっくりしました。この日のエイサー練習は、エイサーの基本的動作などを習いました。

終わったあとは、BBQでした。みんな食べるスピードが速すぎてあまり食べられませんでした。

食事が終わったら、念願のキャンプファイヤーでした。キャンプファイヤーでは、小麦粉の中にあめ玉が入っていて、それを食べるというゲームが一番おもしろかったです。みんなおぼけみtainな顔になっていました。

次にダンスや歌などがあり、「夏休み中全部ジュニアスタディツアーでいいかも。」と思ったぐらいです。

キャンプファイヤーが終わると、各自の部屋で寝るはずが、男子禁制のやばいガールズトーク女子話があったり、怖い話をしたりなど、とても楽しい夜でした。

4日目は、歴史学習と文化学習でした。

私は沖縄生まれ、沖縄育ちにもかかわらず、首里城や金城町の石畳を見たことがありませんでした。けど、見れてよかったです。思ったことがなんであんなに首里城はまっ赤なのかなあとと思いました。文化学習では博物館見学でした。博物館できおみが原始人に向かって「アイラブユー??」とっていて、おもしろかったです。次に伝統工芸品などを作りました。けっこう上手にできたつもりでした。

5日目は、平和学習をマチグワァー散策でした。この日は、実は私の所属しているすいそう学部のコンクールがあって、それに私とひなは出る予定だったけど、出れなかったコンクールだったので、その日は2人でソワソワしていました。

平和学習では、資料館見学や平和の礎を見ました。

次にひめゆりの塔を見学しました。ひめゆり学徒隊の人たちは私たちぐらいの人たちが沖縄戦で亡くなっているのを聞いて、現代に生まれてよかったと思いました。

午後は、マチグワァー散策でした。

散策では、私たちの知らない国際通りの歴史などをおしえてもらい、オーパの下のクィックリーをのみました。それで、エイサー練習のときにひなの学校と私の学校のコンクールの結果がメールで来て両方とも銀賞でした。とてもうれしかったです。

6日目は移民ワークショップでした。

海外参加者の祖先は沖縄人なので、なんかふしぎと親近感が最初から感じていたので、やっぱり沖縄人入ってるなあって思っていました。ワークショップでは、自分のアイデンティティーはどんなかんじ？みたいなのをやりました。

ワークショップが終わって最後のエイサー講習がありました。

講習が終わって家に帰りました。

そしてお母さんやお父さんに思い出話をいっぱいしました。

7日目は、学習成果発表とさよならパーティーでした。

学習成果発表では、スピーチしたり、修了書をもらったりしました。

さよならパーティーでは、エイサーの発表したり出し物をしたりしました。

最後に島人ぬ宝をうたった時に小学校の卒業式でもなかったのに、さよならパーティーでは大泣きしました。

海外参加者とは、もう会えないんだなあって、とても悲しくなって泣いてしまいました。

そして、Tシャツにらくがき(?)をしてもらって帰りました。

このスタディツアーの思い出は作文に書ききれないぐらいあります。

でも、それぐらい楽しかったんで、いい体験ができました。

このきかくをしてくれた人たちにとっても感謝しています。

ありがとうございました。

神里 阿侑香

AYUKA KAMIZATO

南西中学校三年



JSTに参加して

私がこのジュニアスタディツアーに参加したきっかけは、担任の先生から勧められたからです。でも、初めて

聞くツアーで不安もありましたが、興味がわいてきたので応募しました。

日が近づくにつれ、不安が大きくなっていくなか、そのままオリエンテーションを迎えました。緊張しながら参加したけど、周りの人たちから声をかけられて安心することができました。

ツアー初日、いろいろな国の人と交流が出来て、その国の文化や言葉などを紹介してもらい、知ることができました。ウェルカムパーティーでは、ダンスや歌、トランペット、三線など自分の特技を出して、盛り上がる事が出来ました。

ツアー二日目、三日目は沖縄の北部に行きました。私は、久しぶりの北部で海は今年初めて入り、山は階段が多いながらも、みんなのお喋りや笑顔に元気づけられ登ることができました。北部では、バーベキューとキャンプファイヤーが一番楽しかったです。バーベキューでは、肉を焼きながら高校について話したり、とうもろこしの焼き具合がわからなくて困ったり、何か刺されて足などから血が出ていたことには、ビックリしました。キャンプファイヤーは、ゲームとダンスがとっても盛り上がって一瞬にして、みんなが打ち解けあえたような気がしました。

ツアー四日目から六日目までは、沖縄の文化や歴史を学びました。初めて体験した琉球漆器は、あまり上手には作れなかったけど家族へのお土産にすることができて嬉しかったです。他にも戦争体験談を聞いたり、移民についての講話を聞いたり、マチグワァー散策で国際通りについての説明を受けたりして学んだことがいっぱいありました。

ツアー最終日、学習成果発表会とさよならパーティーがありました。一分間スピーチを聞いて、一週間のみんなの気持ちが伝わりました。さよならパーティーでは、ツアー三日目から練習してきたエイサーを皆で踊ることができました。間違えたけど一生懸命踊ったことは、成功に繋がったと思います。

このジュニアスタディツアーに参加して、忘れることのない一生の思い出を作ることが出来ました。また、ツアーで学んだことをこれからの生活面や勉強面にも活かしていきたいです。

これから、パソコンや携帯のメールで、情報交換や友情などを深めていきたいです。私達は良いボランティアの先輩方に恵まれて、とても楽しかったし、良かったので私も今後、積極的にボランティアに参加して、みんなと交流を続けたいです。

最後にお世話になったスタッフ、ボランティア、県内外参加者のみなさん。本当にありがとうございました。

仲村 デーニー

DANNY NAKAMURA

名護中学校二年



ジュニアスタディツアーに参加して

僕は、初対面の人と会話がとても苦手な性格です。だから、この交流会に参加したとき、何を話せばいいかわからないし、相手が何が好きなのかわからないので、とても緊張しました。ツアーの初日、参加者がたくさんいる中でとても恥ずかしくなり、「帰りたいな」と、思いましたが、このツアーで自分を変えたいと思い、頑張ってみました。

ウェルカムパーティーでは、ディエゴさんとキオミさんのダンスがとても素敵で、みんなが見とれていました。僕もすごいなあと思いました。

次の日は、北部に移動し、ビーチに行きました。男子は海でじゃれたり、女子はビーチバレーをして、それぞれ楽しみました。このとき、みんなの距離が少し縮まったような気がしました。夜は広い部屋で、駿さんたちの怖い話を聞いてとても楽しかったです。

3日目は、比地大滝へいきました。遊歩道では、セミやカエルなど、いろいろな虫たちがいて興奮しました。滝がとてもきれいで、写真をいっぱい撮りました。その日の夜は、キャンプファイヤーを僕は初めてやりました。アームレスリングは僕たちAグループは惜しくも男女ともに2位になりましたが、とてもうれしかったです。ダンスのときは腕が痛くて、あまり踊れませんでした。よい経験になりました。

4日目は南部に戻り、首里城に行きました。昔の沖縄のことを知り、勉強になりました。お昼はフードコロシアムに行き、たくさん食べました。僕は、ポテトとサラダ、そしてチャーハンを一皿ずつ食べました。とてもおいしかったです。午後は県立博物館に行き、いろいろな歴史の展示物を見ました。どれもこれも目新しく釘付けになりました。金ちゃんは、昔の着物を着て、とても似合っていました。

5日目は、平和学習で平和の礎やひめゆりの塔などに行きました。礎では僕の祖母の知り合いの方の名前を見つけました。なんだか複雑な気持ちでした。このとき、何で戦争は起きているのだろうと不思議に思いました。この平和な今、二度と戦争を起こさないようにしたいと誓いました。

6日目は、沖縄の歴史を勉強しました。お姉さんたちからいろいろなことを聞いて、勉強になりました。とてもありがたかったです。

最終日はテンプス館でさよならパーティーをしました。あの時はとてもさびしく、とても悲しかったのですが、なぜか泣けませんでした。おそらく、また会えるような気がしたからです。

ツアーに参加した皆さん、短い間でしたが、とても楽しかったです。ありがとうございました。最初はあまり人と関わるのが苦手でしたが、この交流ではみんなのことをいろいろ知ることができ、とてもよかったと思います。やっぱり、交流をすることは大切なんだと思いました。僕はこの短い時間で、成長できたのでしょうか。でもこの貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。この交流をきっかけに、これからも今以上に積極的にいろんな交流会に参加していきたいです。ツアーを企画して下さった、沖縄県観光商工部交流推進課の担当の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

新里 陽菜子

HINAKO SHINZATO

伊波中学校一年



Junior study tour 2009

私は、このジュニアスタディーツアーに参加して忘れる事のできないたくさんの思い出ができました、改めて沖

縄の文化・歴史を学ぶ事ができました。私がこのツアーに参加した動機は、夏休みの時間を使って何か思い出に残るもの、貴重な体験をしたかったからです。最初のオリエンテーションの時は、やっぱりみんな年上で簡単には話しかけられませんでした。ウェルカムパーティーの時もとまどってばかりでした。でも、みんな優しく、面白くて、よく話しかけてくれました。最初の県庁での歓迎セレモニーでは、これからの時間を大切に、このツアーを思いっきり楽しもうという気持ちになりました。副知事にも会えて良かったです。

海洋博公園には何度も行ったことあるけど、イルカショーを見るのは初めてだったので良かったと思います。

自然学習の海水浴では、海の中でナマコに遭遇したり、みんなで騒いで楽しかったです。夜はみんなで喋ったりして遊びました。夜更かしには慣れていなかったけど、朝はちゃんと起きれたし、楽しくて疲れは感じませんでした。トレッキングでは森の中を歩いてとても気持ち良かったです。でも、正直きつかったです・・・。

私が一番思い出に残っていることは、やっぱりキャンプファイヤーです。あの時間で一気に絆が深まったと思います。卒業生が考えてくれたゲームも楽しくて、みんなで歌ったり、踊ったりしてとても楽しめました。

首里城見学では、改めて沖縄の歴史を勉強できてよかったと思います。県外参加者も琉球漆器を作ったり、三線を習ったりしてとても楽しそうでした。いい思い出になったと思います。

エイサー講習では有名な琉球祭り太鼓のトシさんに直接指導してもらって感激でした。お互い教え合いながら楽しく覚えられました。

少し難しかったけど、みんなと一緒に頑張る事ができました。

平和祈念資料館見学では、体験者の話の一言一言が胸に染みて、人の命の尊さを感じました。

マチグワー散策では、那覇に行っても普段歩かない所に行けて、町並みも昔のままでおもしろかったです。

ワークショップでは、初めて移民の話を聞きました。今回のツアーの目的が世界のウチナーンチュとの交流を通して、絆を深めることだったので、初めて移民をした沖縄県人の話は興味深かったです。

これからも移民について勉強して、語学も勉強して次の「世界のウチナーンチュ大会」ではボランティアとして参加したいと思っています。

さよならパーティーでは余興に参加して、とても緊張しながら弾きました。でも、初めて誰かのために弾きたいと思いました。終わった後、「感動したよ！」って言われた時は嬉しかったです。パーティーでの、余興やエイサー・ダンスは全員の心が一つになり最高のフィナーレでした。

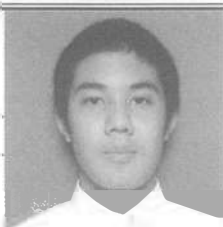
このツアーに参加して、世界のウチナーンチュとの交流を私の将来に役立てたいと強く思いました。来年も絶対に卒業生として参加します！！

最後にこのツアーでお世話になった、伊地さん、太田さん、勝連さん、池原さんやボランティアの皆さんに感謝します！！

眞榮城 駿

SHUN MAESHIRO

真和志高等学校三年



「JSTに参加して」

今だから言えることですが、私は正直このジュニアスタディツアーに参加したくはありませんでした。何故かというと、楽しみにしていた夏休みの最初の一週間がなくなるし、言葉が通じない為に気まずくなると思ったからです。それでも強く薦められ仕方なく参加したのです。とても反感をかうようですが、参加する前の素直な気持ちです。

海外参加者との初顔合わせの時はとても緊張していました。でも、県内参加者は前日に会っているのもまだ良かったと思いますが、海外参加者は初めてのメンバーだったのもっと緊張したと思います。それでもマナブやケイが気軽に声をかけてくれたことですぐに仲良くなることが出来ました。また、伊地さんやボランティアの方々が話をするタイミングを作ってくれたことも仲良くなれた要因だと思います。そのときに、このメンバーと一週間一緒にいられるのかと思うと、ワクワクしてその日のよりは眠れませんでした。

自然学習で海に行った時はビーチサッカーで盛り上がりました。ただ、遊び感覚でやるのかなと思いました。マナブやケイ、エドアルドの本気のプレーに圧倒されました。その他にも比地大滝のトレッキングや歴史学習、ホテルの部屋で全員集まって怖い話をしたことも本当に楽しかったですが、私が一番楽しかったのはキャンプファイヤーでした。皆で歌ったり踊ったり伊地さんの悪ノリで一発ギャグをしたりで最高でした。また、皆が肩を組んで一つの輪になった時、九期生が始めて一つになれた気がしてうれしくて感動したのを鮮明に覚えています。

サヨナラパーティーの時は複雑な気持ちでした。楽しいはずだけど最終日だからです。一人一人のスピーチを聞きながら余裕をこいていましたが、いざ自分の番になるとやっぱり我慢が出来ませんでした。

いつしか参加する前の気持ちは無くなっていて、まだ終わらないで欲しいという気持ちになっていました。もう終わってしまいましたが、一つ一つが最高の思い出です。また、この絆が途切れぬようメールを続け、2011年のウチナンチュ大会に九期生全員で集まって遊びに行きたいです。

本当にスタッフやボランティアの方々に感謝の言葉しかありません。そして、九期のメンバーには最高の思い出をもらいました。本当にありがとうございました。

新崎 仁雄

JINYU ARASAKI

沖縄尚学高等学校二年



ジュニアスタディーツアー

ジュニアスタディーツアーでの一週間は、私に大きな変化を与えてくれました。初日のオリエンテーションで

初めて沖縄参加者と顔を合わせたときは、一週間間という短い期間とはいえ、みんなとうまくやっていけるか不安に思うと同時に、世界中のウチナーンチュと仲良くなれるという期待を抱いていました。

そして2日目、海外参加者とも合流し、初めのうちは沖縄からの参加者も緊張しているせいか落ち着かない様子で、私も含めなかなか海外からの参加者とのコミュニケーションが難しいように思えました。しかしそこはやはりみんなウチナーンチュの血が流れているだけあって、その時を境に、ついさっき仲良くなったとは思えないほど仲良くなりました。使う言葉さえ違いますが、すぐに誰とでもうち解けてしまうその光景を目の当たりにした私は、とても感動させられたのと同時に、ウチナーの人々の素晴らしさを身をもって体感させられました。

翌日からは本格的にプログラムが開始し、平和学習や文化学習、講演などを通して沖縄のことを学びましたが、私は平和記念公園やひめゆりの塔、首里城もこれまでに何度も足を運んでおり、正直なところまたか、と思って参加しました。しかし実際参加すると、それまでは気づかなかったことや知らなかったこと、海外のウチナーンチュと一緒にいてこそ学べた新しい発見がたくさんありました。そこで私は、自分が沖縄のことを実は全然知らなくて、知った気でいた自分が恥ずかしくなりました。そしてさらに、大好きな沖縄に対する気持ちがさらに強まり、もっと知りたいという意欲が湧きました。

それからの私のプログラムに対する気持ちは、本当に特別なものがありました。海外参加者と話す時間をなるべく多くして、外から見る沖縄はどうか、沖縄に対しどう思っているのか、思いつくことはすべて質問していました。そして私たちに残された時間が本当に惜しくて、もう終わってしまう、と悲しくなり、それは周りの全ての参加者に共通していたように思います。

楽しすぎる時間はあっという間に過ぎていって、気づけば最終日、修了式の席にいました。その日はみんなが一日中、もう終わっちゃうだとか、嫌だ、だとか言っていたのを覚えています。でもその頃私は、終わってしまうとかいうよりも、これからの私たちすべての参加者に残された、世界のウチナーンチュの輪を広げる、という一番大きな役目を目標に、頑張ろう、という気持ちでいっぱいでした。海外参加者でさえ会うのはこれが最後のわけがなく、私の心はとてもスッキリしていました。

このプログラムを通して私が学んだのは、平和や文化はもちろんのこと、沖縄の素晴らしさ、人々の温かさ、沖縄が抱える様々な問題、私が今まで知っていたつもりで、実は知らなかったものばかりでした。このプログラムに参加するにあたって、中心になって指揮をとって頂いた勝連さんをはじめとする大田さんや伊地さん、そして昨年の参加者で今回は私たちを楽しませるためにボランティアとして本当に様々な場面でお世話になった先輩方、このプログラムに関わった全ての人々に心から感謝しています。

これからは今回参加した海外のウチナーンチュだけでなく、なるべく多くの繋がりを増やそうと思います。インターネットやテレビ電話、方法はいくらでもあるので、互いに現状を伝え合い、もっともっと絆を深めようと思います。私の目標は、これから沖縄のことをもっと知り、それを世界に発信し、世界中の人々にこの素晴らしい沖縄のことを知ってもらい、友達になることです。

この目標を見つけたことが私の一番の変化です。JST2009に関わった全ての方へ、素晴らしい一週間を本当にありがとうございました。

花澤 千裕

CHIHIRO HANAZAWA

伊良部高等学校三年



ジュニアスタディーツアーで得た物

私がこのジュニアスタディーツアーに参加したのは、沖縄が大好きだったから自分の住む県沖縄についてもっとよく知りたいと思ったのと、海外からの参加者もいるということなので海外の子と英語を使ってコミュニケーションをすることで自分の英語が通じるのか試してみたかったからです。実際にこのツアーに参加して私は思っていた以上のかけがえのない体験をし、沖縄への理解が深まったと共にまた今後の進路を考える上で重要なきっかけを得ることができました。

2日目には万国津梁館を見学する前に部分日食を見ることができました。この日は日本の一部では46年ぶりに皆既日食が見られた日だそうで、90パーセントほど太陽が隠されている日食を見ることができて良かったです。

3日目の夕方からはエイサー講習が始まりました。エイサーは沖縄の素晴らしい伝統芸能だと思うので私はエイサーを習うことができるのを楽しみにしていました。もともとダンスの苦手な私にとってエイサーは決して簡単なものではありませんでしたが講習の後にも練習をしたりしてさよならパーティーでは最高の演技を、みんなで楽しみながらすることができて何とも言えない達成感を得ることができたし、形のない一生の宝物を手に入れることができました。

海外参加者の人とは、言葉も違うし仲良くなれるのかと心配でしたが自分の方から積極的に話しかけることでとても仲良くなれたし通訳がいなくても何とか会話ができることに感動しました。私はうまくしゃべることが大切なのではなくて伝えようとする心が大切なんだということを改めて理解しました。

私はこのツアーに参加するまで最近世界では国際化、国際化と騒がれているから何となく国際関係について学びたいと思っており、国際関係といっても具体的にどんなことが学びたいのかと聞かれても答えることはできませんでした。しかしこのツアーで様々な言葉を話す人たちと英語でコミュニケーションをとったり、英語圏でない人とは身振り手振りで会話をしたりするうちに私は今の私に一番必要なのは英語だけに限らない、スペイン語やフランス語などにまで及ぶ幅広い言語運用能力であるとはっきりとわかり、言語を学びたいと思うようになりました。また、それぞれの国の人たちが自分の国を紹介するのを聞いて色々な国の文化に興味をわき、私は言語とともに文化を学びたいんだと気がつくことができ自分の目標を見つけることができました。私はこれらのことを、沖縄という独特の気候を持ち美しい自然の中にある大学で学び、沖縄の文化と歴史とともに異文化に触れたと思います。

このツアーで出会った県内参加者、海外参加者、ボランティアの方、そして私にこのジュニアスタディーツアーという素晴らしい機会を与えてくださったスタッフの方々は奇跡的に出合った大切な仲間です。沖縄の血が世界に広がっていることを意識しながら今後もコミュニケーションをとりJSTのつながりを大切にしていきたいと思っています。

玉城 瑠璃

RURI TAMASHIRO

糸満高等学校三年



Junior Study Tour 2009

私はジュニアスタディーツアーを「本当に最高の日々」と言い切ることができます。あの一週間で私はこれから

役立つことをたくさん学びました。楽しかった日々はあっという間に終わるというけれど、JSTを振り返ったときその言葉はしっくり来ませんでした。“あっという間で充実した日々”そう感じるのはやはり、短い時間で多くのことを感じ、学べた証拠だと思います。

ジュニアスタディーツアーでは、初めから多くのことを学ぶことができました。

初日、私が最初に仲良くなったのがウェンディでした。キューバから来た彼女は、スペイン語しか話すことが出来ずコミュニケーションをとるのが難しかったです。しかし女の子同士ということもあり、彼女のきれいなつけ爪の話などでもりあがり、動作や簡単な英語を使い仲良くなることができました。彼女と仲良くなることで私はこのツアーで一番必要なことを学びました。それは、言葉が通じなくても動作や簡単な英語で友達になれるということです。それを一番に学ぶことができたことは、すごく良かったと思います。彼女と仲良くなれたことで、みんなと積極的に接することができました。

グループは、県内参加者の優想と金太郎、海外参加者のブラジルからきたアケミ、ハワイからきたキミコ、アルゼンチンからきたエドアルドと一緒に彼らとは行動をとることが多く仲良くなることが出来ました。このグループはそれぞれ個性がユニークだった気がします。金太郎は独特の雰囲気を持っていて、県内はもちろん海外の参加者も彼には素直な姿を見せているようで、彼の雰囲気がこのグループには必要不可欠だった気がします。優想は普段からおっとりとしてどこか抜けているかんじがしますが、リーダーとしてしっかりグループをまとめてくれていました。アケミはシャイな一面もありますが、自分をしっかり持っているマイペースな子です。キミコは気の強い雰囲気が漂うノリのいい子で、英語で話しかけるとクールに答えてくれます。エドアルドはともおもしろくて、いつも笑わせてくれました。彼らと同じグループだったことを私はとてもうれしく思います。

ジュニアスタディーツアーではたくさんのところに行きました。そこは沖縄に住んでいる私も行った事のないところがほとんどで、自分で思っているより私は沖縄のことを知らない事を実感しました。さまざまなところに行ったことで海外の参加者とたくさん話をすることが出来ました。

美ら海水族館では、カナダからきた愛にカナダのいろいろなことを教えてもらいました。彼女と話をしていて、気温の話になったときとてもカルチャーショックを受けました。それはカナダの彼女の住んでいる地域の夏は気温15度だということです。沖縄の冬の気温が彼女の住むところの夏の気温というのは驚きで、私が15度は寒いという彼女がカナダに住めないかと笑っていました。しかしそれを思うと、その日の気温である32度は彼女にとってとても暑いようでお互い気温の違いで住む環境の違いを感じました。

エメラルドビーチでは、みんなで海水浴をしました。ボリビアのリサは初めての海でナマコを踏み、大騒ぎしていて私がナマコのことを教えるととても気味悪がっていました。沖縄の参加者がTシャツのまま泳いでいるのをアメリカからの参加者のジェシカと直美、キミコがみていて不思議がっていました。私は水着で泳いでいたのですが、初めTシャツを着ていたので直美に「なぜ脱がないの」と聞かれ、「恥ずかしがらないで脱いで!」といわれたのは少し照れました。アメリカからの参加者は、水着になるのは普通のようにこれも文化の違いをかんじました。

首里城では、ペルーのディエゴと一緒に館内を回り彼とたくさん話すことが出来ました。彼はとても頭が良くユーモアもあり、話しがとても楽しかったです。彼はひとつひとつをとっても興味深そうにみて、わからないことは積極的に私に聞いていました。私もわからないものは、2人でなんなのか考えて話、そう言う意味でも考えを交換できて楽しかったです。彼は、最後の日に首里城と一緒に回ったことをデートと言い「次は瑠璃がペルーに来て、マチュピチュの遺跡でデートしよう。僕がマチュピチュの遺跡のことを教えてあげるよ」といっていました。

驚いたのは三線の講座でした。海外参加者は三線が引ける人が予想以上に多かったのです。沖縄に住んでいる私より彼らは沖縄への愛がすごく素直に感じました。沖縄に住んでいると積極的に沖縄の文化に関わらず、どうも間接的に関わる人が多い気がしました。それはエイサーに関しても同じ事が言えると思います。私達は学校の体育祭などでエイサーを習う機会があり、踊ったことがあるという感じですが、海外の参加者は授業などではなく、自分から積極的にエイサーを学んでいるのです。そこに沖縄という私達参加者の原点への考えや想いの

違いを感じた気がします。

エイサーの練習は、楽器などと違い体全体を使うという点で初めて踊る参加者には難しいものでした。うまくいかず、あきらめてしまうメンバーにスタッフの勝連さんが掛けた言葉は、私の心に強く残っています。「エイサーを学ぶことは、参加者の一生の財産になる」それは、このツアーのすべてにおいて言えると思ったのです。沖縄のことを学ぶ、自分の原点を学ぶことは自分を構成するなかでの原点となる貴重な財産だと思いました。そして何かを経験するということは人生において必ず財産となると思いました。勝連さんの言葉は私がこれから何を経験するときにも思い出す、とてもすばらしい言葉だと思います。

ジュニアスタディーツアーが終わり、各々の国に戻り各々の生活に戻った今もツアーでの思い出やメンバーとの絆は色あせることなく、沖縄へのつながりは深くなっていると思います。

私は、アメリカの直美やカナダの愛、ブラジルの美和とメールのやり取りをしています。時差を考えなければいけないメールは普段のメールと比べて不思議な感覚に陥ります。すぐに地球の裏側にいる彼らに届くメールだから共有できる時間の感覚はすごいと思います。世界に友達がいて、彼らのことを考えながら生活をするのはとても楽しいです。しかし彼らとのやり取りで1番苦労しているのは言葉です。英語でいかにわかりやすく伝えるかを考えるのは大変ですが、とても勉強になります。

ジュニアスタディーツアーは、多くのことを教えてくれ、そして多くの財産を与えてくれました。このツアーは私の素晴らしい財産です。

徳元 りさ

RISA TOKUMOTO

那覇商業高等学校三年



ツアーに参加して

私は初めてジュニアスタディツアーへの参加が決まった時、嬉しい気持ちや楽しみな気持ちは正直少しもあり

ませんでした。

それよりもみんなと仲良くなれるかや、海外からの参加者とうまく交流できるかなど不安でいっぱいでした。

オリエンテーションで県内参加者と顔合わせをした時に、さらにみんなと馴染める気がしなくて行きたくなくなっておもしました。私はとても人見知りをするので県内参加者ともあまり話せませんでした。なのに翌日から始まるツアーで海外参加者と仲良く交流するのは無理だなんてとても落ち込んでいました。

いよいよツアーが始まってみんなで顔合わせをした時もみんなの輪に入れずに、一人でボーっとしていました。そんな時に友達の玉城りささんが海外参加者に話しかけてみようって誘われました。最初は、人見知りだから無理って拒否ってたけど、一応りささんに付いて行く事にしました。これをきっかけに初めて話した海外参加者がウエンディーでした。その後A～Fチームに分かれてグループ対抗でゲームをしました。そのおかげで少しみんなと話すことができました。そしてダンスをしてウェルカムパーティーで初めてたくさん話したのがデニーと金太郎でした。このときに本当に少しだけ初めて楽しいって思いました。ウェルカムパーティーでみんなの演技を見て盛り上がり朝までの参加したくないって気持ちは全く無くなっていました。寝るときには明日にはもっとみんなと仲良くなって、ツアーを楽しみたいなって気持ちに変わっていました。

二日目は日食を見て水族館に行きました。水族館でやっと海外参加者に友達できました。嬉しくて適当な英語やジェスチャーで頑張って話をしました。海で泳ぐ時にもみんなでたくさん話して、砂浜でのバレーではもっと仲良くなることができました。ホテルでも一つの部屋に集まってみんなでいろいろ話して盛り上がり、みんなの事をたくさん知ることができました。来てよかったなってとっても思いました。あんなに人見知りで多分参加者の中で一番行く気とやる気が無かった私が今は自分から海外参加者に話しかけたり、みんなの輪に自然に入っていました。こんなに早く自分が変わってることに本当にビックリでした。不安なんて全くありませんでした。

私がこのツアーで一番思い出に残っているのはキャンプファイヤーです。ゲームなどで盛り上がりチームの仲がより深まりました。その後みんなで火を囲んでダンスをしたり、歌を歌ったりしました。サルサっていうダンスもディエゴにエスコートしてもらって初めて経験しました。歌はみんなで肩を組んで歌いました。歌やダンスのときにみんなの笑顔がたくさん見れました。本当に全員が一つになるのをとっても強く感じて嬉しさと感動で涙が出ました。これをきっかけにみんなが家族のような存在になりました。キャンプファイヤーで歌やダンス、カチャーシーをやって言葉の壁というのを全く感じませんでした。上手に話せなくても通じ合って仲良くなれて大事なことは言葉じゃないってわかりました。とっても最高の夜になりました。

その後のツアーもみんなともっと交流して仲を深め毎日とても楽しみました。三線体験やエイサーなど沖縄の伝統芸能を学びました。沖縄の伝統芸能なのに私はどっちも海外参加者に教えてもらったのが、はずかしいなと思いました。でもとてもいい経験になりました。

私は参加中一日一日が本当にとっても充実していて毎日たのしすぎるぐらいにツアーを満喫していました。こんな楽しい毎日も終わりが来てしまいました。お別れパーティーの前日なのに、私は涙が止まりませんでした。初めは五泊六日がとても長く感じて行きたくないって思ってた自分が嘘みたいでした。明日でお別れって考えたらとっても寂しくて五日間を思い出したら泣けてきました。

お別れパーティーでも何か思い出を残そうと県内参加者で集まってその日でダンスを覚えて踊ることにしました。パーティーが始まって最初に全員で感想を發表しました。私は三人目の時ぐらいから涙が出てきて止まりませんでした。さっきまで裏でいろいろ準備しながらみんなでおしゃべりして笑い合っていたのに、本当に今日でお別れって実感湧かなくて、でもみんなのスピーチを聞いていたら本当に今日で最後なんだなってとっても悲しくなりました。五泊六日のツアーは長いようでとっても短くてだけど毎日が充実して濃かったせいかみんなと何ヶ月も一緒に過ごしていたような気がしました。

みんな歳もバラバラで国も違って話す言葉もさまざまだったけど一つの家族になることができました。そんなみんなとお別れするのは本当につらすぎました。私の中で今まで出た一番つらい別れでした。

翌日早起きして海外参加者を見送りに空港へ行きました。みんなとハグして見えなくなるまで見送りました。もう何回泣いたかわからないぐらい泣きました。頭もいたくて目もはれてやばかったです。今年一番号泣しまし

た。それぐらいみんなとは離れたくなかったし、とってもいいツアーでした。本当に短い間だったけど、このツアーで出会ったみんなよは一生付き合っていける気がします。九期生の三十六名みんなとっても最高でした。ツアー参加者に選ばれたのを不運って思っていたけど、今は胸をはって幸運だったって言えます。夏休みにいい思い出ができました。

このツアーでであった三十六名とスタッフや関係者にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。

玉城 理沙

RISA TAMAKI

首里高等学校三年



いちやりばちよーでー

「いちやりばちよーでー」このツアーに参加して私が大好きになった方言です。一週間という短い期間にも関わ

らず、私たちはまるで家族のような関係になりました。

私にとって、二度目の挑戦だったこのツアー。合格通知が届いたときは、本当に嬉しかった。しかし、楽しみと同時にみんなと仲良くできるか、輪の中に入れるかという大きい不安もありました。

最初は、一人でポツンと立っていてなじめなかったけど、話しかけてもらったり、勇気を出して積極的にみんなに話しかけるようにしました。毎日毎日みんなと打ち解け合っていくのが、楽しみになりました。

このツアーは全部楽しかったけど、やっぱり私にとって一番の思い出は、キャンプファイヤーです。ダンスも盛り上がって、みんなの心が一つになった様に感じました。また、仲がもっと深まるチャンスになりました。ツアー中に誕生日だった金太郎に、みんなでサプライズバースデーをしたときも、とっても盛り上がりました。りさもいつかは、グロリアさんのダンスをマスターしたいです。

このツアーでは、楽しかったことだけでなく、驚いたことや勉強になったこともたくさんありました。一番驚いたのは、みんな日本語が上手で、私達以上に沖縄について知っていたことです。また、移民のワークショップをしたときは、県外参加者の方が積極的に取り組んでいるのが印象的でした。エイサーの練習のときも、県外参加者のほうが私より上手で感心した反面、沖縄にいるのにできない自分が少し恥ずかしくなりました。

今までは、沖縄の移民について何も知らなかったけど、このJSTを機会に移民についてもっと学んでいきたいです。そして、沖縄に住んでいるからこそ伝統的なものに触れ、今以上に沖縄のことを知らないといけないと思いました。また、ジュニアスタディツアーで初めて、英語以外の言語と関わることができました。特に私にとって、スペイン語がおもしろく、大学で勉強しようと思っています。

JSTは終わってしまったけれど、私達の絆はずっと繋がったままです。これからは、メールなどのやりとりを通して、ずっと連絡をとっていきたいです。また、来年はOBとしてJSTに参加し、盛り上げ、交流の幅を広げていきたいです。ボリビアのりさが言っていたように、このツアーに参加して初めて、世界の裏側にも沖縄があるんだということを感じました。

一週間は本当にあっという間だったけど、一生忘れない思い出になりました。JSTに参加できてよかった、この仲間に出会えてよかった、本当にそう思います。みんなありがとう。また会える日を楽しみにしています。

Obriga ariga thank you! Ai Ai mucho voce

名嘉真 美咲

MISAKI NAKAMA

浦添高等学校三年



ジュニアスタディーツアー

沖縄のルーツを学ぶきっかけになったジュニアスタディーツアー。私はこのツアーを通して、世界に渡るウチナンチュの繋がりの広さに驚かされました。今までの私なら、【世界】という言葉から連想されるものはアメリカしかなく、それこそ英語さえできれば不自由することはないと思い込んでいました。しかし、このツアーの参加者はブラジル、アルゼンチン、ボリビア、ペルー、中にはニューカレドニアというあまり聞き慣れない国からも参加しています。もちろん、全員が皆英語を話せるわけではなく、また日本語も話せない参加者もいます。そういった環境の中で共に一週間行動することができるのか、初めは不安を感じました。というのも私自身、英語は準2級程度しか取得しておらず、言語なしにコミュニケーションをとるというすべを知らなかったからです。ですが、実際海外参加者に会ってみると、そんな不安は嘘かのように私たちはすぐ打ち解けました。祈念史料館や平和の礎などで沖縄の歴史を学ぶほか、海や山で自然体験をしたりと、一週間があつという間に感じられました。

現在の世界が抱える問題は果てしなく、分かち合うというのは難しいことかもしれません。しかし、たとえ言語が通じないとしても相手を思うその心だけで同じ想いを共有することができるのだと、私はこのツアーを通して学びました。ジュニアスタディーツアーは様々な価値観を私に与え、また世界平和について深く考えさせられました。

今後もジュニアスタディーツアーによって芽生えた想いを忘れず、将来に繋げていきたいです。そしてこれからのジュニアスタディーツアー参加者に私が感じたこの感動を伝えていきたいです。

宮平 優想

YU MIYAHIRA

那覇商業高等学校三年



ジュニアスタディツアーに参加して

はじめに、このツアーに参加させてくれた担当者の皆さん、スタッフ、ボランティアの皆さん、本当に感謝します。ありがとうございました。このツアーで得たものは、私の生涯忘れる事のできない宝物になりました。

最初は、みんなと話せるかなとか、友達できるかなって不安だらけで、戸惑う事も多々ありましたが、みんなと一日一日を過ごしていくうちに、そんな不安もなくなり、今思えばこの一週間とても充実していて長いようで短すぎる一週間でした。

また、海外参加者のみんなは、沖縄に住む私達より沖縄の事を知っていたり、とても興味をもっていて、一緒に学習していくうちに私自身ももっともっと、沖縄の事が大好きになりました。沖縄の伝統芸能を体験する機会があり、三線やエイサーをみんなと練習して一つの物を作りあげるのは、難しくて大変でしたが、最後やりとげられた時は本当に涙が出るくらいの感動でした。

アメリカ、ブラジル、アルゼンチン、ペルー、スペイン、ボリビア、ニューカレドニア、カナダ、キューバ、みんな住む場所や、話す言葉それぞれ違いますが、心はみんなうな～んちゅでした。

そして、私には9ヶ国の友達ができました。これからみんなと連絡をとりあって、将来は私がこの9ヶ国を訪れたいと思いました。地球の反対側の沖縄を、遠く離れたところで生活するみんなに会いに行きます。

2009年のジュニアスタディツアーに参加できて、この36名のメンバーに会う事ができ、私は本当に幸せです。

誰かが言った、「さよなら」じゃなくて、「いってらっしゃい」、また必ず会える。

36名で歌った「島人ぬ宝」、私は一生忘れません。

Aiai mucho voce

安里 公美子

KUMIKO ASATO

西原高等学校二年



ジュニアスタディーツアー

このジュニアスタディーツアーに参加して今まで体験したことのないことができました。

私はオリエンテーションから緊張していて参加者名簿を見ると同世代が少なくやっていけるか不安でした。ツアー当日、アメリカ、カナダ、ハワイ、ブラジル、アルゼンチン、ボリビア、ペルー、メキシコ、キューバ、ニュージーランドから来ていて驚きました。4ヶ国語も話せるのか心配でたまりませんでした。そうこうしているうちにツアーが始まりました。オリエンテーションから始まり、自己紹介、国の紹介を聞きました。その後交流プログラムが行われました。イス取りゲーム、ジャンケン列車などのゲームをしたりダンスをして交流を深め合いました。少しですけど話せたかなと思います。それが終わるとウェルカムパーティーが開催されました。そこで夕食を食べながらお話しできました。1日目は緊張の1日となりました。

翌日からは少し緊張がとけ、ツアーが始まりました。2日目はレクセセンターを出てまず県庁で歓迎セレモニーに参加しました。次に訪れたのが万国津梁館へ行き、2000年に行われた沖縄サミットの会場を見学しました。ついた時に部分日食が見れよかったです。続いて美ら海水族館へ行き、見て楽しみました。イルカショーも見ることができ興奮しました。次にエメラルドビーチという海へ行きみんなで泳ぐことができました。天気もあまり良くなく、肌寒かったです。海を出て、ビーチバレーを楽しみました。翌日3日目は比地大滝へトレッキングをしました。ひたすら歩き続け、疲れましたが、自然のすばらしさを実感できた一日でした。この日からエイサー講習が始まり覚えるのに必死でした。他にキャンプファイヤーがあり、グループ対抗でゲームをして楽しみました。歌って、踊って最高な一日でした。4日目は、歴史学習として首里城に行き、琉球王朝の頃のことが学べたり、文化学習として県立博物館へ行き、文化を学んでいきました。それに伝統工芸の琉球漆器作りを体験できました。細かい作業であまり上手くできなかったですけど満足のいく作品ができました。伝統芸能の三線も体験できよかったです。5日目には平和学習として平和祈念館へ行き、平和のことを学んでいきました。午後からはマチグワァー散策といって普段行かない所にも行き新しい発見ができました。6日目はホテルで移民について勉強していきました。もっと知っていけないといけないと思いました。

このツアーを通して多くのことを学びました。一週間という短い時間でしかたけど、充実していて楽しかったです。心に残る思い出ができました。国が違ってやはり心の中はうちなーんちゅだと思いました。これで終わりではなく、私はこれからも交流を続けていくつもりです。いつかむこうの国に行きたいと思います。

新垣 玲央菜

REONA ARAKAKI

中部商業高等学校一年



初めてのジュニアスタディツアーを通して

今回の、第九回ジュニアスタディツアーを通して学んだことが、たくさんありました。

まず、ツアー初日に初めて海外参加者の人たちと顔合わせをしたとき、私より先に来ていた県内参加者の人たちはもうすでに交流していて、とても驚きました。スペイン語で話しかけている人もいれば、カタコトの英語を混ぜて積極的に話しかけている人たちが多かったからです。私は今まで、「自分は積極的なほうだ」と思っていたばかりに、正直にいうと驚きより、焦りのほうがおおきかったです。そのときに、このツアーでは今まで以上に積極的になることが必要だということを学びました。

二日目からは、本格的にプログラムがスタートし、初めていく県庁に、万国津梁館といろんなことを学習しました。この日から、ホテルの部屋割りに海外参加者の人たちも加わり、常に交流する機会が増えていったため、自然としゃべりかけるようになり、英語で通じるひとにはできるだけ知っている表現で伝えたり、何て言えばいいかわからないときには「こういうときは何て言うの?」と質問したりと、だんだん積極的になっていきました。

三日目には比地大滝のトレッキングでより親しくなり楽しみにしていた交流プログラムとキャンプファイヤーでは、ボランティアのみなさんが計画をすべて立ててくれていて、予想以上に楽しむことができました。キャンプファイヤーの最後には、初日から踊っていたマカレナやスペイン系で踊られている「サルサ」というダンスを教えてもらいながら、私は心から楽しむことができ、「住んでいる国が違うなんて思わない」ほどに、最高に楽しめました。キャンプファイヤーのラストにはみんな「島人ぬ宝」を歌い、本当にこの瞬間全員の“心が一つ”になったことを体感し、一つの家族のようにさえ思えました。

四日目は歴史・文化学習で初体験の“琉球漆器作り”をしたり、三線を習いました。アメリカ出身の有紀と、ペルー出身のルイスが沖縄のおじーたちのように三線が上手だったので、とても驚きました。「安里屋ユンタ」を大体通して弾けるようになり、貴重な体験ができた一日でした。

五日目には平和学習をし、“沖縄戦”の話を通して、改めて平和がどれほど大切で幸せなことか知ることができました。午後からは、エイサー練習に力を入れ、全体練習の後には自主練もして、短時間ではありましたが、みんなとても頑張っていました。

六日目は「移民についての講話・ワークショップ」で、このツアーの原点である「なぜ先祖の人たちは海外に移住したのか?」一番疑問に思っていたことがわかり、良い勉強になりました。

そしてとうとう最終日の七日目、この一週間の成果発表や、エイサー、出し物を披露しました。最終日には、初日のごちなさやウソのように、まるで前から知り合っていたかのようにみんな仲良くなっていて、本当の家族だと思えました。友美が言っていたように、「国境があるということを感じられない」ほどの仲になっていました。

このツアーを通して、大切なことは「うまくしゃべろうとするより、話したいと思う意欲があるかどうか」が一番大事だと学びました。また、どうやってこれから海外の人たち、県内参加者の人たちと交流していけばいいのか考えた結果、メール・電話を通して連絡を取り合ったり、あるいは文通するのはどうかなと思いました。それと、もし海外に行く機会があれば今度は、他の国の文化・歴史を学びたいと思います。この素晴らしいツアーに参加できて、とても多くの思い出・経験ができたので、今度はボランティアとして関わっていけたらいいなと思っています。本当に良い経験ができてよかったです。

仲里 なつき

NATSUKI NAKAZATO

陽明高等学校一年



ジュニアスタディツアーに参加して

過ごした日々は、毎日が新鮮で新しい発見などができ、“楽しかった”の一言しか出てきません。一日目は、言葉がうまく通じなくて気持ちを伝えるのに時間がかかったけど、やっぱり一緒にいて何か繋がりを感じたし、顔はうちなーんちゅなのに日本語があまり話せない人や、見た目は外国人なのに日本語が上手に話せる人、本当にいろんな県外参加者がいて驚きと共に、温かい気持ちになりました。そう感じた瞬間から、私は、JST参加者皆のことが「家族」のような存在になっていたんだと思います。

皆で過ごす初めての夜は、仲良くなった友達と、トランプをしたり、体をつかって遊ぶゲームなどをして寝るのももったいないと思ったくらい楽しかったです。

二日目は、まだ打ち解けていないながらも美ら海へ行ったり、エメラルドビーチでバレーをしたりと、また一つ思い出ができました。

三日目の夜、先輩方が考えてくれたゲームやバーベキュー、そしてキャンプファイヤーでは、ダンスを踊り、歌を歌い、みんなの絆がもっと深まった気がしました。この頃から、みんなとの別れが近づいているような気がして寂しい気持ちになりました。

四日目での一番の思い出は、DFSのフードコロシウムで食べた昼食がとってもおいしかったことです。振り返りシートを見て「今日の一番の楽しみにしていることは何ですか？」という質問に対してでかでかと“昼食”と書いてあるのをみて、後で一人で笑いました。

五日目、この日はみんなですごす最後の夜。そんな夜にふさわしい、あの有名人きんちゃんの誕生日でみんなですばライズパーティーをした時のあの楽しさは、一生忘れることはないです。でも少しやりすぎだったね（笑）

そしていよいよ最終日。悲しい気持ちをかき消すためにたくさん笑っていました。なのに、その日はきんちゃんの誕生日パーティーだけをする予定と聞かされていたのに驚いたことに私の誕生日ケーキまで買ってくれていて、今まで我慢していた涙がボロボロ出てきて自分でもびっくりしました。本当にありがとうございました。

28日のサヨナラパーティーでの出来事は、書いているときに思い出して泣きそうなので最後にみんなにメッセージを書きます♪

あの一週間は本当にあっという間だったけど、いまでも一日一日の出来事を鮮明に思い出すことができます。あんなに楽しいと思えたのもJST9期生一家に会うことができたからだとか心から感謝しています。本当にサイコーな夏の思い出です。みんなですごしたあの一週間は、私のかげがえのない宝物です。みんな、一週間なつきのお世話お疲れ様でした。（笑）

普天間 友美

TOMOMI FUTENMA

首里東高等学校一年



スタディツアーに参加して

私は、今回のスタディツアーに参加して学校ではできない貴重な体験をすることができました。初めてのオリエンテーションでは少し緊張したけど、段々不思議ととけ合い、言葉ではなく心で通じ合えるような仲間がいるような気がしました。

初めて参加する皆さんと出会えたウェルカムパーティーのときも言葉は通じなくても少しの英語や日本語を交えたジェスチャーで自分の思うことが伝えられたときの感動は、小さな喜びでもありとても大きな思い出となる、今までにない満足感をあじわえたのを覚えています。

毎日のスケジュールの中で新しい発見や経験による感動の積み重ね、今日という今になっては、自分はこのような体験ができたことはとても恵まれていたんだなと思いました。そして沖縄に住んでいる大勢の人に国際交流を通じて言葉や文化の違いはあるけれど、もっとその素晴らしさを認め合い感じて欲しいと思いました。

今、私は国境という言葉を感じられません。今回であった友だちといるときは特に感じません。でも家にある地球儀を見ると、たくさんの国があってたくさんの国境を見ることができます。いつか私はたくさんの国境を越えて、いろいろな国に行ってみたいと思っています。そして、いくつもの言葉を勉強して、人々と話してみたいです。そして世界の人々にも。私の大好きな『沖縄』を紹介してあげたいと思います。

今度、メンバーの皆さんと「会いたいね。」と電話した時に、「同じ空の下に住んでいるのだから、いつでも会いに行けるよ。」と言えるよう、私は本当に地球が一つでよかったと思えるような未来に向けて頑張っていきたいです。

最後に、スタディツアーを担っていただきました実行委員の皆様方、スタッフの皆様、ご協力いただいたボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

ブースクリ 満理奈

MARINA BOUSCKRI

沖縄尚学高等学校一年



ジュニアスタディーツアー

ジュニアスタディーツアーに参加して、私は国境をこえての友情の大切さを学びました。友情を育み、沖縄文化を背景にもつ世界の人々との交流を維持していきたいと思っています。私がこのジュニアスタディーツアーのことを知ったのは、母とあるファーストフード店へ立ち寄ったときでした。そこで、母の教え子であった赤嶺さんという方に会ったのです。赤嶺さんは私がフランス語を話せるということで、参加してみてもはどうだろうかと思ねました。正直言って、不安な気持ちが大きかったです。フランス語を話せても、ちゃんとコミュニケーションがとれるかどうかと、ネガティブな考えが頭の中で駆け巡っていました。しかし、人間は体験してみないとわからないもので、初日のウェルカムパーティで、私の担当のユキというニューカレドニアの子と初めて出会った時に、「昨日はよく寝むれた？」と、フランス語で気軽に話しかけることができました。これがユキとの友情の第一歩でした。初日だというのに短時間でお互いが話しかけ合えるような状態ができました。とても恥ずかしがり屋で、あまり自分から話しかけることはなかったユキが、徐々に周りの環境に慣れ、よく話すようになって嬉しかったです。ユキは故郷のことをいろいろ話してくれ、南半球の遠く離れた国にも沖縄の祖先をもつ人々がいることに、あらためて驚きました。

ツアーの期間、さまざまな活動を通して、ユキ以外の人たちとも友情を深めることができました。バスの中では、友人にフランス語を教え、発音を間違えらるとお互い爆笑して楽しい時間を過ごせました。キャンプファイアーで行ったゲームでは、私のチームと別のチームがタイの4位だったのすで、私が代表となってじゃんけんで勝ち、練習してきた踊りを披露する機会もありました。また海外から参加してきた人達の発表で、そこがどういう国なのか知ることもできました。海外、県内から集ったツアーの仲間と山登りの途中の景色に感動したり、博物館を訪れたり、国際通りを歩いたりして、国をこえてひとつとなり、沖縄のことを知る貴重な体験となりました。最初は気まずかった雰囲気も日に日にお互い打ち解けてき、昔から長く付き合っているような、そんな感じさえました。ずっとこの友情を大切にしていきたいと思っています。

スタディーツアーのプログラムの中で、特に素晴らしいなと思ったことは、「エイサー」の練習と舞台発表です。「エイサー」というものは、沖縄の文化であり、その文化を沖縄人の血をひく海外の同世代の人たちといっしょに学び、愉しめたからです。「エイサー」を通して私達の友情は更に深まったと思います。「エイサー」の練習は決して易しいものではありませんでした。足と手の位置が逆になったり、テンポが遅れたりして大変でした。私のパートナーのユキは、練習の途中で「私にはできない」と言い出してきました。「どうしたの？」と尋ねると、「難しすぎる。」そう答えました。ふてくされたユキに、「やればできるよ。」と何回もいいましたが、聞く耳持たず、とうとう地面に座り込んでしまい、皆が練習しているところをただじっと見ていました。そんなユキを見て世話役の方が声をかけてくれました。「エイサーだけはせめてやって欲しい。エイサーをやったことで母国に帰ったら、『ああ、やってよかった。』と思って欲しい。ユキだけがやらないと皆が悲しむよ。」と言ったことをユキに伝えると、「やってみる」と言ってくれました。私にも、「ユキの傍にいてやってね」とささやき、私たちはさっそく練習を再開しました。何度も練習するうちに、ユキも思うように体を動かすことができ、本番の舞台では心底エイサーを楽しんでいるようでした。辛い時もお互いを励ましあうことでひとつの事を達成する喜びをユキも私がかみしめていました。私とユキはこの経験を通して絆が深く繋がったような気がします。

友情というのは、国や言葉をこえても存在するものだとすることをジュニアスタディーツアーを体験して強く感じました。ここで築いた友情を維持し、私達が大人になっても交流ができることを願っています。たとえ住む場所や話す言語が異なっても、海外から参加した皆が、私たちと同様に沖縄の文化を誇りに思ってくれたら、このスタディーツアーの意義が活かされるのだと思います。最後に、ジュニアスタディーツアーを企画・運営・支援していただいた全ての方たちに、このような素晴らしい機会を与えてくださったことを感謝します。



与儀 哲雄

YOGUI TETSUO

69歳 2世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

ブラジル沖縄県人会



日本への旅

私はブラジル沖縄県人会を代表して、去る7月に2009年ジュニアスタディーツアー参加者3名の引率者として沖縄に行くことになりました。

ジュニアスタディーツアーは14歳から17歳までの中高校生を対象として海外移住者の子孫を県内に招く県主催の文化交流プログラムです。

参加者募集要項は毎年大体2月中旬に沖縄から送られてきます。募集人数が毎年変わりますが各支部に知らせ会員の子供たちの中から選抜審査が行われます。

ジュニアスタディーツアーは大体7月中旬、学校の休み期間中に沖縄で行われるプログラムです。同ツアーは、移民で外国に行った県人の子孫たちに、祖先の故郷である沖縄を知ってもらう機会であるとともに、海外の県系人社会の次世代のリーダーを育成すること、そして参加者の国同士の絆を深めるのが主な目的です。

ツアーの最初の数日は、ホースステイ先での親戚と絆を深めるために一緒に過ごし遊びに行ったりします。

その後、ホームステイの家族と別れ全員の参加者がホテルに集い、ギッシリと企画されたツアー期間中に単独行動を取らず参加します。

このツアーには海外より18名、県内より18名の計36名の参加者と主催・運営スタッフが参加しました。

各国の参加者たちが仲良くなるよう、主な歴史上の舞台や伝統芸能を見学し、環境保護を考えた様々な交流を通して、県内の北から南まで知る機会になりました。

ジュニアスタディーツアーの開始以来、主催・運営スタッフに企画された様々なゲームがあったおかげで参加者たちは「いちやりばあちょうでえ〜」という表現通り、皆兄弟であったかのように感じていました。

私は沖縄を訪れるのは2回目でしたが、初めてのようなものでした。若い人たちに囲まれ自分も若返ったみたいで楽しかったです。この旅は、次世代の育成と世界中のウチナーンチュとの絆を深めるという点で、とても勉強になりました。

沖縄を知らなかった若者たちがウチナーンチュであ

ることに誇りを持って国へ帰国し、より一層沖縄文化に興味を持ち、この島へ戻りたくなる気持ちにきっとなったと思います。

海外参加者たちがみんな、心にウチナーンチュの種を植えてもらったかのようにでした。これからはこの種は芽生え実を結ぶために各国の県人会の支援や指導、イベントへの参加誘導が必要です。一方、JST参加者たちが国へ帰り、無関心になり、県人会での活動に参加しないでいればその種は芽生えも実を結ぶこともできないでしょう。

ブラジル沖縄県人会幹部の皆さんに2009年JSTに参加させていただきましたことを感謝します。今年のJST参加者やOBの皆さん、今度はブラジル沖縄県人会AOKB/ブラジル沖縄文化センターCCOBのイベントへの参加をお待ちしています。また、この素晴らしい交流の継続を祈り、全世界のウチナーンチュの絆が深まることを願いつつ沖縄政府にも感謝の気持ちでいっぱいです。愛を込めて栄養を与え豊かな実を結んでいけるように頑張りたいと思います。

VIAGEM AO JAPÃO

Viajei ao Japão, no mês de Julho passado, especificamente a Okinawa, como representante da Associação Okinawa Kenjin do Brasil - AOKB, acompanhando os três jovens estudantes brasileiros que participaram no JST - Junior Study Tour 2009.

O JST é um intercambio cultural organizado pelo governo de Okinawa, onde são convidados os jovens de 14 a 17 anos de diversos países onde existem descendentes de okinawanos.

A AOKB, todos os anos, assim que recebe o convite de Okinawa – geralmente nos meados do mês de fevereiro, indicando inclusive o número de participantes que varia de ano para ano, comunica para todas as sub sedes e faz a seleção dos candidatos entre os filhos de seus associados.

É um evento que ocorre em Okinawa, geralmente na segunda quinzena de julho, no período de férias escolares. O objetivo principal desse intercambio é dar oportunidade aos jovens para conhecer a terra dos seus ancestrais, formar futuros líderes nos respectivos países de origens e fazer um

intercambio com todos os países participantes..

Como ocorreu este ano, nos primeiros dias , os participantes ficaram nas casas dos parentes (home stay) para uma convivência familiar estreitando as suas relações e, para eventuais passeios particulares

Após esse período, todos os participantes, se juntaram para uma programação desligando do home stay hospedando se num hotel, cujas atividades pré-programadas foram intensas, não se permitindo mais os passeios individuais.

Vieram dezoito jovens do exterior mais dezoito jovens selecionados de várias regiões de Okinawa, totalizando assim um grupo de trinta e seis estudantes e mais a equipe da comissão organizadora.

Foi uma oportunidade de conhecer Okinawa de norte a sul, visitando os principais locais históricos, artes e culturas tradicionais da ilha, preservação do meio ambiente, além de diversas atividades com o objetivo de fazer a integração dos grupos procedentes de diversos países.

No início, os jovens encontrando pela primeira vez, estavam reticentes, mas como diz o uchinanchu " ichariba choode" logo tornaram-se amigos, e mais do que isso, pareciam velhos conhecidos, graças também com as diversas brincadeiras descontraídas programadas pelos organizadores do evento.

Foi a minha segunda visita a Okinawa, mas parecia ser a primeira, sentindo me jovem no meio de adolescentes e, como eles, foi uma viagem onde aprendi muito. Esse tipo de intercâmbio é sem dúvida, a melhor maneira de formar futuros líderes e a melhor maneira de estreitar os laços dos uchinanchus de todos os países.

Tenho certeza que os esses jovens que não conheciam Okinawa, voltaram a seus países de origem, com orgulho de serem descendentes de uchinanchus, com muito mais interesse na cultura okinawana e principalmente com vontade de voltar novamente à aquela ilha.

É como se tivesse plantado uma semente de espírito uchinanchu no coração de cada jovem estrangeiro que esteve participando. Cabe agora, aos pais, às associações okinawanas de cada país, cuidar, orientar, e convidar a participar nos eventos promovidos pelas entidades, para que a semente germine e que dêem bons frutos para atingir o objetivo desse intercâmbio.

Se os jovens que estiveram em Okinawa participando no JST, ao voltarem a seus países, não participarem nas atividades das associações, desligando totalmente da comunidade okinawana, aquela semente não germinará e conseqüentemente não haverá frutos.

Agradeço a Diretoria da AOKB por ter me indicado para representá-lo e poder participar no JST 2009 e faço convite aos participantes desse intercâmbio, inclusive dos anos anteriores, para participar nos eventos da AOKB /CCOB. Agradeço

também o governo de Okinawa por essa iniciativa digna de louvor e que continue promovendo esse tipo de encontro que com certeza estará fortalecendo os laços de amizade entre os okinawanos do mundo todo. Vamos fazer germinar a semente, tratando com carinho, regando, adubando para que possamos colher bons frutos.



弘中 山城 ルイス フェルナンド

HIRONAKA YAMAGUSUKU LUIS FERNANDO

22歳 3世

ペルー共和国 Republic of Peru

ペルー沖縄県人会



2009年ジュニアスタディーツアー

まず初めに、沖縄県及び同県交流推進課にこの度の2009年ジュニアスタディーツアー交流プログラムのペルー参加者の引率者として参加させて頂いたことに深く感謝を申し上げます。

JSTツアーに参加してから7年、沖縄県に戻る機会が訪れました。しかし、今回は私の親愛なるペルー沖縄県人会を代表する青年たちの引率者としてです。2002年に参加したときにはおじいちゃんおばあちゃんが生まれ育った島の文化、伝統などの多くのことを学びました。また、当時できた友達とも今でも連絡を取り合っていることから、世界のウチナンチューネットワーク維持というこのプログラムの目的の一つが達成できています。だからこの引率者としての新たな挑戦を手放すわけにはいきませんでした。また、初参加したときに初めて日本という国を知ることができました。

ハルユキ君とキオミさんの引率者として任命されたあとは、沖縄県で披露する演目「La Marinera Nortena」(多種多様に亘る中から一つ)の練習を始めました。ペルーや当県人会についても調べ始め、顧問の方々話し合いの場を持つことができ当県人会について学び、当国での沖縄文化維持のための役割についても理解することができました。

3ヶ月の準備期間を終え、目標に達したあと、待ちに待った飛行機に乗り込み23時間くらいの旅を経てに沖縄県に着き、そのすばらしさを改めて満喫することになったのです。

私はJSTが入念に計画され、かつ決められた目標を成し遂げているプログラムであると思います。プログラム内に様々な国々から参加していた県民子弟の青年たちに沖縄の文化及び伝統を体験させることで知り、学ぶ機会を与えているからなのです。このことが、同プログラムに参加している県民子弟の新しい世代の人たちと本県との有能な交流を生み出し、維持する方法にもなるのです。

今年の参加者は、今までに参加した人たちと同様に、人生忘れられない体験をし、ウチナンチューという言葉

葉に対する見方が変わり、今なら沖縄出身がどのようなことなのか更に理解できたのではないのかと思います。

沖縄文化を維持し続けるために日々新しい世代の人たちと共に活動をし、年少及び青年たちに三味線、太鼓及びエイサーを学ぶ興味を植え付けてきました。

青年たちにJSTに参加でき、沖縄文化を知る機会を与えてくれる沖縄県に改めて感謝致します。

最後になりますが、信頼をシキオミさんとハルユキ君の引率者として指名してくれたペルー沖縄県人会に感謝するとともに、間違いなくいい経験をする青年参加者のためこの事業の更なる発展を目指す沖縄県及び同県交流推進課に感謝の意を述べさせていただきます。また、このプログラムに対する参加者たちが見せてくれたやる気とみなさんと分かち合ったすばらしい時間に対し感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。



ナカソネ ソニア マリア

NAKASONE SONIA MARIA

50歳 2世

キューバ共和国 Republica de Cuba

キューバ沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー 2009

私はウチナンチュであることをいつも誇らしく思っています。父親は時間が空いている時に島の音楽、お菓子や料理のレシピ、習慣、踊りなどを私と姉妹にも教えてくれました。

家で床に座り、歌の意味は分からなかったけれども、三線を使つての母国語での昔話や踊りなどに、驚いて笑いながら楽しんでいる様子が記憶に刻まれています。ですので、いつの日か、キューバへ渡るために離れなければならなかった私の父の生まれ故郷である沖縄を訪ね、父の遺骨の一部が納めてある仏壇のある実家で、父を見送りずっと祈りを捧げた親戚に会うことを心の中で期待していました。しかし、私のようなキューバ人にとっては、それは結局ただの幻覚であり、この夢を叶えることは大分難しいことだと思っていました。

しかしながら沖縄県主催のジュニアスタディーツアーのような、人道的かつ感激的なプログラムのお陰で私のもう一方の魂の片割れと出会えたし、遙か故郷を想う父親への約束を果たせました。

このJSTは私にとっては祖先の残した文化を誇る私のように、ニュージーランドや米国など遠いところに住んで仕事をし、夢をみている沖縄人との出会いもとても大事な体験でした。沖縄で安里屋ユンタを聞いてとても感動しました。この美しい曲は、父親が故郷を離れざるを得なかったことによりホームシックや憂鬱な気分になってしまった時によく歌っていました。若い参加者がみんな仲良くエイサーを踊っているのを見て、涙がでるほど感動しました。決して忘れることはないでしょう。

JST期間中、沖縄で花、植物、景色、空、海など、私の母国と同じぐらい言葉に表せない美しい自然に恵まれたことと、馬鹿げた事で起きた戦争で破壊された沖縄を復元させた沖縄人の勤勉さに驚きました。

何よりも、沖縄での滞在をきっかけに父親側の家族と出会うことができ、(もしかしたら最初で最後のチャンスかもしれません)、言葉では表現できないほど楽しい時間を過ごせました。またキューバ沖縄移民100周年記念をきっかけに、キューバの家でもてな

した友達と再会できましたが、彼らは私を暖かく優しく迎えてくださいました。書き漏れの心配もありますから、ここでみんなの名前を挙げることは控えます。

最後に、この故郷への旅を実現して下さった皆様にお礼の気持ちをお伝えします。この素晴らしいJSTプログラムを企画し、複雑な手続きを手伝って下さった、お忙しい中、時間を気にせずに空港まで迎えにきて下さった方々、暖かく私をもてなして下さった沖縄の方々、ツアーと一緒に参加して下さった方々、そして、様々な不安や妨げがあったと思いますが、私の家族や親戚にも本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

Junior Study Tour 2009

Siempre me he sentido orgullosa de mi herencia okinawense. Mi padre se ocupaba, cada vez que tenía un momento libre de sus múltiples tareas y responsabilidades, de enseñarnos a mis hermanas y a mí, canciones de las islas, recetas de cocina y de dulces, costumbres y bailes locales. Todavía nosotras recordamos cómo de niñas, sentadas en el piso de nuestra casa, riéndonos, y a la vez maravilladas, disfrutábamos de las historias que nos contaba, de sus bailes y de sus canciones en su lengua natal, que nosotros no podíamos entender, acompañado de su sanshin. Por todo ello, tenía una secreta esperanza de que algún día yo pudiera visitar el terruño de mi padre, la casa donde nació, y que abandonó para marcharse a Cuba; y el altar donde descansan parte de sus restos; y conocer a la otra parte de la familia que un día lo despidió, y que siempre mantuvo vivo su recuerdo. Pero para una cubana como yo, era muy difícil que ese sueño (porque en un final, para mí todo no era más que una ilusión) pudiera hacerse realidad en algún momento.

Sin embargo, y gracias a la existencia de una obra tan humana y a la vez tan emotiva como el JST Junior Study Tour Program de la Prefectura de Okinawa, pude reencontrarme con la otra mitad de mi alma, y finalmente saldar una deuda afectiva con la memoria de de mi padre, de quien conservo tan bellos momentos cuando él evocaba su tierra tan distante.

Pero el JST representó para mí otra faceta igualmente intensa: el encuentro con okinawenses como yo que viven,

trabajan y sueñan en lugares tan distantes como Nueva Zelandia y los Estados Unidos, y que, al igual que yo, viven orgullosos de su herencia cultural. Fue muy emocionante oír en Okinawa "Asadoda yunta": la tan bella canción que mi padre cantaba cuando le ganaba la melancolía y la nostalgia por lo que había tenido que renunciar. También me emocioné hasta las lágrimas cuando vi a los jóvenes bailando juntos, en perfecta armonía, el "eisa". Nunca lo olvidaré.

Pero también mi estancia en Okinawa como parte del JST Program me permitió admirar las indescriptibles bellezas naturales de una tierra bendecida como la mía: sus flores, su vegetación, sus paisajes, su cielo, su mar; y admirar igualmente la laboriosidad de los okinawenses en reconstruir una tierra arrasada por la insensatez de la guerra, para hacerla aún más bella.

Y por si fuera poco, mi presencia en Okinawa hizo posible que me encontrara (tal vez por única vez) con toda la familia de mi padre que aún vive allí, y con la que compartí momentos indescriptibles, que no alcanzo a expresar con palabras.

Mi estancia en Okinawa también me sirvió para reencontrarme con amigos a los que agasajé en mi hogar con motivo de las celebraciones de los primeros 100 años de la presencia okinawense en Cuba, en el 2007, y que allá me colmaron de amor, cariño y bendiciones. Nombrarlos a todos sería un ejercicio imposible para mí, y además, temo cometer el pecado del olvido, o la involuntaria exclusión, y ese no es mi propósito.

A todos los que hicieron posible este viaje mío a mis orígenes, los que me ayudaron en todos los pasos de un dilatado y a la vez complejo trámite; a los que estaban esperándome en el aeropuerto a mi llegada, sin importar hora ni momento u ocupaciones; a los que me brindaron su casa y su calor; a los que me cuidaron y estuvieron atentos a cada uno de los mil detalles que puede significar la presencia de un cubancho en Okinawa; a todos los que lograron esta maravilla del JST, y la convivencia de tantas personas buenas bajo un mismo techo, a pesar de las tensiones y los obstáculos de todo tipo que una empresa tan bella y altruista como ésta puede encontrar; a mi familia, a mis seres queridos, a Okinawa; a todos; mis más profundas y sinceras gracias.



米盛 克之

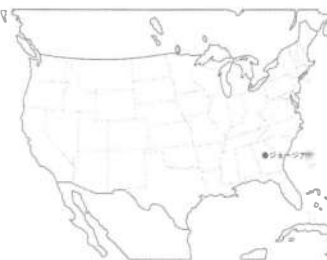
KATSUYUKU YONEMORI

37歳 1世

アメリカ合衆国

United States of America

ジョージア琉球郷友会



ジュニアスタディーツアーの感想と今後の交流の継続について

ツアーを無事に終えて一先ず安心しております。今回、初めて引率者としてツアーに参加させてもらい、沖縄県内と海外の学生、引率者や県庁職員を始め企画担当者が一緒に行動を共にし、本当に意味のある経験を、させてもらいました。

移住地出発前に引率者の情報不足で一時はどうなるかと思いましたが、成田到着後、海外の学生達と無事合流し沖縄へと向かいました。沖縄に到着すると関係者各位や家族の出迎えがあり、皆さん長い旅の疲れも忘れ親類との再会を喜んでいました。

ツアー開始当初は、県内と海外の生徒が中々打ち解けなくて、中には孤立する子もありましたが、最終日には全生徒が一つになり別れを惜しむまでの中になりました。今回一番感じた事は、言葉、習慣がかわった学生たちが短い時間で打ち解け合い、別れを惜しむ姿を見て感動を受けました。

初日に県庁を訪れて副知事や県職員にお会いして激励を頂き皆さん嬉しく感じたと思います。できればもう少し時間を、頂き意見の交換会ができれば良かったのではなかったかと思いました。万国津納会館にて世紀の皆既月食を見ることができ大変感動いたしました、特に海外の学生は故郷の地で見ることで良い思い出になったのではないのでしょうか。海洋博記念公園の水族館では沖縄に生息する多くの生物や珍しい生物を間近に見ることが出来ましたが、時間の都合もありゆっくり、観察することが出来なくて残念でした。

その後の海水浴では皆さん、はしゃいで楽しんで各々に自由に過ごしておりました。

宿泊には山の高台にある見晴らしの良いホテルで畳部屋に寝、大浴場でも疲れを取ることも出来ましたが、沖縄の生徒はともかく、海外の生徒の中には、初めての体験の生徒もいて、日本の習慣を体験でき良い経験になりました。

琉球の史跡を巡り、私たちの祖先がどのようにしてこの小さな島を世界に通じる歴史を築いてきたか、たどる事ができました。歴史を探っていくうちに、伝統芸能のすばらしさを知ることが出来き誇りに思いました。

平和記念学習では、沖縄戦の凄まじさを体験談や資料を通して勉強させていただきました。特に私は米国より学生を引率してき、その生徒たちには、特に意味あるものではなかったかと思えます。中には軍人の家族を持つ者もおり何かを考えさせられたのではないだろうか？ 沖縄は日米間だけではなく世界に平和の尊さを訴えているように思います。

最終日の移民についての話し合いでは、各学生や私たち引率者にとって自分のルーツを見直すことができた事と思います。小さな島から世界各地に夢を追いかけて移住していった先人たちの苦労や後の成功を見直し、今の自分を見直すことが出来ました。自分自身も先人たちのように、夢を追いつづき、沖縄を思いながら今日に至って降ります。沖縄の外から見直すと良いところが鮮明に見出す事ができ、故郷を大事に思えるようになりました。

ツアーを通じ終結として参加者全員で祭り太鼓を演奏したことは世界のウチナンチューが一つになった証ではないでしょうか。

今回の体験において短い期間ではありましたが、琉球、沖縄を少しでも知り理解されたことは、将来生きていく上で貴重な体験になったのではないだろうか？ どこで住み育とうと自分の血筋の誇りを忘れずに頑張っていけるのではないだろうか。

米国でもそうですが、どこに行っても沖縄の人達の結束は他の地域の人達に比べ一層強く、県人会の力と言うものは、はかり知れないと思います。

今後、沖縄の子弟たちが活躍していく上で、沖縄県民との関わりはとても大事な事ではないのでしょうか？ 今後、このような交流などは、やはり海外県人会の役割が大変重要ではないかと思えます。県庁をはじめ沖縄関係各位が県人会や県関係団体と緊密にしていくことで、今後の発展に結びつくものと思えます。

最後にこの機会をくださった、沖縄県民をはじめ関係者各位の方々に心より、

お礼申し上げます。今後もこのような企画が多く出来き、世界のウチナンチューの交流が盛んになり社会に貢献できる人材の育成につながれば良いと思います。

又いつか何らかの機会で皆さんにお会いできる事を願って降ります。

資 料 編

受 入 実 績

(1) 海外参加者・引率者の国内訳 【() はそのうち引率者の人数】

国名	年度	H13 (ワフ・フ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ワフ・フ大会)	H19	H20	H21	計
ボ リ ビ ア		5(1)	2	3(1)	2	2	5(1)	3(1)	1	1	24(4)
ブ ラ ジ ル		7(1)	3(1)	2	3(1)	3(1)	5(1)	3(1)	3(1)	3(1)	32(8)
〃 (カンボグランデ)		3(1)	1	2(1)	1	1	2	1	1	1	13(2)
アルゼンチン		5(1)	3(1)	2	3(1)	3(1)	3	2	3(1)	2	26(5)
ペ ル ー		5(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	4(1)	3(1)	1	3(1)	28(8)
ベ ネ ズ エ ラ		2(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	2(1)
メ キ シ コ		3(1)	0	0	0	0	1	0	0	1	5(1)
キ ュ ー バ		0	2(1)	2(1)	2(1)	0	2(1)	0	2(1)	2(1)	12(6)
フ ラ ン ス		2(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	2(1)
イ ギ リ ス		2(1)	0	0	0	2(1)	2	0	0	0	6(2)
ド イ ツ		2(1)	0	0	0	0	0	1	0	0	3(1)
米 国(ハ ワ イ)		0	2	3(1)	1	0	1	0	1	1	9(1)
〃 (グ ァ ム)		1	0	2(1)	0	0	0	0	0	0	3(1)
〃 (本 土)		20(4)	6(2)	5(2)	5(1)	6(1)	11(2)	6(1)	4(1)	6(1)	69(15)
カ ナ ダ		6(2)	2(1)	1	1	1	2	1	1	1	16(3)
フィリピン		4(1)	3(1)	3(1)	1	1	1	1	0	0	14(3)
シンガポール		0	2(1)	0	0	0	0	0	0	0	2(1)
マレーシア		0	0	0	0	0	1	0	1	0	2(0)
ニューカレドニア		0	0	0	0	0	0	0	1(1)	1	2(1)
計		67(17)	29(9)	28(9)	22(5)	22(5)	40(6)	21(4)	19(5)	22(4)	270(64)

(2) 海外参加者内訳
世 代 別

国名	年度	H13 (ワフ・フ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ワフ・フ大会)	H19	H20	H21	計
1 世		0	0	0	1	2	1	0	1	0	5
2 世		26	5	6	6	3	14	5	2	5	72
3 世		21	8	10	8	9	13	8	5	8	90
4 世		3	7	3	2	3	5	4	7	5	39
5 世		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計		50	20	19	17	17	34	17	15	18	207

男 女 別

国名	年度	H13 (ワフ・フ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ワフ・フ大会)	H19	H20	H21	計
男子		30	9	5	7	6	15	6	4	6	88
女子		20	11	14	10	11	19	11	11	12	119
合計		50	20	19	17	17	34	17	15	18	207

(3) 県内・県外参加者内訳
学 校 別

国名	年度	H13 (ワフ・フ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ワフ・フ大会)	H19	H20	H21	計
小学生		9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
中学生		24	13	7	5	4	11	4	4	5	77
高校生		17	11	18	15	15	22	13	11	13	135
計		50	24	25	20	19	33	17	15	18	221

男 女 別

国名	年度	H13 (ワフ・フ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ワフ・フ大会)	H19	H20	H21	計
男子		15	6	4	4	5	7	3	3	4	51
女子		35	18	21	16	14	26	14	12	14	170
合計		50	24	25	20	19	33	17	15	18	221

平成21年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名
1	山 城 金太郎	KINTARO YAMASHIRO	14 男	伊江中学校
2	小那覇 祐 希	YUKI ONAHA	12 女	古蔵中学校
3	神 里 阿侑香	AYUKA KAMIZATO	14 女	南西中学校
4	仲 村 デーニー	DANNY NAKAMURA	13 男	名護中学校
5	新 里 陽菜子	HINAKO SHINZATO	12 女	伊波中学校
6	眞榮城 駿	SHUN MAESHIRO	17 男	真和志高校
7	新 崎 仁 雄	JINYU ARASAKI	17 男	沖縄尚学高校
8	花 澤 千 裕	CHIIHIRO HANAZAWA	17 女	伊良部高校
9	玉 城 瑠 璃	RURI TAMASHIRO	17 女	糸満高校
10	徳 本 り さ	RISA TOKUMOTO	17 女	那覇商業高校
11	玉 城 理 沙	RISA TAMAKI	17 女	首里高校
12	名嘉真 美 咲	MISAKI NAKAMA	18 女	浦添高校
13	宮 平 優 想	YU MIYAHIRA	17 女	那覇商業高校
14	安 里 久美子	KUMIKO ASATO	16 女	西原高校
15	新 垣 玲央菜	REONA ARAKAKI	16 女	中部商業高校
16	仲 里 なつき	NATSUKI NAKAZATO	15 女	陽明高校
17	普天間 友 美	TOMOMI FUTENMA	16 女	首里東高校
18	ブースクリ 満理奈	MARINA BOUSCKRI	15 女	沖縄尚学高校

海外参加者名簿

	氏 名	年令	性別	世代	国名	県 人 会 名
1	仲宗根 グスタヴォ 学 NAKASONE GUSUTAVO MANABU	17	男	2 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	翁長 セーリア 美和 ONAGA CELIA MIWA	16	女	3 世		
3	安中 安慶名 レシチア アケミ YASUNAKA AGUENA LETICIA AKEMI	15	女	3 世		カンポグランデ沖縄県人会
4	小池 エドアルド 直征 KOIKE EDUARDO ERNESTO	17	男	3 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	仲宗根 ニコラス 啓 NAKASONE NICOLAS CRISTIAN	18	男	2 世		
6	中村 利沙 RISA NAKAMURA	14	女	3 世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
7	宮城 仲本 治至 ディエゴ MIYAGUSUKUNAKAMOTO HARUYUKI DIEGO	17	男	4 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
8	安座間 平良 キオミ クラウディア AZAMA TAIRA KIOMI CLAUDIA	14	女	3 世		
9	エステラ ロサノ 仲程 ESTELA LOZANO NAKAHODO	14	女	4 世	メキシコ	メキシコ沖縄県人会
10	ウエンディ ロイス タマキ WENDY LOYS TAMAKI	18	女	4 世	キューバ	キューバ沖縄県人会
11	座喜味 ケリ アン キミコ ZAKIMI KELLI ANN KIMIKO	17	女	4 世	アメリカ	ハワイ沖縄連合会
12	新垣 有紀 YUKI SHINGAKI	17	男	2 世		北米沖縄県人会
13	カティア ヒミコ リベラ RIVERA KATIYA	15	女	2 世		ジョージア琉球郷友会
14	真喜志 直美 NAOMI MAKISHI	15	女	2 世		ワシントン DC 沖縄会
15	ルーク マイケル ライル LUKE MICHAEL RYLE	17	男	3 世		インディアナ沖縄県人会
16	ジェシカ ダニエル ブラック BLACK JESSICA DANIELLE	16	女	3 世		フロリダ沖縄県人会 (がじゅまる会)
17	親川 愛 AI OYAKAWA	16	女	3 世	カナダ	トロント球陽会
18	レカイーユ ユキ アンドレア LECAILLE YUKI ANDREA	18	女	4 世	ニューカレドニア	ニューカレドニア沖縄日系人会

海外引率者名簿

	氏 名	年齢	性別	世代	国名	県人会等名
1	与儀 哲雄 YOGUI TETSUI	69	男	2 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	弘中 山城 ルイス フェルナンド HIRONAKA YAMAGUSUKU LUIS FERNANDO	22	男	3 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
3	ナカソネ ソニア マリア NAKASONE SONIA MARIA	50	女	2 世	キューバ	キューバ沖縄県人会
4	米盛 克之 KATSUYUKI YONEMORI	37	男	1 世	アメリカ	ジョージア琉球郷友会

平成20年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	宮 里 明衣子	MIYAZATO MEIKO	14	女	伊江中学校
2	下 門 楓	SHIMOJO KAEDE	13	女	潮平中学校
3	福 里 那 央	FUKUZATO NAO	14	男	高江洲中学校
4	豊 里 源	TOYOZATO GEN	13	男	那覇中学校
5	豊 永 優 姫	TOYONAGA YUKI	17	女	コザ高等学校
6	新 垣 美 樹	ARAKAKI MIKI	17	女	開邦高等学校
7	酒 井 知 奈	SAKAI CHINA	16	女	那覇高等学校
8	村 田 ゆうこ	MURATA YUKO	15	女	那覇西高等学校
9	花 城 亜紀子	HANASHIRO AKIKO	16	女	那覇西高等学校
10	玉那覇 祐利香	TAMANAHA YURIKA	17	女	西原高等学校
11	宜 保 有 樹	GIBO YUKI	17	男	中部農林高等学校
12	池 村 愛 美	IKEMURA AIMI	16	女	豊見城高等学校
13	友 利 麻 羽	TOMORI MAU	16	女	首里東高等学校
14	新 城 祥 子	ARASHIRO SHOKO	17	女	八重山高等学校
15	兼 城 凜 子	KANESHIRO RIKO	16	女	首里高等学校

平成20年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	年令	性別	世代	国名	県 人 会 名
1	天久 レニラ ア弓 AMEKU LENIRA AYUMI	15	女	2 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	与那嶺 モニカ 多美 YONAMINE MONICA TAMMY	15	女	3 世		
3	中馬 渡慶次 カーレン TIGUMAN TOKESHI KAREN	18	女	4 世		カンポグランデ沖縄県人会
4	名城 エベリン マルセラ NASHIRO EVELYN MARCELA	17	女	3 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	饒平名 さゆり YOHENA SAYURI	18	女	3 世		
6	安座間 上地 カテリーネ 直未 AZAMA UECHI KATHERINE NAOMI	16	女	4 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
8	島袋 里菜 SHIMABUKURO RINA	14	女	3 世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	ガルシア ウエマ ダニエル GARCIA UYEMA DANIEL	15	男	4 世	キューバ	キューバ沖縄県人会
10	森部 マーシ 美幸 MORIBE MARCIE MIYUKI	15	女	4 世	アメリカ	ハワイ沖縄連合会
11	上運天 クリスティーナ アイ UEUNTEN CHRISTINA AI	17	女	4 世		サンフランシスコ沖縄県人会
12	ウィレット ザックリー WILLETT ZACHARY	13	男	2 世		ワシントン州沖縄県人クラブ
13	チョ アレクサンダー ディー ジン CHO ALEXANDER DAE JIN	16	男	3 世		沖米沖縄県人会
15	山城 清光昭 ブレット YAMASHIRO BRETT ALEXANDER	16	男	4 世	カナダ	カルガリーオキナワクラブ
16	福里 友理 FUKUZATO YURI	15	女	2 世	マレーシア	マレーシア沖縄会
17	ヴォニティシ ゼノキ モルガン ファビエラ テレーズ VONITHSI-ZENOKI MORGANE FABIELLA THERESE	19	女	4 世	ニューカレドニア	ニューカレドニア沖縄日系人会

海外引率者名簿

	氏 名	年齢	性別	世代	国名	県人会等名
1	垣花 輝明 KAKINOHANA KIMEI	67	男	2 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	大城 ディエゴ セバスティアン OSHIRO DIEGO SEBASTIAN	21	男	3 世	アルゼンチン	ボリビア沖縄県人会
3	サンチェス タマキ ロベルト SANCHEZ TAMAKI ROBERTO	44	男	3 世	キューバ	ペルー沖縄県人会
4	稲福 紀子 INAFUKU NORIKO	24	女	1 世	アメリカ	ワシントン州沖縄県人クラブ
5	小出 友視 KOIDE TOMOMI		女		ニューカレドニア	沖縄ニューカレドニア友好協会

平成19年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	栗 國 志 帆	AGUNI SHIHO	14	女	真和志中学校
2	金 城 華奈子	KINJO KANAKO	13	女	潮平中学校
3	宮 城 玲 奈	MIYAGI RENA	13	女	美里中学校
4	安 里 翼	ASATO TATSUMI	14	女	与那原中学校
5	玉 城 美耶子	TAMAKI MIYAKO	16	女	那覇西高等学校
6	上 間 瑞 樹	UEMA MIZUKI	17	女	開邦高等学校
7	与那覇 智 都	YONAHA CHISATO	16	女	開邦高等学校
8	瑞慶山 美 咲	ZUKEYAMA MISAKI	17	女	コザ高等学校
9	宮 城 聖 乃	MIYAGI SYONO	15	女	コザ高等学校
10	狩 俣 友 恵	KARIMATA TOMOE	17	女	宮古高等学校
11	上 原 善 男	UEHARA YOSHIO	21	男	南部工業高等学校
12	宮 城 和 哉	MIYAGI KAZUYA	18	男	西原高等学校
13	川 満 大 祐	KAWAMITSU DAISUKE	17	男	西原高等学校
14	岸 本 りいま	KISHIMOTO RIIMA	16	女	宜野湾高等学校
15	許 田 侑 加	KYODA YUKA	18	女	興南高等学校
16	源 河 花乃子	GENKA KANOKO	17	女	首里高等学校
17	宇 座 愛 希	UZA AIKI	15	女	浦添高等学校

平成19年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	年令	性別	世代	国名	県 人 会 名
1	宮里 賢征 MIYAZATO UETA MAURY MASSAYUKI	17	男	3 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	上江洲 小百合 シルビア UESU SILVIA SAYURI	15	女	4 世		
3	ヴィヴィアネ ユミ ハラサキ VIVIANA YUMI HARASAKI	17	女	3 世		カンポグランデ沖縄県人会
4	新城 パブロ アリエル PABLO ARIEL ARAGUSUKU	18	男	4 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	仲宗根 ゆかり YUKARI NAKASONE	17	女	2 世		
6	真栄城 仲宗根 カリーナ 初江 KARINA HATSUE MAESHIRO NAKASONE	17	女	3 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	伊佐 与儀 幸子 カロリーナ SACHIKO CAROLINA ISA YOGUI	16	女	3 世		
8	大城 広大 KODAI OSHIRO	13	男	3 世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	クダカ 美咲 MISAKI KUDAKA	15	女	3 世		
10	ジャスティン トヨサト JUSTIN TOYOSATO	13	男	4 世	アメリカ	北米沖縄県人会
11	麗矢 マーロウ LAIYA MARLOW	14	女	2 世		コロラド州沖縄県人会
12	マケラ レネー コール MICHAELA RENE COLE	17	女	3 世		アトランタ沖縄県人会
13	トモコ レネー レオナード TOMOKO RENEE LEONARD	17	女	2 世		インディアナ沖縄県人会
14	クリスティーナ チハル ヘンリー CHRISTINA CHIHARU HENRY	17	女	2 世		スペースコースト沖縄県人会 ゆいまーる会
15	ジョシュア マイケル キャンベル JOSHUA MICHAEL CAMPBELL	15	男	4 世	カナダ	レスブリッジ沖縄県人会
16	ク リ ス チ ア ン サ ン MACALINTAL CHRISTIAN SANTOS	18	男	3 世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
17	比嘉 紀乃 KOTONO HIGA	14	女	2 世	ドイツ	ドイツ沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏 名	年齢	性別	世代	国名	県人会名
1	カネシロ ジョゼ マツオ KANESHIRO JOSE MATSUO	56	男	2 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	儀間 いつ子 ITSUKO GIMA	30	女	2 世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
3	城間 呉屋 カリーナ ジセーレ KARINA GISSELLE SHIROMA GOYA	27	女	3 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	マユミ マーレイン コール MAYUMI MARLENE COLE	48	女	2 世	アメリカ	アトランタ沖縄県人会

平成18年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名		学年	性別	学 校 名
1	国 吉 明 奈	KUNIYOSHI MEINA	3	女	中城村立中城中学校
2	久手堅 憲 稀	KUDEKEN NORIKI	3	男	西原町立西原東中学校
3	比 嘉 夏 海	HIGA NATSUMI	3	女	浦添市立浦添中学校
4	富名腰 彩 乃	FUNAKOSHI AYANO	3	女	那覇市立首里中学校
5	豊見山 佐 妃	TOMIYAMA SAKI	3	女	那覇市立松島中学校
6	前 里 雅	MAESATO MIYABI	3	女	那覇市立松島中学校
7	中 村 春 葵	NAKAMURA HARUKI	3	女	豊見城市立長嶺中学校
8	与 坂 勇 姫	YOSAKA YUKI	1	女	南城市立玉城中学校
9	比 嘉 美 幸	HIGA MISAKI	3	女	与那原町立与那原中学校
10	崎 原 佑 介	SAKIHARA YUSUKE	3	男	与那原町立与那原中学校
11	島 袋 正 志	SHIMABUKURO MASASHI	1	男	多良間村立多良間中学校
12	諸 見 正 太	MOROMI SHOTA	3	男	石川高等学校
13	津 波 義 弥	TSUHA YOSHIYA	3	男	北谷高等学校
14	山 内 祐 奈	YAMAUCHI YUUNA	3	女	普天間高等学校
15	喜 納 亜沙美	KINA ASAMI	3	女	普天間高等学校
16	川 節 奈 那	KAWASETSU NANA	3	女	西原高等学校
17	屋比久 ま り	YABIKU MARI	3	女	浦添工業高等学校
18	運 天 美由紀	UNTEN MIYUKI	3	女	浦添工業高等学校
19	池 原 ななえ	IKEHARA NANAE	3	女	那覇国際高等学校
20	上 間 もえみ	UEMA MOEMI	3	女	那覇国際高等学校
21	狩 俣 彩 乃	KARIMATA AYANO	1	女	首里高等学校
22	久 貝 博 文	KUGAI HIROFUMI	1	男	小禄高等学校
23	大 城 ひろか	OSHIRO HIROKA	2	女	那覇西高等学校
24	岩 田 彩	IWATA AYA	1	女	那覇西高等学校
25	稲 福 奈実子	INAFUKU NAMIKO	3	女	那覇商業高等学校
26	城 田 麻莉亜	SHIROTA MARIA	3	女	那覇商業高等学校
27	謝敷 アリーニ	JASHIKI ALINI	1	女	沖縄尚学高等学校
28	宮 城 若 名	MIYAGI WAKANA	2	女	沖縄女子短期大学附属高等学校
29	下 地 由芙子	SHIMOJI YUFUKO	2	女	開邦高等学校
30	照 屋 美友貴	TERUYA MIYUKI	2	女	知念高等学校
31	糸 数 舞	ITOKAZU MAI	2	女	知念高等学校
32	金 城 将 吾	KINJO SHOGO	3	男	糸満高等学校
33	平 良 優 圭	TAIRA YUKA	3	女	久米島高等学校

平成18年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県 人 会 名
1	ガブリエレ エリ 比嘉 GABRIELLE ERY HIGA	女	2 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	カリナ イズミ 具志堅 KARINA IZUMI GUSHIKEN	女	3 世		
3	カレン ユミ 宮城 KAREN YUMI MIYASHIRO	女	4 世		
4	レチシア チエミ 高良 LETICIA TIEMI TAKARA	女	3 世		
5	マリオ セルジオ いさお 小波津 MARIO SERGIO ISSAO KOHATSU	男	3 世		カンボグランデ沖縄県人会
6	レナタ ちえみ 城間 RENATA TIEMI SHIROMA	女	3 世		
7	宮平 レオナルド マルティン LEONARDO MARTIN MIYAHIRA	男	2 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
8	新垣 あかね AKANE ARAKAKI	女	1 世		
9	喜納 パウラ ミカエラ ミユキ PAULA MICAELA KINA	女	3 世		
10	新垣 金城 ジーミ ホルヘ JIMMY JORGE ARAKAKI KANASHIRO	男	4 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
11	具志堅 大城 ガブリエラ イサベル GABRIELA ISABEL GUSHIKEN OSHIRO	女	3 世		
12	渡嘉敷 国頭 ダニエラ DANIELA TOKASHIKI KUNIGAMI	女	4 世		
13	比嘉 さゆり SAYURI HIGA	女	3 世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
14	眞榮城 弥生 YAYOI MAESHIRO	女	3 世		
15	安里 健 KEN ASATO	男	2 世		
16	ホカマ 栄 SAKAE HOKAMA	男	3 世		
17	イダルゴ カネド フランシスコ エイジ FRANCISCO EILLY HIDALGO CANEDO	男	4 世	メキシコ	メキシコ沖縄県人会
18	キヨミ トレス ゴンザレス KIYOMI TORRES GONZALEZ	女	4 世	キューバ	キューバ沖縄県人会
19	高田 シャンテル 真由美 CHANTELLE MAYUMI TAKATA	女	5 世	アメリカ	ハワイ沖縄連合会
20	ダニエル マコト バンバード DANIEL MAKOTO BOMBARD	男	2 世		北米沖縄県人会
21	又吉 まりこ リン MARIKO LYN MATAYOSHI	女	2 世		北カリフォルニア沖縄県人会

平成18年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

19	高田 シャンテル 真由美 CHANTELLE MAYUMI TAKATA	女	5 世	アメリカ	ハワイ沖縄連合会
20	ダニエル マコト バンバード DANIEL MAKOTO BOMBARD	男	2 世		北米沖縄県人会
21	又吉 まりこ リン MARIKO LYN MATAYOSHI	女	2 世		北カリフォルニア沖縄県人会
22	ウェットセル ミッシェル ケイコ MICHELLE KEIKO WHETSELL	女	2 世		ワシントン州沖縄県人クラブ
23	デーブ アレン シュルライン DALE ALLEN SCHLEHLEIN III	男	3 世		中西部沖縄県人会
24	アシュレイ 紀子 シャンコーズ ASHLEY KIKO SHANKLES	女	2 世		ニューメキシコ沖縄県人会
25	イアン トマス ダグラス IAN THOMAS DOUGLAS	男	3 世		ニューヨーク沖縄県人会
26	フェングラー 美花 MIKA LEILANI FENGLER	女	2 世		アトランタ沖縄県人会
27	アッシャー ブルック シングルトン ASHLIE BROOKE SHINGLETON	女	3 世		ジャクソンビル沖縄県人会
28	クリストファー ジェフリー エドワーズ CHRISTOPHER JEFFREY EDWARDS	男	2 世		ミシガン沖縄県人会
29	パターン アンドリュー 義輝 ANDREW YOSHIKI PATTERSON	男	2 世	カナダ	バンクーバー沖縄県友愛会
30	比嘉 史 NICHOLAS CHIKASHI HIGA	男	2 世		トロント球陽会
31	ブライアン ヒア ヤテン YAQUITEN BRYAN MEJIA	男	3 世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
32	比嘉 麻耶 MAYA HIGA	女	2 世	マレーシア	マレーシア沖縄会
33	石垣 幸夫 SACHIO LUCIAN ISHIGAKI	男	2 世	イギリス	イギリス沖縄県人会
34	石垣 優児 YUJI ISHIGAKI	男	2 世		

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	与儀 上原 昭雄 AKEO UEHARA YOGUI	男	2 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	譜久原 アントニオ FUKUHARA ANTONIO	男	3 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
3	イノウエ 悦子 ETSUKO INOUE	女	2 世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
4	リコ フォンテ 伊波 JULIETA FONTE IHA	女	3 世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	ジャネット 亜希子 山内 JANET AKIKO YAMAUCHI	女	2 世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	上原 さやか SAYAKA UEHARA	女	1 世	アメリカ	ニューヨーク沖縄県人会

平成17年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	具志堅 靖 知	GUSHIKEN YASUTOMO	14	男	沖縄市立コザ中学校
2	城間 ひかる	SHIROMA HIKARU	14	女	那覇市立石嶺中学校
3	伊 地 侃 海	ICHI TADAMI	14	男	与那原町立与那原中学校
4	又 吉 奈保子	MATAYOSHI NAOKO	14	女	石垣市立伊原間中学校
5	金 城 千 尋	KINJO CHIHIRO	16	女	北部工業高等学校
6	幸 地 長 治	KOUCHI CHOUJI	16	男	名護高等学校
7	金 城 エリナ	KINJO ERINA	17	女	読谷高等学校
8	大 城 奈 々	OSHIRO NANA	17	女	具志川高等学校
9	玉 城 美 優	TAMAKI MIYU	18	女	具志川高等学校
10	山 城 杏 奈	YAMASHIRO ANNA	16	女	普天間高等学校
11	宇 根 あみ菜	UNE AMINA	17	女	浦添高等学校
12	大 城 李理子	OSHIRO RIRIKO	15	女	那覇高等学校
13	斉 藤 愛 里	SAITO AIRI	16	女	那覇国際高等学校
14	又 吉 扶	MATAYOSHI TASUKU	17	男	那覇国際高等学校
15	上 原 麻 衣	UEHARA MAI	15	女	小禄高等学校
16	小那覇 祥 子	ONAHA SHOKO	16	女	豊見城高等学校
17	番 園 亨	BANZONO TORU	16	男	糸満高等学校
18	翁 長 琴 乃	ONAGA KOTONO	17	女	久米島高等学校
19	伊良部 夏 美	IRABU NATSUMI	18	女	宮古工業高等学校

平成17年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県 人 会 名
1	大城 直美 マヤラ MAYARA NAOMI DE ALCANTARA OSHIRO	女	2 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	宮城 明子 ベアトリス BEATRIZ AKIKO MIYASHIRO	女	3 世		
3	川波 エンリッケ ケンジ HENRIQUE KENJI KAWANAMI	男	3 世		カンボグランデ沖縄県人会
4	屋宜 宣広 アレハンドロ ALEJANDRO DANIEL YAGI	男	3 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	岸本 ユカリ YUKARI KISHIMOTO	女	1 世		
6	仲里 国頭 エミ カロリーナ EMY CAROLINA NAKASATO KUNIGAMI	女	4 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	亀甲 亀甲 たかし アレハンドロ TAKASHI ALEJANDRO KAMEGO KAMEKO	男	3 世		
8	親川 千草 カサンドラ CHIGUSA CASANDRA OYAKAWA	女	3 世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	ジャンニ ブラジル JANNY BRASIL TAMASHIRO	女	3 世		
10	ヤマシロ ミッシェル MICHELLE ALEXANDRA YAMASHIRO	女	4 世	アメリカ	北米沖縄県人会
11	イタリアーノ チャンス ケンイチ CHANCE KENICHI ITALIANO	男	1 世		ユタ州沖縄県人会
12	イーブリー マケーナ ヴィカーシャ MCKENNA VIKASHAA EASLEY	女	2 世		ワシントンDC沖縄県人会
13	ラックエル 笑美 コンドン RAQUEL EMI CONDON	女	3 世		インディアナ沖縄県人会
14	クリストファー ジョシア ワールターズ CHRISTOPHER JOSHUA WALTERS	男	3 世		フロリダ沖縄県人会
15	ジョーダン カミオ サワダ JORDAN KAMIO SAWADA	男	4 世	カナダ	レスブリッジ沖縄県人会
16	ジャスミン マリー ドフレド デ ヘスス JASMINE MARIE DE JESUS	女	3 世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
17	ゴンザレス 優子 エリザベス YUKO ELIZABETH GONZALES	女	2 世	イギリス	イギリス沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	松堂 忠顕 CHUKEN MATSUDO	男	1 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新里 ファビアナ カルメン FABIANA CARMEN SHINZATO	女	2 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
3	安座間 喜屋武 シェイラー パトリシア SHEILLAH PATRICIA AZAMA KIYAN	女	3 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	牧志 啓和 HIROKAZU MAKISHI	男	1 世	アメリカ	ユタ州沖縄県人会
5	伊敷 久子 HISAKO ISHIKI	女	1 世	イギリス	イギリス沖縄県人会

平成16年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年齢	性別	学 校 名	
1	棚 原 琴 希	TANAHARA KOTOKI	14	女	宜野湾市立宜野湾中学校
2	糸 数 梨 乃	ITOKAZU RINO	13	女	那覇市立小禄中学校
3	国 吉 美 樹	KUNIYOSHI MIKI	14	女	久米島町立具志川中学校
4	高 原 茉 奈	TAKAHARA MANA	14	女	平良市立平良中学校
5	前上里 李衣奈	MAEUEZATO LIINA	13	女	石垣市立伊原間中学校
6	幸 地 美 琴	KOUCHI MIKOTO	17	女	名護高等学校
7	平 良 慎 子	TAIRA MAKIKO	17	女	石川高等学校
8	小 谷 仁 人	KOTANI KIMIHITO	17	男	石川高等学校
9	池 原 春 奈	IKEHARA HARUNA	18	女	読谷高等学校
10	又 吉 毅	MATAYOSHI TAKESHI	17	男	美里高等学校
11	上 原 唯	UEHARA YUI	18	女	球陽高等学校
12	崎 濱 優 希	SAKIHAMA YUUKI	18	女	与勝高等学校
13	沖 吉 ハンナ	OKIYOSHI HANNA	16	女	普天間高等学校
14	運 天 美 里	UNTEN MISATO	16	女	首里高等学校
15	久銘次 美奈江	KUMEJI MINAE	16	女	那覇国際高等学校
16	謝敷 エミリー	JASHIKI EMILY	16	女	那覇国際高等学校
17	金 城 のぞみ	KINJOU NOZOMI	17	女	那覇西高等学校
18	許 田 卓 史	KYODA TAKAFUMI	18	男	興南高等学校
19	金 憲 禎	KIM HUNJUNG	16	男	沖縄尚学高等学校
20	細 田 愛	HOSODA MANA	15	女	豊見城高等学校

平成16年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県 人 会 名
1	比嘉 理恵 デボラ DEBORA LIE HIGA	女	3 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	知念 まゆみ クリスチーナ CRISTINA MAYUMI CHINEN	女	2 世		
3	城間 ロドリーゴ シゲイロ RODRIGO SHIGUEIRO SIROMA	男	3 世		カンボグランデ沖縄県人会
4	又吉 アンドレス MATAYOSHI ANDRES PABLO	男	3 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	米須 ノルマ ビルヒニア KOMESU NORMA VIRGINIA	女	3 世		
6	エスコバル 伊礼 ジョアナ エツコ ESCOBAR YREY JOHANNA ETSUKO	女	4 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	比嘉 シンボ エリック ハビエル HIGA SHIMBO ERIC JAVIER	男	3 世		
8	中村 稲嶺 真由美 NAKAMURA INAMINE MAYUMI	女	2 世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	新垣 サトル ARAKAKI SATORU	男	2 世		
10	サユリ ゴンザレス ナカソネ GONZALEZ NAKASONE SAYURI	女	3 世	キューバ	キューバ沖縄県人会
11	ミッシェル ミヨリ パニス PANIS MICHELLE MIYORI	女	3 世	アメリカ	沖米沖縄県人会
12	ウィリアム ウォルター ストレリー STRALEY WILLIAM WALTER	男	2 世		ペンサコーラ沖縄県人会
13	コラオ クリスタル CORRAO CRYSTAL MARIE	女	2 世		シカゴ沖縄県人会
14	新城 アントニ 大陸男 ARASHIRO ANTHONY MUTSUO	男	2 世		サンディエゴ沖縄県人会
15	ジェシー・マイ カイアオ ア カマラニ・ホリ HORI JESSIE MAI KAIAO A KAMALANI	女	4 世		ハワイ沖縄連合会
16	喜久川 可奈 KIKUKAWA KANA	女	1 世	カナダ	バンクーバー沖縄県友愛会
17	レンド ジャン ボニファシヨ BONIFACIO RHEND JAN	男	3 世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	与儀 上原 昭雄	男	2 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新垣 アリエル	男	2 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
3	松田 美津江	女	2 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	ミユキ イトカズ モラレス	女	3 世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	光江 上原 コーチ	女	1 世	アメリカ	シカゴ沖縄県人会

平成15年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	宮 本 詩 織	Miyamoto Shiori	12	女	港川中学校
2	島 袋 希	Shimabukuro Nozomi	15	女	首里中学校
3	山 城 貴 徳	Yamashiro Takanori	14	男	糸満中学校
4	比 屋 根 安 尚	Hiyane Yasunao	13	男	南星中学校
5	長 嶺 一 司	Nagamine Kazushi	13	男	南星中学校
6	古 波 蔵 直 子	Kohagura Naoko	14	女	南星中学校
7	比 嘉 淳 子	Higa Junko	18	女	八重山農林高等学校
8	吉 村 苑 華	Yoshimura Sonoka	17	女	読谷高等学校
9	高 良 南	Takara Minami	18	女	球陽高等学校
10	玉 城 幸	Tamaki Miyuki	17	女	浦添高等学校
11	安次富 紗綾香	Ashitomi Sayaka	16	女	浦添商業高等学校
12	比 嘉 こ な み	Higa Konami	17	女	首里高等学校
13	安 里 み ち よ	Asato Michiyo	17	女	首里東高等学校
14	新 垣 怜 子	Arakaki Reiko	17	女	那覇高等学校
15	新 崎 奈 央	Arasaki Nao	17	女	那覇高等学校
16	前 田 那 美 子	Maeda Namiko	18	女	那覇国際高等学校
17	大 本 紗 哉	Ohmoto Saya	16	女	那覇国際高等学校
18	金 城 美 菜	Kinjo Mina	17	女	那覇商業高等学校
19	大 城 桃 香	Oshiro Momoka	16	女	沖縄尚学高等学校
20	真栄城 智恵美	Maesiro Chiemi	16	女	沖縄尚学高等学校
21	稲 福 陽 香	Inafuku Haruka	15	女	興南高等学校
22	村 吉 梨 華 子	Murayoshi Rikako	15	女	興南高等学校

県外内参加者名簿

	氏 名		年齢	性別	学 校 名
1	金 城 幸 代	Kinjo Sachiyo	15	女	兵庫県立宝塚私立高司中学校
2	上 原 勝 也	Uehara Katsuya	17	男	兵庫県立宝塚高等学校
3	小 山 奈 未	Koyama Nami	18	女	日本福祉大学附属高等学校

平成15年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県 人 会 名
1	新城 真由美 Monica Mayumi Arashiro	女	3 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	仲村 カロリーナ みどり Carolina Midori Nakamura	女	2 世		
3	新里 チエミ アンネ Anne Thiemy Suzuki Shinzato	女	3 世		カンボグランデ沖縄県人会
4	井口 セシリア ミドリ Iguchi Cecilia Midori	女	3 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	諸喜田 マリネ Shokida Marine	女	3 世		
6	仲本 山城 ダニエラ Nakamoto Yamagusuku Daniella	女	3 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	渡慶次 山城 マリア ガブリエラ Tokeshi Yamagusuku Maria Gabriela	女	3 世		
8	神谷 ナオミ Kamiya Pedraza Naomi	女	2 世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	比嘉 浩二 Higa Koji	男	2 世		
10	アレマン レオナルド ホルヘ エルネスト Aleman Leonard Jorge Ernesto	男	4 世	キューバ	キューバ沖縄県人会
11	キャサレン アーヌ シロマ Katharine Anne Shiroma	女	4 世	アメリカ	ハワイ沖縄県人会
12	タイ ジン コバシガワ Ty Jin Kobashigawa	男	4 世		
13	玉城 由美 Tamashiro Yumi	女	2 世		北米沖縄県人会
14	柳田 コリン タケシ Yanagida Colin Takeshi	男	2 世	アメリカ	ワシントン州沖縄県人会
15	アシュリー フリック Ashley Frick	女	3 世		ニューヨーク沖縄県人会
16	仲原 オリバー 竜司 Nakahara Oliver Ryoji	男	2 世	カナダ	カルガリー沖縄県人会
17	ディナマエ エロイ リエゴ Llego Dinahmae Eroy	女	3 世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
18	パトリシア レジーナ ノセダ ロペス Lopez Patricia Resyna Noceda	女	3 世		
19	レドナ ジェニファー 祐紀 Redona Jennifer Yuki	女	3 世	アメリカ	グアム沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	屋富祖 正一	男	1 世	ブラジル	カンボグランデ沖縄県人会
2	安座間 平敷 ファン 喜勝	男	3 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
3	比嘉 次雄	男	1 世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
4	上間 大兼久 ホルヘ	男	2 世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	タランティニ 裕子 伊波	女	1 世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	曾野 知雄	男	2 世		ニューヨーク沖縄県人会
7	島袋 カオル ネイディー	女	2 世		ハワイ沖縄県人会
8	アセルデン マリア コラソン エバンヘリオ	女	2 世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
9	奥濱 レドナ 悦子	女		アメリカ	グアム沖縄県人会

平成14年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	宮 里 諒 哉	Ryoya Miyazato	15	男	名護市立大宮中学校
2	奥 間 友里恵	Yurie Okuma	14	女	金武町立金武中学校
3	與那城 美姫乃	Mikino Yonashiro	12	女	沖縄市立安慶田中学校
4	伊良波 一 美	Kazumi Iraha	14	女	沖縄市立山内中学校
5	嘉 数 真 菜	Mana Kakazu	13	女	浦添市立浦西中学校
6	比 嘉 麻 臣	Asami Higa	13	女	那覇市立松城中学校
7	平 敷 綾	Aya Heshiki	15	女	那覇市立小禄中学校
8	山 城 信 裕	Nobuhiro Yamashiro	14	男	与那原町立与那原中学校
9	杉 山 星 河	Seika Sugiyama	12	女	豊見城市立伊良波中学校
10	川 平 一 之	Kazuyuki Kawahira	14	男	城辺町立福嶺中学校
11	宮 城 聖里香	Serika Miyagi	17	女	辺土名高等学校
12	大 城 奈津紀	Natsuki Ohshiro	16	女	石川高等学校
13	山 城 夢 乃	Yumeno Yamashiro	15	女	美里高等学校
14	宮 里 あすか	Asuka Miyazato	17	女	宜野湾高等学校
15	嵩 本 哲 也	Tetsuya Takemoto	16	男	西原高等学校
16	西 筋 理 奈	Rina Irisuji	15	女	那覇高等学校
17	玉 城 智 佳	Chika Tamaki	18	女	沖縄女子短大附属高等学校
18	國 場 雄 作	Yusaku Kokuba	16	男	豊見城高等学校
19	又 吉 香穂利	Kahori Matayoshi	15	女	糸満高等学校
20	石 井 雄 大	Takehiro Ishii	17	男	八重山高等学校

県外内参加者名簿

	氏	名	年齢	性別	学 校 名
1	川 崎 麻奈美	Manami Kawasaki	13	女	鶴見中学校
2	金 城 香 奈	Kana Kinjo	13	女	鶴見中学校
3	與那嶺 美 香	Mika Yonamine	12	女	大阪市立天下茶屋中学校
4	糸 洲 久美子	Kumiko Itosu	17	女	明浄学院高等学校

平成14年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県 人 会 名
1	当間 嗣栄 マウリシオ Mauricio Shiei Touma	男	4 世	ブラジル	ブラジル 沖縄県人会
2	高良 グラウシヤ ネンシー Glaucia Nancy Takara	女	3 世		
3	志良堂 ジャケリネ Jacqueline Shirado	女	4 世		カンポグランデ 沖縄県人会
4	米須 トマス Tomas Komesu	男	2 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人 連合会
5	島袋 エリアーナ ビルヒーニア Eliana Virginia Shimabukuro	女	3 世		
6	広中 山城 ルイス フェルナンド Luis Fernando Hironaka Yamagusuku	男	4 世	ペルー	ペルー 沖縄県人会
7	ゴンザレス 平良 ハイメ Jaime Gonzales Taira	男	3 世		
8	仲里 秋奈 Akina Nakazato	女	2 世	ボリビア	ボリビア 沖縄県人会
9	ロニー ヴェレス 真栄城 Rony Velez Maeshiro	男	3 世		
10	ナリマン ピーニャ フォンテ Narryman Piña Fonte	女	4 世	キューバ	キューバ 沖縄県人会
11	清本・伊舎良 マッシュュー 誠 Matthew Makoto Kiyomoto-Isara	男	4 世	アメリカ	ハワイ 沖縄県人会
12	伊良波 クリストファー マイケル Christopher Michael Iraha	男	4 世		
13	比嘉 クリスティン ミヨシ Cristan Miyoshi Higa	女	4 世		北米 沖縄県人会
14	バウチャー 飛鳥 Asuka Christine Boutcher	女	2 世		ワシントン D.C. 沖縄会
15	ジョナサン サンダース Johnathan David Saunders	男	3 世		アトランタ 沖縄県人会
16	ジョセフ リー バザード Joseph Lee Buzzard	男	3 世		北加 沖縄県人会
17	藤田 エリザベス 由利子 Elizabeth Yuriko Fujita	女	2 世	カナダ	トロント 球陽会
18	ミシェル アベダニア ペベニト Michelle Abedania Pebenito	女	3 世	フィリピン	フィリピン 沖縄県人会
19	ジョネロベス コメロス イグナシオ Jonerobeth Comeros Ignacio	女	3 世		
20	照屋 なつ子 Natsuko Teruya	女	2 世	シンガポール	星琉会

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	具志堅 ジーナ 美千代	女	2 世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新里 ダニエル エステバン	男	2 世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
3	赤嶺 光弘	男	1 世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	エステル タマキ トーレス	女	3 世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	呉屋 君子	女	1 世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	大城 順市	男	1 世		北加沖縄県人会
7	藤田 みどり	女	1 世	カナダ	トロント球陽会
8	エステーラ アレホ アドルフォ	女	2 世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
9	橋本 真理	女	1 世	シンガポール	星琉会

平成13年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	学 年	性別	学 校 名	
1	知 名 倫 子	Rinko China	小学4年	女	宜野座小学校
2	仲 田 尚 仁	Naohito Nakada	小学4年	男	南風原小学校
3	又 吉 椎 菜	Shiina Matayoshi	小学5年	女	漢 那 小 学 校
4	平 良 久美子	KuIniko Taira	小学5年	女	志 真 志 小 学 校
5	仲 本 達 郎	Tatsuro Nakalhoto	小学5年	男	城 西 小 学 校
6	新 垣 史 織	Shiori Arakaki	小学5年	女	知 念 小 学 校
7	目取真 輔	Tasuku Medoruma	小学5年	男	北 玉 小 学 校
8	城 間 祥 大	Shoudai Shiroma	小学6年	男	若 狭 小 学 校
9	照 屋 寛 佳	Hiroyoshi Teruya	小学6年	男	城 南 小 学 校
10	玉 城 匠	Takumi Talnaki	中学1年	男	コ ザ 中 学 校
11	知 念 鈴 奈	Suzuna Chinen	中学1年	女	伊 江 中 学 校
12	仲 間 良 成	Yoshinari Nakama	中学1年	男	越 来 中 学 校
13	牧 山 梨 紗	Risa Makiyama	中学1年	女	沖 縄 尚 学 中 学 校
14	仲 程 祐 介	Yusuke Nakahodo	中学1年	男	古 蔵 中 学 校
15	成 底 徹	Toru Narisoko	中学1年	男	港 川 中 学 校
16	仲 里 彩 夏	Ayaka Nakazato	中学1年	女	知 念 中 学 校
17	屋嘉比 梢	Kozue Yakabi	中学1年	女	東 風 平 中 学 校
18	玉 城 彩 衣	Ai Tamaki	中学1年	女	那 覇 中 学 校
19	松 本 佳 子	Yoshiko Matsulnoto	中学1年	女	那 覇 中 学 校
20	東 江 真理子	Mariko Agarie	中学2年	女	伊 江 中 学 校
21	与那嶺 悠	Haruka Yonamine	中学2年	男	伊 良 波 中 学 校
22	古 謝 ち ひろ	Chihiro Koja	中学2年	女	嘉 手 納 中 学 校
23	比 嘉 紗 苗	Sanae Higa	中学2年	女	鏡 が 丘 養 護 学 校
24	仲 程 若 菜	Wakana Nakahodo	中学2年	女	古 蔵 中 学 校
25	平 田 吉 郎	Yoshiro Hirata	中学2年	男	佐 敷 中 学 校
26	比 嘉 彩 賀	Ayaka Higa	中学2年	女	松 城 中 学 校
27	比 嘉 亜 樹	Aki Higa	中学2年	女	興 南 中 学 校
28	古 堅 葵	Aoi Furugen	中学3年	女	安 田 中 学 校
29	佐久川 俊 介	Shunsuke Sakugawa	中学3年	男	沖 縄 尚 学 中 学 校
30	謝 花 千 夏	Chinatsu Jahana	中学3年	女	宮 里 中 学 校
31	普天間 一 樹	Kazuki Futenma	中学3年	男	小 禄 中 学 校
32	玉那覇 優 香	Yuka Tamanaha	中学3年	女	西 原 東 中 学 校
33	宮 城 鮎 子	Ayuko Mayagi	中学3年	女	西 原 東 中 学 校
34	高 田 真奈美	Manami Takada	高校1年	女	小 禄 高 等 学 校
35	翁 長 里 美	Satomi Onaga	高校1年	女	小 禄 高 等 学 校
36	上 原 恵理佳	Erika Uehara	高校1年	女	昭和薬科大学附属高等学校
37	与那覇 恵 梨	Eri Yonaha	高校1年	女	石 川 高 等 学 校
38	徳 里 麗 華	Reika Tokuzato	高校1年	女	石 川 高 等 学 校
39	中 村 晴 枝	Harue Nakamura	高校1年	女	那 覇 国 際 高 等 学 校
40	伊 計 美 希	Miki Ikei	高校2年	女	宮 古 高 等 学 校
41	仲宗根 智 世	Tomoyo Nakasone	高校2年	女	宮 古 農 林 高 等 学 校
42	佐久田 智 世	Tomoyo Sakuda	高校2年	女	宮 古 農 林 高 等 学 校
43	川 口 真 未	Mami Kawaguchi	高校2年	女	首 里 東 高 等 学 校
44	池 原 理 一	Riichi Ikehara	高校2年	男	普 天 間 高 等 学 校
45	宝蔵寺 祐 司	Yuji Hozoji	高校2年	男	普 天 間 高 等 学 校
46	仲 間 明 奈	Akina Nakama	高校3年	女	宮 古 高 等 学 校
47	茶余畑 美 加	Mika Chabata	高校3年	女	小 禄 高 等 学 校
48	新 崎 舞	Mai Arasaki	高校3年	女	小 禄 高 等 学 校
49	比屋根 恵 美	Megumi Hiyaane	高校3年	女	南 風 原 高 等 学 校
50	真 謝 絵 美	Emi Maja	高校3年	女	名 護 高 等 学 校

平成13年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	国 名	県 人 会 名	引 率 者
1	与儀 エリカ ERIKA YOGI	女	ブラジル	ブラジル沖縄県人会	松堂 ひろみ
2	太田 デオゴ DIOGO TAKAKE OTA	男			
3	知花 ムリロ MURILLO CHIBANA	男			
4	諸見里 春美 KARINEHARUMI MOROMIZATO	女			
5	崎間 ビクトル 達由鯉 VICTORTA TSUYURI SAKIMA	男			
6	宮里 昌宏 MARCELO MASAHIRO MIYAZATO UETA	男			
7	宮城 ガストン GASTON MIYASHIRO	男	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会	安里エステラ アレハンドラ
8	比嘉 フェルナルド FERNANDO EZEQUIEL HIGA	男			
9	玉那覇 ノルベルト NORBERTO TAMANAHA	男			
10	大城 ノエリア NOELIA OSHIRO	女			
11	伊芸 ヘラルド GERALDO IGEI KOHATSU	男	ペルー	ペルー沖縄県人会	仲宗根 吉修
12	亀甲 マサル MASARU ARTURO KAMEGO	男			
13	山城 イサベル ISABEL YAMASHIRO NAKACHI	女			
14	比嘉 盛繁 HECIOR ALEXANDER HIGA SHIROMA	男			
15	比嘉 恵理子 ERIKO CAROLINA HIGA YAMASHIRO	女	ボリビア	ボリビア沖縄県人会	安谷屋 敬
16	大城 ニカリ NIKARI OSHIRO MURARA	女			
17	中田 弘喜 FERNANDO HIROKI NAKATA	男			
18	仲村 美恵子 MIEKO NAKAMURA SOKEI	女			
19	仲村 ミツオ JOSE MITSUO NAKAMURA OROZCO	男	メキシコ	メキシコ沖縄県人会	中村 イルマ ヌネス
20	仲村 ヤスヒロ YASUHIRO NAKAMURA OROZCO	男			
21	島田 バグネル 和良 WAGNER KAZUYOSHI SHIMADA	男	ブラジル	カンボグランデ沖縄県人会	具志堅 弘
22	具志堅 ノブユキ ANDERSON NOBUYUKI GUSHIKEN	男			
23	古謝 景士 RAUL KEISHI KOJA	男	ベネズエラ	ベネズエラ沖縄県人会	古謝 いそえ
24	宜保 亜由美 カレン AYUMI KAREN GIBO	女	カナダ	バンクーバー沖縄友愛会	仲宗根 功
25	嶺井 真実 MELISSA MAMI MINEI	女			

平成13年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

26	金城 茜 MARGARET AKANE KINJO	女	カナダ	レスブリッジ沖縄県人会	浦崎 ジョージ
27	目取真 ジャネル ミホコ JANELLE MIHOKO MEDORUMA	女			
28	玉栄 チャールズ CHARLES MASATOMO TAMAE	男	アメリカ	北米沖縄県人会	前田 洋子 (北米沖縄県人会)
29	ジョセフ ジョーンズ JOSEPH FREDRIC JONES	男		サンディエゴ 沖縄県人会	
30	ブライアン デイビス BRYAN KIYOSHI DAVIS	男		ユタ州沖縄県人会	
31	デイビット レイモンド DAVID RICHARD RAYMOND	男		ワシントン沖縄県人会クラブ	トシコ パートリー
32	アリシア 恵子 ブレンズ ALICIA KEIKO BERENZ	女		シカゴ沖縄県人会	洋子 サンダリン (シカゴ沖縄県人会)
33	テイル リチャーズ DALE KAORU RICHARDS	男		遊友会	
34	ティファニー フィドラー TIFFANY FIEDLER	女		オハイオ 沖縄友の会	
35	比嘉 龍児 RYUJI HIGA	男		米国東海岸沖縄県人会	
36	落合 北斗 HOKUTO CREIG OCHIAI	男		ニューヨーク沖縄県人会	
37	ロバート ファンチェス ROBERT JAMES FUNCHES	男		ワシントンDC沖縄県人会	
38	ケイラ ケンプ KAYLA RENEE CAMP	女		アトランタ沖縄県人会	ルイス 高江洲 佳代子 (アトランタ沖縄県人会)
39	アンディー ライダー ANDY KIYOSHI RIDER	男		D FW 沖縄県人会	
40	キム ビセット KIM BISSETTE	女		ジャクソンビル沖縄県人会	
41	マイケル ハーカー MICHAEL ALAN HARKA	男		フェイエットビル沖縄県人会	
42	クリスタル スワンソン CRYSTAL LYNN SWANSON	女		ペンサコーラ沖縄県人会	
43	テレサ マリコ モートン TERESA MARIKO MORTON	女		フロリダ沖縄郷友会(がじまる会)	
44	クリストファー ポーティン CRISTOPHER PORTIN	男		グアム沖縄県人会	引率者無し
45	マリア ジェイリン ディキアツコ MA. JAYLYNC. DIQUIATCO	女	フィリピン	フィリピン沖縄県人会	トヨコ照屋エリセオ
46	チヨミ サンタローサ ランセス CHIYOMI STA. ROSA RANCES	女			
47	嶋崎 妙恵美 TAEMI SHIMAZAKI	女			
48	知念 賢吾 KENGO CHINEN	男	フランス	フランス沖縄県人会	知念 睦子
49	石垣 優児 YUJI JOE ISHIGAKI	男	イギリス	イギリス沖縄県人会	石垣 栄康
50	松川 ルカ LUCA TOM MUSASHI MATSUKAWA	男	ドイツ	ドイツ沖縄県人会	松川 カ

知 事 表 敬 式 次 第

日時：平成21年7月22日（水）

場所：県庁1階 県民ホール

司会：上地 聡（交流推進課主幹）

8：45	開 会	司会
8：47	参加者紹介	司会
8：50	歓迎の挨拶	沖縄県副知事 安里 カツ子
9：00	参加者代表挨拶	海外参加者代表 座喜味 ケリー アン 君子 （ハワイ沖縄連合会） 県内参加者代表 真榮城 駿 （真和志高等学校）
9：05	閉 会	司会
	写真撮影（中庭）	

ウェルカムパーティー式次第

日時：平成21年7月21日（火）18:30～20:00

場所：かんぽレクセンター 小体育館

18:30	開 会	
18:32	歓迎の挨拶	沖縄県観光商工部参事監兼観光交流統括監 知念 英信
18:37	宣 誓	ボリビア沖縄県人会 中村 利沙
18:40	乾杯の音頭	沖縄ブラジル協会 会長 西原 篤一
	食事・懇談	
19:30	余 興	司会：ジュニアスタディーツアー卒業生
19:35	エイサー	宮平 優想（那覇商業高校） 徳元 りさ（那覇商業高校）
19:40	トランペット	カティヤ ヒミコ リベラ（アメリカ）
19:45	伝統舞踊（伊江島）	山城 金太郎（伊江島中学校）
19:50	三線	仲里 なつき（陽明高校）
19:55	マリネラ（伝統舞踊）	宮城 仲本 治至 ディエゴ（ペルー） 安座間 平良 キオミ クラウディア（ペルー）
20:00	終 了	

さ よ な ら パ ー テ ィ ー 式 次 第

日時：平成21年7月27日（月）

場所：那覇ぶんかテンプス館

司会：卒業生ボランティア

17:00	開会	司会
17:02	乾杯の音頭	沖縄カナダ協会
	食事・懇談	会長 大山 盛穂
17:20	エイサー演舞	琉球國祭り太鼓
17:30	ピアノ	新里 陽菜子（伊波中学校）
17:35	サンボニャと三線の演奏 （ボリビア伝統楽器）	中村 利沙（ボリビア）
17:40	伝統舞踊（伊江島）	山城 金太郎（伊江中学校）
17:45	アルゼンチンの伝統舞踊	仲宗根 ニコラス 啓（アルゼンチン） 小池 エドアルド 直征（アルゼンチン）
17:50	謎の軍団 真栄城商店	真栄城 駿（真和志高校）他
17:58	エイサー演舞	参加者全員
18:03	歌	参加者全員
18:09	ダンス	参加者全員
18:20	カチャーシー	参加者全員
18:30	閉会	司会
	～終了～	

ジュニアスタディーツアーグループ表

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
1	花澤 千裕 (女)	玉城 理沙 (女)	新崎 仁雄 (男)
	Chihiro Hanazawa	Risa Tamaki	Jinyu Arasaki
	日本	日本	日本
2	仲村 デーニー (男)	神里 阿侑香 (女)	新里 陽菜子 (女)
	Denny Nakamura	Ayuka Kamizato	Hinako Shinzato
	日本	日本	日本
3	徳本 りさ (女)	ブースクリ 満里奈 (女)	安里 久美子 (女)
	Risa Tokumoto	Marina Bousckri	Kumiko Asato
	日本	日本	日本
4	カティヤ ヒミコ リベラ (女)	ジェシカ ブラック ダニエル (女)	新垣 有紀 (男)
	Rivera Katiya	Black Jessica Danielle	Yuki Shingaki
	アメリカ	アメリカ	アメリカ
5	宮城 仲本 治至 ディエゴ (男)	仲宗根 ニコラス 啓 (男)	ロサノ 仲程 エステラ (女)
	Miyagusuku Nakamoto Haruyuki Diego	Nakasone Nicolas Cristian	Lozano Nakahodo Estela
	ペルー	アルゼンチン	メキシコ
6	翁長 セリーア 美和 (女)	レカイーユ ユキ アンドレア (女)	ウェンディ ロイス タマキ (女)
	Onaga Celia Miwa	Lecaille Yuki Andrea	Wendy Lois Tamaki
	ブラジル	ニューカレドニア	キューバ
引 率	与儀 哲雄 (男)	弘中 山城 ルイス フェルナンド (男)	ソニア マリア ナカソネ (女)
	Tetsuo Yogui	Hironaka Yamagusuku Luis Fernando	Sonia Maria Nakasone
	ブラジル	ペルー	キューバ

ジュニアスタディーツアーグループ表

	Dグループ	Eグループ	Fグループ
1	名嘉真 美咲 (女)	宮平 優想 (女)	眞榮城 駿 (男)
	Misaki Nakama	Yu Miyahira	Shun Maeshiro
	日本	日本	日本
2	小那覇 祐希 (女)	山城 金太郎 (男)	普天間 友美 (女)
	Yuki Onaha	Kintaro Yamashiro	Tomomi Futenma
	日本	日本	日本
3	仲里 なつき (女)	玉城 瑠璃 (女)	新垣 玲央奈 (女)
	Natsuki Nakazato	Ruri Tamaki	Reona Arakaki
	日本	日本	日本
4	ルーク マイケル ライル (男)	座喜味 ケリ アン 君子 (女)	真喜志 直美 (女)
	Ryle Michael Luke	Zakimi kelli Ann Kimiko	Naomi Makishi
	アメリカ	アメリカ	アメリカ
5	中村 利沙 (女)	小池 エドアルド 直征 (男)	親川 愛 (女)
	Risa Nakamura	Koike Eduardo Ernesto	Ai Oyakawa
	ボリビア	アルゼンチン	カナダ
6	安座間 平良 キオミ クラウディア (女)	安仲 安慶名 レチシア アケミ (女)	仲宗根 グスタヴォ 学 (男)
	Azama Taira kiomi Claudia	Yasunaka Aguenia Leticia Akemi	Nakasone Gusutavo Manabu
	ペルー	ブラジル	ブラジル
引 率	米盛 克之 (男)	小出 友視 (女)	
	Yonemori Katsuyuki	Tomomi Koide	
	アメリカ	日本	

